

Galaxy A23 5G

SCG18

User Guide 取扱説明書 詳細版

Android 13 対応版

ごあいさつ

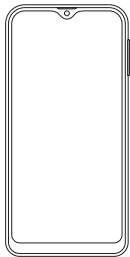
このたびは、Galaxy A23 5G（以下、「本製品」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

『取扱説明書 詳細版 Android 13対応版』（本書）はAndroid™ 13へのメジャーアップデート（OS更新）後の内容について記載しています。

メジャーアップデート（OS更新）をしていない場合、本製品に付属する『クイックスタートガイド』、『ご利用にあたっての注意事項』およびJ:COM Webサイトに掲載の『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体



SIM取り出し用ピン
（試供品）

※ SIMカードおよびmicroSDメモリーカードの取り付け／取り外しに使用します。

- ・ クイックスタートガイド（Android 13非対応版）
- ・ ご利用にあたっての注意事項（Android 13非対応版）

以下のものは同梱されていません。

- microSDメモリーカード
- ACアダプタ
- USB Type-C®ケーブル



- ◎ 必ず指定の充電用機器（別売）を使用してください。
- ◎ 電池は本製品に内蔵されています。
- ◎ 本文中で使用している同梱品および本製品のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

取扱説明書について

■『クイックスタートガイド』『ご利用にあたっての注意事項』

本製品に付属する『クイックスタートガイド』／『ご利用にあたっての注意事項』では、メジャーアップデート（OS更新）前の主な機能の主な操作のみ説明しています。

Android 13へのメジャーアップデート（OS更新）後のさまざまな機能のより詳しい説明については、J:COM Webサイトより『取扱説明書 詳細版 Android 13対応版』（本書）をご参照ください。

■『取扱説明書 詳細版』

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版 Android 13対応版』（本書）は、J:COM Webサイトでご確認できます。

最新情報について

本製品の最新情報については、以下のホームページをご確認ください。

公式サイト：

<https://www.galaxymobile.jp/>

Facebook：

<https://www.facebook.com/galaxymobilejapan>

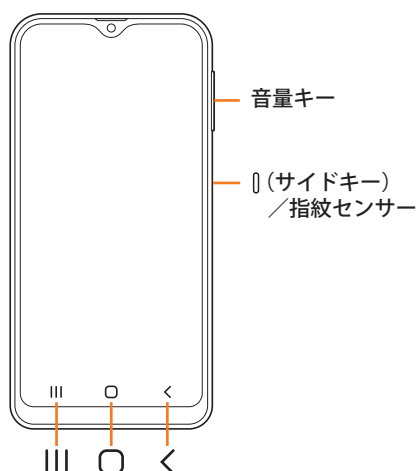
Twitter：

<https://twitter.com/GalaxyMobileJP>

本書の表記方法について

■掲載されているキー／ボタン表示について

本書では、キー／ボタンの図を以下のように簡略化しています。



■項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面で[]→相手の電話番号を入力→[]	ホーム画面下部の「」をタップ ^{※1} し、連絡する相手の電話番号を入力、「」をタップします。
アプリ一覧画面で[設定]→[一般管理]	ホーム画面を上フリックし ^{※2} 、表示されるアプリ一覧画面で「設定」をタップし、「一般管理」をタップします。

※1 タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く触れて選択する動作です(▶P.32)。

※2 本書ではアプリ一覧画面を表示させる操作を省略しています。

■掲載されているイラスト・画面表示について

本書は特に記載のある場合を除き、J:COMのSIMカードを取り付けた状態の画面表示・操作方法などの説明内容となります。本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。



memo

- ◎ 本書では本体カラー「ホホワイト」の表示を例に説明しています。
- ◎ 本書では縦表示の操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
- ◎ 本書では「microSD™メモリカード(市販品)」、「microSDHC™メモリカード(市販品)」および「microSDXC™メモリカード(市販品)」の名称を、「microSDメモリカード」と省略しています。
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ	1
同梱品一覧	1
取扱説明書について	1
最新情報について	2
本書の表記方法について	2

注意事項 7

注意事項	8
本製品のご利用について	8
安全上のご注意(必ずお守りください)	9
材質一覧	13
取り扱い上のご注意	14
防水／防塵に関するご注意	17
ご使用にあたっての注意事項	17
充電のときは	18
水に濡れたときの水抜きについて	18
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について	19
2.4GHz帯で使用上の注意	19
5GHz帯で使用上の注意	19
各種暗証番号／PINコードについて	20
各種暗証番号について	20
PINコードについて	20
データ通信料についてのご注意	20
通話料についてのご注意	20
アプリケーションについて	20
アプリの権限を設定する	21
マナーも携帯する	21

ご利用の準備 23

ご利用の準備	24
各部の名称と機能	24
SIMカードについて	25
SIMカードが挿入されていない場合	25
SIMカードを取り付ける／取り外す	25
SIMカードを取り付ける	25
SIMカードを取り外す	26
充電する	26
ACアダプタを使って充電する	27
急速充電を使用する	27
パソコンを使って充電する	27
電源を入れる／切る	28
電源を入れる	28
電源を切る	28
再起動する	28
強制的に再起動する	28
セーフモードで起動する	28
画面をロックする／画面ロックを解除する	28
画面をロックする	28
画面ロックを解除する	28
初期設定を行う	29
Googleアカウントの設定をする	29
Galaxyアカウントの設定をする	30

基本操作 31

基本操作	32
タッチパネルの使いかた	32
ナビゲーションバーの使いかた	32
ホーム画面を利用する	33
ホーム画面をカスタマイズする	33
かんたんモードに切り替える	34
分割画面表示で表示する	34
アプリケーションを起動する	35
アプリ一覧画面をカスタマイズする	35
本製品の状態を知る	35
アイコンの見かた	35
通知パネルについて	36
クイック検索ボックスを利用する	37
基本的な操作を覚える	37
縦横表示を切り替える	37
項目を選択する	37
タブを切り替える	37
メニューを表示する	37
設定を切り替える	38
データを複数選択する	38
最近使用したアプリケーションを表示する	38
起動中のアプリケーションを確認／終了する	38
画面の表示内容を画像として保存する	38

便利な機能 39

便利な機能の使いかた	39
モーションとジェスチャーの使いかた	39
エッジパネルを利用する	39
エッジパネルを設定する	39
顔認証機能を利用する	40
顔認証を登録する	40
顔認証の操作をする	40
顔認証の設定をする	40
指紋認証機能を利用する	40
指紋認証機能を設定する	41
指紋認証を行う	41
モードとルーチンを利用する	41
モードを設定する	41
ルーチンを設定する	41

文字入力 42

文字を入力する	42
入力方法を切り替える	42
キーボードのタイプを選択する	42
Galaxyキーボードで入力する	42
文字列を選択／切り取り／コピー／貼り付ける	43
文字入力の設定をする	43
Galaxyキーボードの設定を行う	43

電話・連絡先 45

電話	46
電話をかける	46
履歴を利用して電話をかける	47
海外へ電話をかける	48
電話を受ける	48
着信に伝言メモで応答する	48
着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する	49
伝言メモを利用する	49
自分の電話番号を確認する	49
通話関連機能の設定をする	49
番号指定ブロックの設定をする	50
クイック拒否メッセージを編集する	50
連絡先	51
連絡先を登録する	51
連絡先をお気に入りに追加する	51
マイプロフィールを編集する	51
連絡先を確認／編集する	52
グループ分けした連絡先を確認する	52
連絡先から電話をかける	52
連絡先のメニューを利用する	52
連絡先をインポート／エクスポートする	52
インポートする	52
エクスポートする	52

メール 53

メールについて	54
SMS	54
SMSについて	54
SMSを送信する	54
SMSを受信／返信する	54
SMSを設定する	55
PCメール	55
PCメールのアカウントを設定する	55
別のPCメールアカウントを設定する	55
PCメールアカウントを削除する	55
PCメールを送信する	56
PCメールを受信する	56
PCメールを返信／転送する	56
PCメールを削除する	56
Gmail	56
Gmailを送信する	56
Gmailを受信する	56
Gmailのメニューを利用する	56

インターネット 57

インターネット接続	58
インターネットに接続する	58
データ通信ご利用上のご注意	58
ブラウザ(Chrome)	58
Webページを表示する	58
Webページを移動する	58
ブラウザ画面のメニューを利用する	58
タブを利用する	58
Webページ内の画像をダウンロードする	59
リンクを操作する	59
ブックマークを利用する	59
ブックマークを確認する	59
ブックマークを追加する	59
履歴を利用する	59
履歴を確認する	59
履歴を消去する	59
ブラウザを設定する	59

アプリケーション 61

アプリケーション一覧	62
カメラ	63
カメラをご利用になる前に	63
静止画／動画を撮影する	63
撮影画面の見かた	63
撮影前の設定をする	64
カメラモードを変更する	64
静止画を撮影する	64
動画を撮影する	65
プレビュー画面を利用する	65
ファントで撮影する	65
ポートレートで撮影する	65
ARゾーンを使用する	66
AR絵文字スタジオを利用する	66
AR絵文字スタンプを利用する	66
AR手描きを利用する	66
デコピクを利用する	66
インテリジェント機能を利用する	66
シーン別に最適化を設定する	66
ギャラリー	66
ギャラリーを利用する	66
静止画／動画を表示する	66
ギャラリーのメニューを利用する	66
カレンダー	67
カレンダーを表示する	67
カレンダーの内容について	67
カレンダーのメニューを利用する	67
イベントやタスクを作成する	67
イベントやタスクの通知を解除またはスヌーズを設定する	67
カレンダーの設定を変更する	67
Galaxy Notes	68
Galaxy Notesを作成する	68
メモを書きながら音声録音する	68
Galaxy Notesを編集する	68
作成したノートを確認する	68
Galaxy Notesのメニューを利用する	68
Galaxy Store	69
ボイスレコーダー	69
音声を録音する	69
音声を再生する	69
ボイスレコーダーのメニューを利用する	69
NFC／おサイフケータイ®	70
おサイフケータイ®とは	70
おサイフケータイ®のご利用にあたって	70
リーダー／ライターとデータをやりとりする	70
おサイフケータイ®を設定する	71
NFC機能を設定する	71
NFC機能を有効にする	71
NFC機能を無効にする	71
「画面ロック中はロック」を設定する	71
FeliCa®に対応したサービスを利用する	71
非接触型決済	71
時計	72
アラームを利用する	72
アラームを止める	72
世界時計を利用する	72
ストップウォッチを利用する	72
タイマーを利用する	72

Androidアプリ	73
Google Playを利用する	73
アプリケーションを検索し、インストールする	73
アプリケーションを管理する	73
提供元不明のアプリケーションのインストール	73
インストールされたアプリケーションを削除する	73

ファイル管理 **75**

ファイル管理	76
本製品の保存領域について	76
microSDメモリカードを利用する	76
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す	76
microSDメモリカードを取り付ける	76
microSDメモリカードを取り外す	77
USBケーブルでパソコンと接続する	78
メディアデバイス(MTP)モードで	
パソコンと接続する	78
カメラデバイスとして使用する	78
メモリの使用量を確認する	78
microSDメモリカードをフォーマットする	78
MIDI対応機器と接続する	78
マイファイルを利用する	79
マイファイルのメニューを利用する	79
Smart Switchを利用する	79
パソコンと接続してSmart Switchを起動する	79
ワイヤレスで接続してSmart Switchを起動する	79
Windowsと連携する	80
Galaxyアカウントを利用してサーバー上に	
バックアップする	80

データ通信 **81**

無線LAN (Wi-Fi®) 機能	82
Wi-Fi®機能を利用する	82
Wi-Fi®機能をオンにする	82
Wi-Fi®ネットワークに接続する	82
Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する	82
静的IPを使用して接続する	82
Wi-Fi®接続を切断する	82
「Intelligent Wi-Fi」を設定する	83
Bluetooth®機能	83
Bluetooth®機能をオンにする	83
他のBluetooth®機器を登録する	84
他のBluetooth®機器から検出可能にする	84
ペアリングを解除する	84
Bluetooth®機能でデータを送受信する	84
Bluetooth®機能でデータを送信する	84
Bluetooth®機能でデータを受信する	84
テザリング機能	85
テザリングについて	85
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	85
Wi-Fi®テザリングを設定する	85
Bluetooth®テザリング機能を利用する	85
イーサネットテザリング機能を利用する	85
USBテザリング機能を利用する	85

機能設定 **87**

機能設定	88
設定メニューを表示する	88
接続の設定をする	88
機内モード	88
モバイルネットワーク	88
データ使用量	89
SIMマネージャー	89
その他の接続設定	89
接続デバイスの設定をする	90
サウンドとバイブの設定をする	90
マナーモードを設定する	90
各種音量を調節する	90
バイブレーションの強度を設定する	91
通知の設定をする	91
通知を消音する	91
ディスプレイの設定をする	91
壁紙とスタイルの設定をする	92
テーマの設定をする	92
ホーム画面の設定をする	92
ロック画面の設定をする	93
画面ロックの種類を設定する	93
セキュリティおよびプライバシーの設定をする	94
Galaxy Passを利用する	94
SIMカードロックを設定する	95
位置情報の設定をする	95
安全および緊急の設定をする	95
アカウントとバックアップの設定をする	96
アカウントを管理	96
デジタルウェルビーイングと	
ペアレンタルコントロールの設定をする	96
バッテリーとデバイスの設定をする	97
最適化機能を使用する	97
バッテリーの確認や設定をする	97
ストレージの確認や設定をする	97
一般管理の設定をする	97
日付と時刻を設定する	97
リセットを設定する	98
ユーザー補助の設定をする	98
TalkBackを利用する	99
ソフトウェア更新の設定をする	100
端末情報を表示する	100

付録・索引	101
付録	102
ソフトウェアを更新する	102
ソフトウェアをダウンロードして更新する	102
故障とお考えになる前に	102
アフターサービス	103
主な仕様	103
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	104
FCC RF Exposure Information	104
European RF Exposure Information	104
Declaration of Conformity	104
輸出管理規制	104
知的財産権について	105
商標について	105
License	105
HEVC Advance	105
索引	106

注意事項

注意事項	8
本製品のご利用について	8
安全上のご注意(必ずお守りください)	9
材質一覧	13
取り扱い上のご注意	14
防水／防塵に関するご注意	17
Bluetooth®／無線LAN (Wi-Fi®)機能について	19
各種暗証番号／PINコードについて	20
データ通信料についてのご注意	20
通話料についてのご注意	20
アプリケーションについて	20
アプリの権限を設定する	21
マナーも携帯する	21

注意事項

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

故障とお考えになる前に、本書の「故障とお考えになる前に」(▶P.102)で症状をご確認ください。

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、5G / LTE / WiMAX 2+ / GSM / UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE (LTEネットワーク)のみ利用できます。
- 本製品は国際ローミング対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
詳しくは、J:COM Webサイトをご確認ください。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書詳細版 Android 13対応版』(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の計測センサーやGPSにより得られる測位などの情報は、あくまで目安となり、高度な信頼性を必要とする目的でのご利用はできません。測位の誤差による損害および逸失利益に関して、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料は問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
 - 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品に保存されている写真／動画データや音楽データは、パソコンやクラウドサービスなどに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
 - 一般のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。
- ※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：JCOM株式会社
輸入元：SAMSUNG ELECTRONICS JAPAN Co., Ltd.
製造元：Samsung Electronics Co., Ltd.

memo

- ◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎ OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
- ◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよく読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^(※2) を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^(※3) の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、SIMカード、周辺機器共通

⚠ 危険

- 高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.17「防水／防塵に関するご注意」
- 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。また、風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.17「防水／防塵に関するご注意」
- 本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ ご注意いただきたい例
 - ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
 - 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
 - ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
 - 電車やバスなどの座席シートに挟み込む
- 分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本製品の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 本製品の背面カバーは取り外せません。取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.17「防水／防塵に関するご注意」
- ヘッドセット接続端子、充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.17「防水／防塵に関するご注意」



オプション品は、当社が指定したものを使用してください。

指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明確なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告



落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



ヘッドセット接続端子、充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。

また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜く。

- 本製品の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意



破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

▶P.17「防水／防塵に関するご注意」



子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



乳幼児やペットが届く場所に置かないでください。

SIMカード／microSDメモリーカードトレイやSIM取り出し用ピン(試供品)などの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信や動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客さまの体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となりますので、衣類のポケットに入れたり、就寝時などはご注意ください。

■ 本体について

⚠ 危険



火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告



フラッシュ／ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



自動車などの運転者に向けてフラッシュ／ライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



本製品内のSIMカード／microSDメモリーカードスロットに水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、SIMカードやmicroSDメモリーカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れた部分や露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。



ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



SIMカードの取り外しの際は、指などの身体の一部を傷つけないよう、SIM取り出し用ピン(試供品)の先端にご注意ください。
SIM取り出し用ピン(試供品)の先端に触れると、けがなどの原因となります。



自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客さまの体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について ▶P.13 「材質一覧」



本製品のスピーカー、受話口、リアカメラ、バイブレータなどに磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。



ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠ 警告

-  指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。
感電などの原因となります。
-  コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  指定の充電用機器(別売)に変圧器(海外旅行用のトランスコンバーターなど)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。
-  本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードやUSBケーブル、充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
-  電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
-  指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。
-  電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。
-  本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意



コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ SIMカードについて

⚠ 注意



SIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠ 警告



植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■ SIM取り出し用ピン(試供品)について

⚠ 警告



SIM取り出し用ピン(試供品)の先端部は、尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。

本人や他の人に当たり、けがや失明の原因となります。

⚠ 注意



SIM取り出し用ピン(試供品)の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客さまの体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質について ▶P.13 「材質一覧」



SIM取り出し用ピン(試供品)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

材質一覧

■ 本体

使用箇所	使用材質	表面処理
ディスプレイ(タッチパネル)	ガラス	AFコーティング
外装ケース(側面、上部、下部)	PC-GF10%	塗装
SIMカード／ microSDメモリカードトレイ	PC+SUS	—
SIMカード／ microSDメモリカードトレイ(側面)	PC	塗装
SIMカード／ microSDメモリカードトレイ(パッキン)	シリコン	—
背面カバー	PC	塗装
サイドキー／指紋センサー	EMC	塗装
音量キー	PC	塗装
受話口	PC	—
リアカメラウィンドウ	ガラス	AFコーティング
リアカメラ周辺部	PC	—
フラッシュ／ライト	PMMA	—
USB Type-C接続端子	コルソン合金	金メッキ
ヘッドセット接続端子	Cu+Ti	金メッキ
スピーカー	PC-GF10%	塗装

■ SIM取り出し用ピン(試供品)

使用箇所	使用材質	表面処理
本体	SUS304	バレル研磨

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、SIMカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部接続器を外部接続端子やヘッドセット接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)を発揮するために、SIMカード／microSDメモリカードトレイをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、充電用機器やオプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままのSIMカード／microSDメモリカードトレイの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。)
 - ・ 本製品本体
 - ・ SIMカード(本製品本体装着状態)
- 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
 - ・ 充電用機器
 - ・ 周辺機器
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- ヘッドセット接続端子、充電端子や外部接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えてヘッドセット接続端子、充電端子や外部接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。

- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客さまによる分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- ヘッドセット接続端子、充電端子や外部接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。
- 充電用機器、周辺機器は本製品に適したものを使用してください。対応していないものを使用すると、破損、故障の原因となります。

■ 本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客さま自身では交換できません。
 - 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
 - キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
 - 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク」が本製品内で確認できるようになっております。
- 確認方法：アプリ一覧画面で[設定]→[端末情報]→[認証情報]に表示されております。**
- 本製品本体の内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
 - キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
 - ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
 - 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下での使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
 - microSDメモ리카ードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
 - 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
 - 通常はSIMカード／microSDメモ리카ードトレイを閉めた状態で使用してください。SIMカード／microSDメモ리카ードトレイを開けずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
 - 本製品のSIMカード／microSDメモ리카ードスロットに液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
 - 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

- 砂浜などの上に直に置かないでください。スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入したりすると故障の原因となります。

■ タッチパネルについて

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のとがったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 手袋をしたままでの操作
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・ 保護シートやシールなどを貼った操作
 - ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - ・ 水中での操作
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について



Li-ion00

(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)

内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。過放電により、長い間使わないでいると充電が不可能になる場合がありますので、定期的に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いときや内蔵電池が膨れているときなど、機能が回復せず劣化している場合には寿命ですので使用をおやめください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、充電用機器(別売)のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

■ SIMカードについて

- SIMカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる携帯電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、SIMカードを挿入して故障した場合は、お客さまの責任となりますのでご注意ください。
- SIMカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因になります。
- SIMカードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ SIM取り出し用ピン(試供品)について

- SIM取り出し用ピン(試供品)に無理な力がかからないようにご使用ください。故障、破損の原因となります。
- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールに従って分別廃棄を行ってください。
- SIM取り出し用ピン(試供品)は本書に記載の使用用途以外また他の携帯端末には使用しないでください。携帯端末の故障、破損の原因となります。

■ カメラ機能について

- 大切な撮影などをするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客さまが本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、私的使用目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

- 撮影したフォトなどをインターネット・ホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自身で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

防水／防塵に関するご注意

- 本製品はSIMカード／microSDメモリカードトレイが完全に装着された状態で保護等級(JIS C 0920)のIPX5相当^{※1}、IPX8相当^{※2}の防水性能およびIP6X相当^{※3}の防塵性能を有しております(当社試験方法による)。
- 正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての注意事項」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。
 - ※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。
 - ※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。
 - ※3 IP6X相当とは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
- すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての注意事項

- SIMカード／microSDメモリカードトレイを完全に装着した状態にしてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 手や本体が濡れている状態でのSIMカード／microSDメモリカードトレイの開閉は絶対にしないでください。



石鹸・洗剤／入浴剤をつける



海水につける



温泉で使う



砂／泥をつける

- 水道水以外の液体(海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など)に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- お風呂、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- スピーカーなどに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本製品が常温になってから持ち込んでください。

- 本製品は水に浮きません。
- お風呂場では充電を行わないでください。

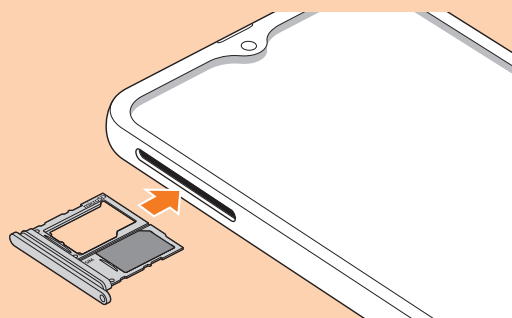
●SIMカード／microSDメモリカードトレイについて

- SIMカード／microSDメモリカードトレイは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- SIMカード／microSDメモリカードトレイを取り外し、取り付けたりする際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。トレイを装着する際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- SIMカード／microSDメモリカードトレイに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

SIMカード／microSDメモリカードトレイの装着方法

図の向きでSIMカード／microSDメモリカードスロットの奥までまっすぐ差し込んでください。

- SIMカード／microSDメモリカードトレイの表裏を逆にすると、SIMカードが落下するおそれがあります。



●水以外が付着した場合

- 万一、水以外(海水・洗剤・アルコールなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- やや弱めの水流(6リットル／分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃～35℃)の水道水で洗えます。
- 汚れた場合、ブラシなどは使用せず、SIMカード／microSDメモリカードトレイが開かないように押さえながら手で洗ってください。

●水に濡れた後は

- 水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- 寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したまま使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

● ゴムパッキンについて

- SIMカード／microSDメモ리카ードトレイのゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
- SIMカード／microSDメモ리카ードトレイを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようにご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとする、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性を維持できなくなる場合があります。
- SIMカード／microSDメモ리카ードトレイの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本製品が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付いたりするおそれがあり、浸水の原因となります。
- 防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。

● 耐熱性について

- 熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

● 衝撃について

- 本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。また、スピーカーなどをとがったものでつかないでください。本製品が破損・変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

充電のときは

付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本製品が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってください。
- 濡れた手で指定の充電用機器(別売)に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。

水に濡れたときの水抜きについて

- 本製品を水に濡らした場合、必ずマイクやスピーカーなどの穴、外部接続端子、ヘッドセット接続端子、キーなどの水抜きをしてください。
- そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
- 下記手順で水抜きを行ってください。

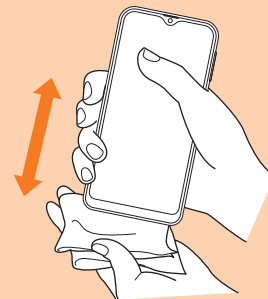
- 1 **本製品をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。**



- 2 **本製品をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。**



- 3 **マイクやスピーカーなどの穴、外部接続端子、ヘッドセット接続端子、キーなどの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本製品を20回程度振るよう押し当てて確実に拭き取ってください。**



- 4 **本製品から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。**

水を拭き取った後に本製品内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

Bluetooth®／無線LAN (Wi-Fi®)機能について

- ・本製品のBluetooth®機能および無線LAN (Wi-Fi®) 機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認証を取得しています。
- ・一部の国／地域ではBluetooth®機能／無線LAN (Wi-Fi®) 機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- ・無線LAN (Wi-Fi®) やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- ・近くに複数の無線LAN (Wi-Fi®) アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

IEEE802.11 b/g/n

IEEE802.11 a/n/ac

J52

W52

W53

W56

2.4GHz帯で使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN (Wi-Fi®) 機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、J:COMカスタマーセンター (https://www.jcom.co.jp/tel_search/) までご連絡ください。



- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®) の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®) によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線LAN (Wi-Fi®) は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®) 通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LAN (Wi-Fi®) は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN (Wi-Fi®) のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN (Wi-Fi®) 機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

2.4 FH1 / DS4 / OF4 / XX8

- ・ Bluetooth®機能：2.4FH1/XX8

本製品は2.4GHz帯を使用します。FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。XX8はその他の方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。

- ・ 無線LAN (Wi-Fi®) 機能：2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式、OFDM方式およびOFDMA方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

- ・  全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯で使用上の注意

本製品の無線LAN (Wi-Fi®) 機能は5GHz帯を使用します。5.2GHz/5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています(5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く)。本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52 (5.2GHz帯／36, 40, 44, 48ch)
W53 (5.3GHz帯／52, 56, 60, 64ch)
W56 (5.6GHz帯／100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140, 144ch)

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客さまの独自の番号に変更の上お使いください。

■ パスワード(おサイフケータイ ロック設定)

使用例	「おサイフケータイ ロック設定」を利用する場合
初期値	なし

PINコードについて

● PINコード

第三者によるSIMカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

・ お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は「入力不要」に設定されていますが、お客さまの必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力可否は「入力必要」に変更できます。

「入力必要」で使用する場合、必ずお客さま独自の番号に変更の上ご使用ください。

・ 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

● PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

・ PINロック解除コードは、SIMカードが取り付けられているプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。

・ PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。

・ PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、J:COMカスタマーセンター (https://www.jcom.co.jp/tel_search/) までお問い合わせください。

データ通信料についてのご注意

- ・ 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ・ 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。

通話料についてのご注意

- ・ 通話を終了される際は、通話終了の操作を行って確実に通話が切断されていることをご確認ください。通話の切り忘れにより、通話料が高額になる場合があります。

アプリケーションについて

- ・ アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、他のアプリケーションや本製品全体の動作に影響を及ぼすものもあります。また、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客さまの位置情報や利用履歴、本製品内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- ・ 万一、お客さまがインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ お客さまがインストールを行ったアプリケーションなどによりお客さまご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ・ アプリケーションによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- ・ アプリケーションの中には動作中スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなったりするものがあります。
- ・ 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、『取扱説明書 詳細版 Android 13対応版』(本書)に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「許可」／「許可しない」などをタップしてください。

例：辞書を初めて起動した場合

1 アプリ一覧画面で[Galaxy]→[辞書]

「電話の発信と管理を「辞書」に許可しますか？」の画面が表示されます。

2 [許可]／[許可しない]

3 画面の指示に従って操作



- ◎ 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ◎ 権限の設定を変更するには、アプリ一覧画面で[設定]→[アプリ]→設定を変更するアプリをタップ→[権限]→変更する権限をタップ→画面の指示に従って操作します。
- ◎ アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- ◎ 『取扱説明書 詳細版 Android 13対応版』(本書)では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- ・ 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- ・ 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

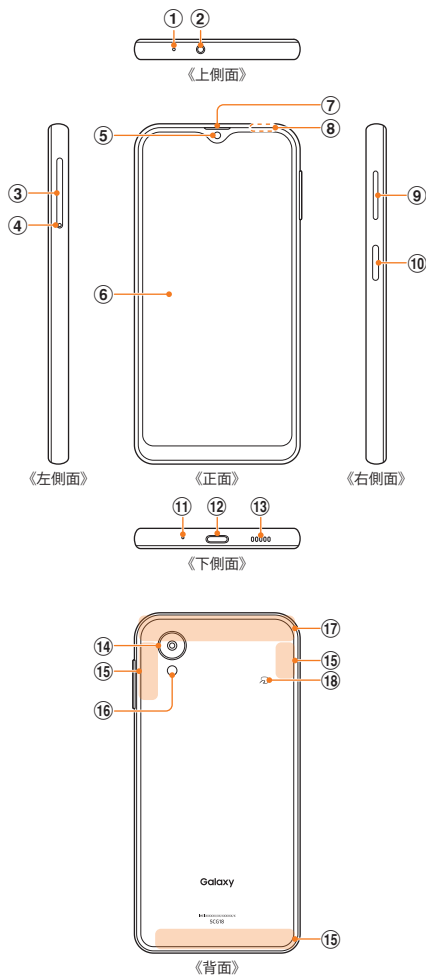
- ・ 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- ・ 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- ・ 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっただけの通話や操作は控えましょう。
- ・ 新幹線の中やホテルのロビーなどでの通話は、迷惑のわからない場所へ移動しましょう。
- ・ 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- ・ 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- ・ 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- ・ カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- ・ 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品を「機内モード」に切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- ・ 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

ご利用の準備

ご利用の準備	24
各部の名称と機能	24
SIMカードについて	25
SIMカードを取り付ける／取り外す	25
充電する	26
電源を入れる／切る	28
画面をロックする／画面ロックを解除する	28
初期設定を行う	29
Galaxyアカウントの設定をする	30

ご利用の準備

各部の名称と機能



- ① 送話口／マイク(上部)^{※1}
- ② ヘッドセット接続端子
- ③ SIMカード／microSDメモ리카ードトレイ
- ④ トレイイジェクトホール
SIMカード／microSDメモ리카ードトレイを取り出すためにSIM取り出し用ピン(試供品)を挿入する穴です。
- ⑤ フロントカメラ
- ⑥ ディスプレイ(タッチパネル)
- ⑦ 受話口^{※1}
- ⑧ 近接センサー^{※2}
- ⑨ 音量キー
通話音量やメディア再生音量などを調節します。
カメラ起動時は、静止画のシャッターまたは動画の撮影開始／終了ボタンとして機能します。
- ⑩ 〡(サイドキー)／指紋センサー^{※2}
長押しで電源のオン／オフができます。また、電源が入っているときに押すと、画面がロックされます。
- ⑪ 送話口／マイク(下部)^{※1}
- ⑫ USB Type-C接続端子(外部接続端子)
- ⑬ スピーカー^{※1}
- ⑭ リアカメラ

⑮ 5G／4Gアンテナ部^{※3}

⑯ フラッシュ／ライト

⑰ 5G／4G／GPS／Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ部^{※3}

⑱ マーク

※1 指などでふさがないようにご注意ください。関連する機能が正常に動作しないことがあります。また破損の原因となるため、SIM取り出し用ピン(試供品)などを誤って挿さないでください。

※2 シールなどで覆わないようにしてください。機能が正常に動作しない場合があります。

※3 アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手で覆うと通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。また、カバーの種類によってアンテナの電波状況が悪くなる可能性があります。

memo

- ◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。また、電池は本体に内蔵されており、お客さまによる取り外しはできません。
- ◎ 強制的に再起動する場合は、「電源を入れる／切る」(▶P.28)をご参照ください。
- ◎ カメラのレンズを直射日光などの強い光にあてないようにしてください。強い光にあてると、カメラのイメージセンサーの故障の原因となります。イメージセンサーの故障は回復できず、撮影した写真にドットなどが発生する場合があります。

SIMカードについて

SIMカードにはお客さまの電話番号などが記録されています。

本製品にはSIMロックはされておりません。



memo

- ◎ SIMカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ SIMカードのIC (金属) 部分には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ SIMカードを正しく取り付けしていない場合やSIMカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したSIMカードはなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因となります。
- ◎ SIMカードの取り付け／取り外しには、付属のSIM取り出し用ピン (試供品) が必要です。
- ◎ 付属のSIM取り出し用ピン (試供品) を、トレイJECTホール以外の穴などに挿入しないでください。また、本書に記載の用途以外に使用しないでください。

SIMカードが挿入されていない場合

SIMカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、が表示されます。

- ・ 電話をかける^{*}／受ける
- ・ SMSの送受信
- ・ PINコード設定
- ・ SIMカードロック設定
- ・ 本製品の電話番号の確認

上記以外でも、お客さまの電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

※ 110 (警察) ・119 (消防機関) ・118 (海上保安本部) への緊急通報も発信できません。ただし、海外では緊急通報に限り発信可能な場合があります (なお、緊急通報番号は国によって異なります)。

SIMカードを取り付ける／取り外す

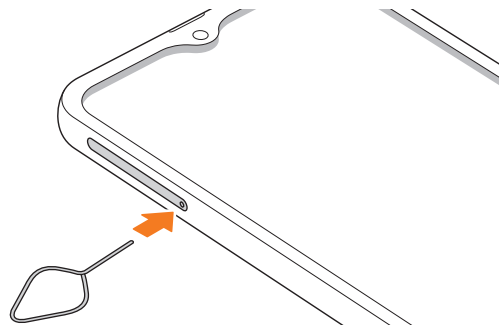
SIMカードの取り付け／取り外しは、なるべく本製品の電源を切ってから行ってください。

SIMカードを取り付ける

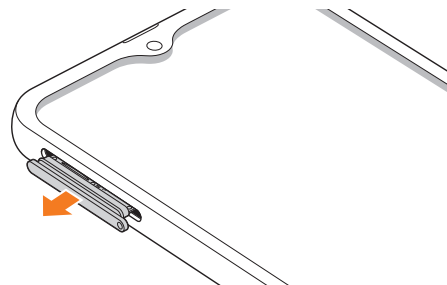
1 SIM取り出し用ピン (試供品) の先端をSIMカード／microSDメモリカードトレイのトレイJECTホールにまっすぐ差し込む

SIMカード／microSDメモリカードトレイが少し出ます。

- ・ まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

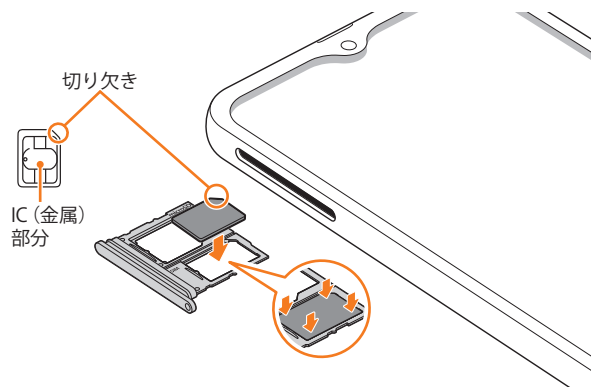


2 SIMカード／microSDメモリカードトレイをまっすぐ引き出す



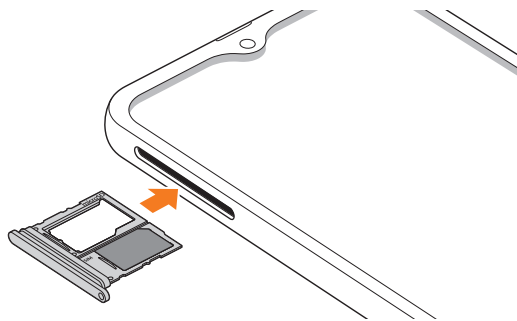
3 SIMカードのIC (金属) 部分を下にしてSIMカード／microSDメモリカードトレイにはめこむ

- ・ 切り欠きの方向にご注意ください。
- ・ SIMカード／microSDメモリカードトレイにSIMカードが正しくはめこまれていることを確認してください。トレイを差し込んだときにSIMカードが本体との間に挟まれるおそれがあります。



4 図の向きでSIMカード／microSDメモリカード スロットの奥までSIMカード／microSDメモリ カードトレイをまっすぐ差し込む

- SIMカード／microSDメモリカードトレイの表裏を逆にすると、SIMカードが落下するおそれがあります。



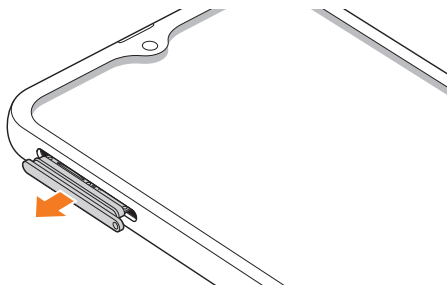
SIMカードを取り外す

1 SIM取り出し用ピン(試供品)の先端をSIMカード ／microSDメモリカードトレイのトレイジェ クトホールにまっすぐ差し込む

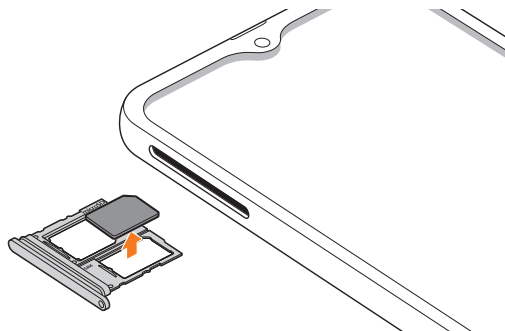
- SIMカード／microSDメモリカードトレイが少し出ます。
• まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

2 SIMカード／microSDメモリカードトレイをまっ すぐ引き出す

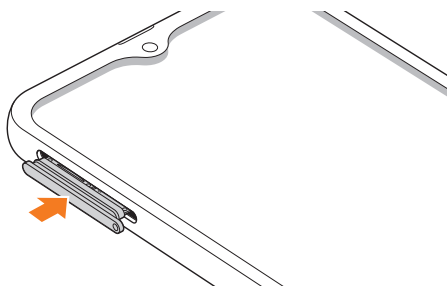
- SIMカード／microSDメモリカードトレイの表裏を逆にすると、SIMカードが落下するおそれがあります。



3 SIMカード／microSDメモリカードトレイから SIMカードを取り外す



4 図の向きでSIMカード／microSDメモリカード スロットの奥までSIMカード／microSDメモリ カードトレイをまっすぐ差し込む



充電する

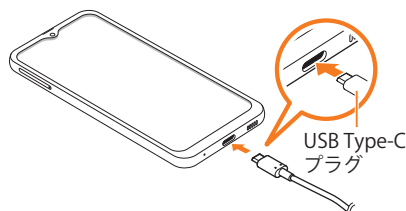
お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

※ 充電時間については、「主な仕様」(▶P.103)をご参照ください。

■ USB Type-Cプラグの差し込みかた

ACアダプタ(別売)を使って充電する場合

下図のように本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込んでください。



誤った接続を行うと、本製品への重大な損傷を招くおそれがあります。誤った接続による損傷は、補償の対象外となりますのでご注意ください。

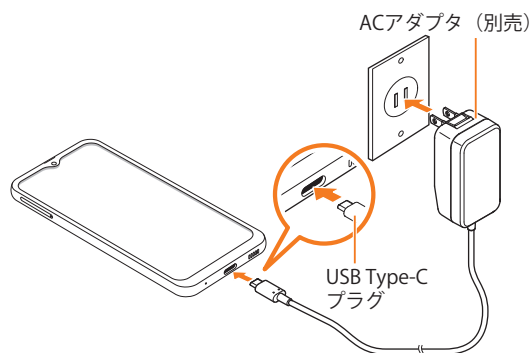
memo

- ◎ 指定の充電用機器(別売)はAC100VからAC240Vまで対応しています。海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- ◎ 充電の状態やバッテリー残量は、アプリ一覧画面で[設定]→[バッテリーとデバイスケア]→[バッテリー]と操作すると確認できます。
- ◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ パソコンを使って充電したり、カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなることがあります。
- ◎ アプリケーションや機能などのご利用状況により、内蔵電池の使用時間が短くなることがあります。
- ◎ USB Type-CプラグをUSB Type-C接続端子に差し込んでもしっかり充電が始まらない場合は、接続などが正しいかご確認ください。それでも充電されない場合は、USB Type-CプラグをUSB Type-C接続端子から外して、J:COMカスタマーセンター(https://www.jcom.co.jp/tel_search/)までご連絡ください。
- ◎ 充電中はステータスバーに  が表示されます。充電が完了すると、ステータスバーに  が表示されます。
- ◎ 充電中に「Check BATTERY」が表示された場合は、修理手続きを行ってください。
- ◎ USB Type-C接続端子が濡れている状態で充電しないでください。本製品の故障の原因となります。

ACアダプタを使って充電する

充電には指定のACアダプタ (別売) が必要です。

- 1 ACアダプタ (別売) の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む
- 2 ACアダプタ (別売) のUSB Type-Cプラグを本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む



- 3 充電が終わったら、ACアダプタ (別売) のUSB Type-Cプラグを本製品からまっすぐ引き抜き、電源プラグをコンセントから抜く

急速充電を使用する

本製品をより高速に充電できます。

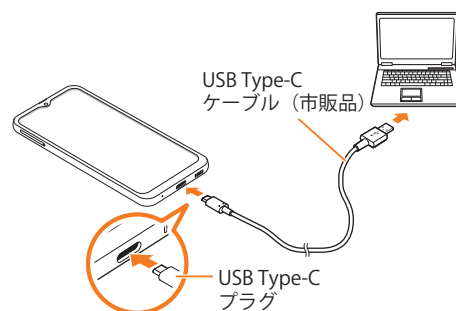
- ・急速充電を使用するには、対応している充電器が必要です。通常の充電器では使用できません。
- ・画面をオフにすると、より速く充電できます。

- 1 アプリ一覧画面で[設定]
- 2 [バッテリーとデバイスケア]
- 3 [バッテリー]→[その他のバッテリー設定]→「急速充電」の「」をタップして「」にする

パソコンを使って充電する

USB Type-Cケーブル (市販品) とパソコンを使って充電することができます。接続方向をよくご確認ください。正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

- 1 USB Type-Cケーブル (市販品) のUSB Type-Cプラグを本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む
- 2 USB Type-Cケーブル (市販品) のUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む
 - ・本製品で「端末のデータへのアクセスを許可しますか？」と表示されたら「拒否」をタップしてください。
 - ・パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。
- 3 充電が終わったら、USB Type-Cケーブル (市販品) を本製品とパソコンから取り外す



電源を入れる／切る

電源を入れる

- 1 〇 (サイドキー)／指紋センサーを2秒以上長押し
ロック画面が表示されます。
- 2 画面を上下左右にスワイプして、画面ロックを解除

memo

- ◎ 電源を入れたとき、画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- ◎ 初めて電源を入れたときは初期設定画面が表示されます。初期設定について、詳しくは「初期設定を行う」(▶P.29)をご参照ください。
- ◎ 「画面ロックの種類を設定する」(▶P.93)で解除方法を設定している場合は、設定した方法で画面ロックを解除してください。

電源を切る

- 1 〇 (サイドキー)／指紋センサーを長押し
端末オプション画面が表示されます。
- 2 [電源OFF]→[電源OFF]

memo

- ◎ 通知パネル(▶P.36)にある「」をタップしても、「電源OFF」を実行できます。

再起動する

- 1 〇 (サイドキー)／指紋センサーを長押し
端末オプション画面が表示されます。
- 2 [再起動]→[再起動]

memo

- ◎ 通知パネル(▶P.36)にある「」をタップしても、「再起動」を実行できます。

強制的に再起動する

通常の方法で電源が切れなくなったり、画面が動かなくなったりした場合は強制的に再起動をすることができます。

- 1 〇 (サイドキー)／指紋センサーと音量キーの下側を同時に7秒以上長押し

memo

- ◎ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

セーフモードで起動する

動作不安定などの問題が生じたときは、診断用の起動モード「セーフモード」で起動します。

- 1 〇 (サイドキー)／指紋センサーを2秒以上長押し
- 2 Galaxyのロゴが表示されたら、音量キーの下側を押し続ける
セーフモードが起動すると画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。
・セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。

memo

- ◎ 音量キーの下側を押すタイミングによってはセーフモードが起動しないことがあります。その場合は本製品を起動した状態で、〇 (サイドキー)／指紋センサーを長押し→「電源OFF」をロングタッチ→[セーフモード]と操作するとセーフモードで再起動できます。
- ◎ 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
- ◎ お客さまご自身で作成されたウィジェットが正常に動作しない場合があります。
- ◎ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了してご利用ください。

画面をロックする／画面ロックを解除する

画面をロックする

画面をロックすると、画面が消灯し、タッチパネルの誤動作を防止できます。

また、本製品では、設定した時間が経過すると、自動的に画面が消灯して約5秒後に画面ロックがかかります。

- 1 画面点灯時に 〇 (サイドキー)／指紋センサーを押す
画面が消灯し、ロックされます。

memo

- ◎ 「画面のタイムアウト」(▶P.91)で画面が消灯するまでの時間を変更できます。
- ◎ 本製品をかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、誤動作防止のため、必ず画面ロックを設定してください。また、かばんなどの中で本製品の 〇 (サイドキー)／指紋センサーが押されないようにしてください。

画面ロックを解除する

ロック画面は、電源を入れたときや、〇 (サイドキー)／指紋センサーを押して画面を点灯させたときに表示されます。

- 1 画面消灯時に 〇 (サイドキー)／指紋センサーを押す
ロック画面が表示されます。
- 2 画面を上下左右にスワイプして、画面ロックを解除

memo

- ◎ 「画面ロックの種類を設定する」(▶P.93)で解除方法を設定している場合は、設定した方法で画面ロックを解除してください。解除方法を「なし」に設定している場合は、ロック画面は表示されません。

初期設定を行う

電源を入れた後に初期設定画面が表示されたときは、画面の指示に従って、各機能の設定を行います。

- ・ネットワークとの接続や設定の省略などによっては操作が異なります。
- ・「スキップ」などをタップすると該当の設定を省略できます。

1 「日本語」が表示されていることを確認→[開始]

2 「確認すべき項目」の内容を確認してチェックを入れる→[同意する]

3 Wi-Fi®接続設定を行う(▶P.82)

4 必要に応じて、アプリとデータのコピーを行う

5 Googleアカウントを設定

- ・ Googleアカウントの設定画面が表示されます。Googleアカウントの設定について詳しくは、「Googleアカウントの設定をする」(▶P.29)をご参照ください。
- ・ 文字入力方法について詳しくは、「文字入力」(▶P.42)をご参照ください。

6 必要に応じて、利用するGoogleサービスを設定

7 必要に応じて、「端末を保護」を設定

- ・ Googleアシスタントの設定画面などが表示された場合は、必要に応じて操作してください。

8 必要に応じて、Galaxyアカウントを設定

- ・ Galaxyアカウントの設定について詳しくは、「Galaxyアカウントの設定をする」(▶P.30)をご参照ください。

9 必要に応じて、Galaxyアプリやサービスの権限を設定

10 「準備完了！」画面が表示されたら、[完了]

Googleアカウントの設定をする

本製品にGoogleアカウントを設定すると、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスを利用できます。

Googleアカウントの設定画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

1 Googleアカウントの設定画面→

[アカウントを作成]→[自分用]／[子供用]／
[ビジネスの管理用]

Googleアカウントをすでにお持ちの場合は「メールアドレスまたは電話番号」をタップし、メールアドレスを入力して「次へ」をタップします。

2 画面の指示に従って操作



- ◎ Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- ◎ ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。
- ◎ すでにGoogleアカウントを設定しており、新しいGoogleアカウントを作成する場合、表示される選択肢が異なる場合があります。

Galaxyアカウントの設定をする

「端末リモート追跡」(▶P.94)や「Galaxy Store」(▶P.69)の一部の機能など、Galaxyサービスを利用するには、あらかじめGalaxyアカウントの設定を行う必要があります。

Galaxyアカウントの設定は、Galaxyアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

- ・リモートコントロールはFind My Mobile (端末リモート追跡)から操作できます。

Find My Mobile (端末リモート追跡)の詳細については、以下のホームページをご参照ください。

<https://findmymobile.samsung.com/login.do>

1 Galaxyアカウントの設定画面→

[アカウントを作成]

Galaxyアカウントをすでにお持ちの場合はメールアドレス^{*}を入力→[次へ]→パスワードを入力と操作してください。

^{*}一部の国/地域では電話番号も入力可能です。

2 利用規約などの内容を確認しチェックを入れる

→[同意する]

3 必要な項目を入力・設定→[アカウントを作成]

4 画面の指示に従って操作し、アカウントを認証する



- ◎ 設定したGalaxyアカウントのパスワードは、本製品を初期化するときなどに必要になります。メモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

基本操作

基本操作	32
タッチパネルの使いかた	32
ナビゲーションバーの使いかた	32
ホーム画面を利用する	33
分割画面表示で表示する	34
アプリケーションを起動する	35
本製品の状態を知る	35
クイック検索ボックスを利用する	37
基本的な操作を覚える	37
便利な機能	39
便利な機能の使いかた	39
エッジパネルを利用する	39
顔認証機能を利用する	40
指紋認証機能を利用する	40
モードとルーチンを利用する	41
文字入力	42
文字を入力する	42
文字列を選択／切り取り／コピー／貼り付ける	43
文字入力の設定をする	43

基本操作

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- ・タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先がとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けしないでください。
- ・以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - 水中での操作

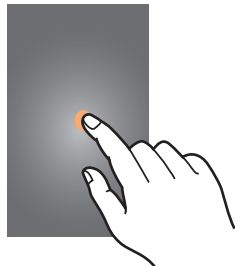
■ タップ/ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



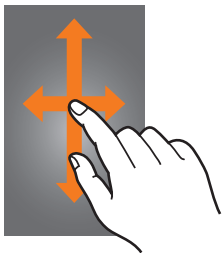
■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。



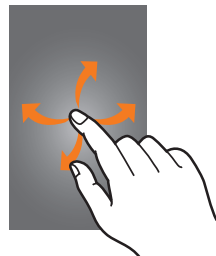
■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に指を軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



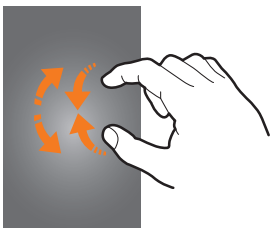
■ フリック(スワイプ)

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。
・最初はゆっくりと、最後は軽くはらうように指を動かしてください。



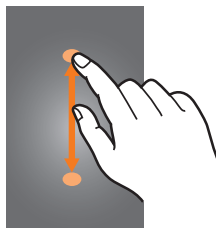
■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり(ピンチアウト)、閉じたり(ピンチイン)します。



■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に指を軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



ナビゲーションバーの使いかた

画面下部に表示されるナビゲーションバーに、画面を操作するためのアイコンが表示されます。アイコンの名称と動作は次のとおりです。

アイコン	概要
III	履歴ボタン 起動中のアプリケーション一覧やおすすめのアプリなどを表示します。 最近使用したアプリがある場合は、履歴一覧も表示します。
○	ホームボタン ホーム画面を表示します。また、ロングタッチするとGoogleアシスタントを起動できます。
<	戻るボタン 1つ前の画面に戻ります。
□	回転ボタン 表示画面を回転します。 ・自動回転(▶P.37)がオフのときに、本製品を回転すると回転ボタンが表示されます。
⋮	キーボードボタン 利用する入力方法を選択します。 ・アプリ一覧画面で[設定]→[一般管理]→[キーボードリストと初期設定]→「ナビゲーションバーにキーボードボタンを表示」をオンにすると、キーボードを利用するときにキーボードボタンが表示されます。

memo

- ◎ アプリ一覧画面で[設定]→[ディスプレイ]→[ナビゲーションバー]と操作すると、ナビゲーションタイプの設定などができます。
- ◎ III→[]→[設定]と操作すると、おすすめのアプリの履歴画面の表示/非表示などを設定できます。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は複数の画面で構成されており、左右にフリック(▶P.32)すると切り替えることができます。

□をタップするとホーム画面を表示することができます。



- ① **ウィジェット**
ウィジェットによっては、タップすると起動や操作ができます。
- ② **クイック検索ボックス(▶P.37)**
タップすると検索画面が表示されます。
- ③ **アプリ／フォルダ**
 - ・アプリ：タップするとアプリを起動できます。
 - ・フォルダ：複数のアプリアイコンをまとめたものをフォルダといいます。タップすると、フォルダ内のアプリ一覧が表示されます。
- ④ **ホーム画面の位置**
現在表示中の画面の位置が表示されます。
- ⑤ **ドック**
アプリ／フォルダを配置できます。ドックに配置されたアプリ／フォルダはホーム画面のページを左右に切り替えても常に表示されます。
- ⑥ **ナビゲーションバー(▶P.32)**
- ⑦ **エッジパネルハンドル(▶P.39)**

memo

◎ Galaxy Notesや連絡先など一部のアプリでは、ホーム画面やアプリ一覧画面でアイコンをロングタッチすると、アプリの特定の画面へ直接移動できるショートカット(「ノートを作成」や「連絡先を作成」など)のリストが表示されます。

ホーム画面をカスタマイズする

■ ショートカット／ウィジェットを追加する

ホーム画面にアプリケーションやブックマークなどのショートカットや、ウィジェットを追加できます。ウィジェットとは、ホーム画面に追加して利用できるアプリケーションです。

- ・ブックマークのショートカットを追加する方法はアプリケーションごと異なります。

1 ホーム画面でアイコンのない壁紙部分をロングタッチ

- ・アプリケーションのショートカットを追加する場合は、ホーム画面を上フリックし、手順4へ進みます。

2 [ウィジェット]

3 画面を上下にフリック→ホーム画面に追加したいウィジェットの種類を選択

4 ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチ

- ・アプリケーションのショートカットを追加する場合は、ホーム画面に追加したいアイコンをロングタッチ→[ホームに追加]と操作します。

5 ウィジェットを追加したい位置までドラッグして指を離す

データの選択や設定の画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

- ・ウィジェットをホーム画面の左端／右端までドラッグすると、他のページに移動できます。
- ・サイズを変更できるウィジェットの場合は、サイズ調節の枠が表示されます。枠をドラッグしてサイズを変更することができます。

■ フォルダを追加する

1 ホーム画面でフォルダにしたいアイコンをロングタッチ

2 フォルダとしてまとめたいアイコンまでドラッグして指を離す

3 フォルダ名を入力→[完了]

■ ショートカット／ウィジェット／フォルダを移動／削除する

ホーム画面に追加したショートカットやウィジェット、フォルダの表示位置を変更したり、削除したりできます。

1 ホーム画面で移動したいアイコンをロングタッチ

2 アイコンを移動したい位置までドラッグして指を離す

- ・アイコンをホーム画面の左端／右端までドラッグすると、他のページに移動できます。
- ・アイコンをロングタッチ→[削除]と操作すると、ホーム画面からアイコンを削除できます。

memo

◎ ホーム画面に追加したアプリケーションのショートカットを削除しても、アプリケーションそのものを削除(アンインストール)するわけではありません。ただし、アイコンをロングタッチ→[アンインストール]→[OK]と操作すると、アプリケーションを削除できます。

■ ホーム画面を並べ替える

ホーム画面の位置を入れ替えたり、追加／削除したりできます。

■ ホーム画面を並べ替える場合

1 ホーム画面でアイコンのない壁紙部分をロングタッチ

ホーム画面がサムネイル表示されます。

2 移動したいホーム画面のサムネイルをロングタッチ→移動したい位置までドラッグして指を離す

- ホーム画面のサムネイルの「」をタップすると、ホーム画面を削除できます。
- ホーム画面のサムネイルに「+」が表示されている場合は、タップするとホーム画面を追加できます。

memo

- ◎ 「」をタップすると、標準ホーム画面（をタップしたときに表示されるホーム画面）を切り替えることができます。
- ◎ ホーム画面でアイコンのない壁紙部分をロングタッチした後、一番左のサムネイルで「」をタップして「」にしてから「Google Discover」／「Galaxy Free」を選択した場合、一番左のホーム画面で画面を右にフリックすると「Google Discover」／「Galaxy Free」画面が表示されます。

■ かんたんモードに切り替える

スマートフォン初心者でも使いやすいように、よく使う連絡先や電話などを大きなアイコンでホーム画面に表示することができます。

1 アプリ一覧画面で[設定]→[ディスプレイ]→[かんたんモード]

2 「かんたんモード」の「」をタップして「」にする

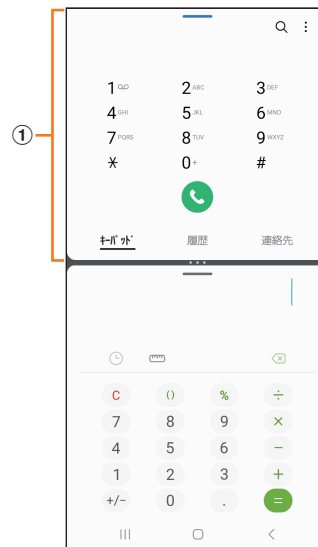
ホーム画面が切り替わります。

- 元のホーム画面に戻す場合は、ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[ディスプレイ]→[かんたんモード]→「かんたんモード」の「」をタップして「」にします。

分割画面表示で表示する

2つの画面を表示したり、ポップアップで異なるアプリを同時に使用することができます。

- 一部のアプリケーションでは、本機能を利用できない場合があります。



① 選択しているウィンドウ

1 分割画面の上部に表示するアプリを起動した状態で

- 起動中のアプリのサムネイルが表示されます。

2 アプリのサムネイル上部のアイコンをタップ→[分割画面表示で起動]

3 分割表示したいもうひとつのアプリをタップ

memo

- ◎ 分割画面表示を終了するには、→分割画面のサムネイルを上フリックしてください。

アプリケーションを起動する

アプリ一覧画面には、本製品にインストールされているアプリケーションのアイコンが表示され、アイコンをタップしてアプリケーションを起動できます。

- ・アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

1 ホーム画面を上フリック

アプリ一覧画面が表示されます。

- ・1画面におさまらない場合は、左右にフリック(▶P.32)すると、画面を切り替えられます。

2 使用するアプリケーションのアイコンをタップ

アプリ一覧画面をカスタマイズする

アプリ一覧画面に表示されるアイコンの並べ替えができます。

1 アプリ一覧画面で任意のアイコンをロングタッチ→移動したい位置までドラッグして指を離す

- ・アプリ一覧画面の左端/右端までアイコンをドラッグすると、アイコンを他のページに移動できます。
- ・アイコンをロングタッチして、表示される「アンインストール」や「無効」をタップすると、アプリケーションをアンインストールしたり、無効にしたりすることができます。フォルダの場合は、フォルダをロングタッチ→[フォルダを削除]→[削除]と操作するとフォルダのみが削除され、フォルダ内のアプリケーションはアンインストールされません。

本製品の状態を知る

画面上部のステータスバーには本製品の状態を示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側には不在着信や新着メール、実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。



アイコンの見かた

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	発信中／着信中／通話中
	バックグラウンドで発信中／バックグラウンドで通話中
	不在着信あり
	新着Gmailあり
	新着PCメールあり
	新着SMSあり
	データダウンロード中／完了
	データアップロード中／完了
	アラーム通知あり
	カレンダーの通知あり
	エラーメッセージあり
	ソフトウェア更新設定／確認中
	Googleマップの道案内起動中
	スクリーンショット完了
	非表示の通知情報あり
	「通知をミュート」設定中



◎ 通知アイコンには、複数件の通知があったことを示す、アイコンが重なったデザインで表示されるものもあります。

■ 主なステータスアイコン

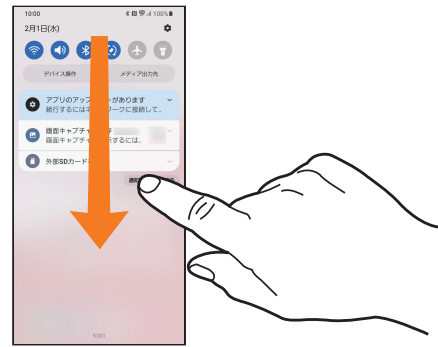
アイコン	概要	ページ
	電波の強さ レベル4 / 圏外	—
	電波の強さ (海外利用中)	—
	5Gデータ通信状態※ ¹ 5Gデータ使用可能 / 5Gデータ通信中	—
	4G (LTE / WiMAX 2+) データ通信状態※ ² 4G (LTE / WiMAX 2+) データ使用可能 / 4G (LTE / WiMAX 2+) データ通信中	—
	無線LAN (Wi-Fi®) 通信状態 無線LAN (Wi-Fi®) 使用可能 / 無線LAN (Wi-Fi®) 通信中	P.82
	Bluetooth®デバイスと接続中	P.83
	機内モード設定中	P.88
	マナーモード(パイプ)設定中	P.90
	マナーモード(サイレント)設定中	P.90
	電池レベル状態 100% / 充電中	—
	アラーム設定中	P.72
	位置情報測位中	—
	Wi-Fi®テザリング機能利用中	P.85
	カメラを利用中	—
	マイクを利用中	—

※1 「5G」エリア外では「4G」のネットワークがご利用いただけます。

※2 「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況などに応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

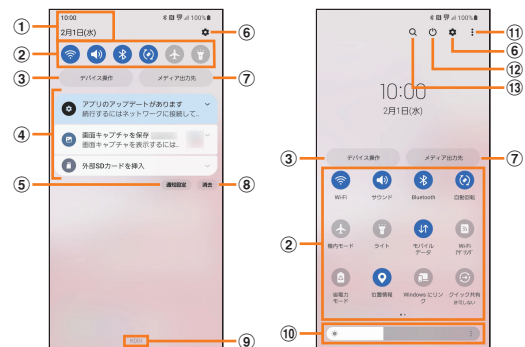
通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されているときは、ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、通知の概要を確認できます。



また、通知パネルのアイコン(クイック設定ボタン)をタップして機能を設定したり、通知情報などを消去したりすることができます。通知パネルの画面(左下図)を下にフリックすると、表示されていないクイック設定ボタンを確認できます(右下図)。また、通知パネルの画面(左下図)を上フリックすると、通知パネルを閉じます。

1 ステータスバーを下にスライド



- ① 日付と時刻が表示されます。
- ② 各種機能のオン/オフを切り替えます(クイック設定ボタン)。右上図が表示された状態で、左右にフリックすると、表示されていないクイック設定ボタンを確認できます。
- ③ 本製品に接続したデバイスなどを管理します。
- ④ 進行中情報や通知情報が表示されます。
 - ・進行中情報や通知情報をロングタッチすると、アプリの通知などを設定できます。
 - ・進行中情報や通知情報を左右にフリックすると、情報を消去できます。
- ⑤ 通知に関する設定を行います。
- ⑥ 設定メニュー画面が表示されます。
- ⑦ メディアの出力先を管理します。
- ⑧ 通知情報(お知らせ)の表示を消去します。
- ⑨ 接続中のネットワークの通信事業者名が表示されます。
- ⑩ ディスプレイの明るさを調整します。
- ⑪ クイック設定ボタンの変更やステータスバーの通知アイコン表示設定などができます。
- ⑫ 電源OFFや再起動などができます。
- ⑬ アイテムを検索できます。



- ◎ 通知情報の種類によっては、消去できない場合があります。
- ◎ クイック設定ボタンは、オンに設定されている場合は青色で表示されます。

クイック検索ボックスを利用する

本製品やWebページの情報を検索できます。

1 ホーム画面でクイック検索ボックスをタップ

- 🔊 :Google音声検索に切り替えます。
- 📷 :Googleレンズに切り替えます。
- Googleアカウントのログインに関する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 入力欄にキーワードを入力

入力した文字が含まれるアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／キーボードの[🔍]

Google検索の検索結果を表示します。
一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

基本的な操作を覚える

ここでは、本製品でよく使う操作を説明します。

縦横表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、自動的に画面の縦／横表示を切り替えることができます。



- ◎ ステータスバーを下にスライド→[🔄]と操作して自動回転をオフにすると、画面表示が固定されます。自動回転がオフのときは、本製品を回転して表示される□(▶P.32)をタップすると画面が回転します。
- ◎ 表示中の画面によっては、本製品の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

項目を選択する

表示された項目やアイコンを選択するには、画面を直接タップします。

タブを切り替える

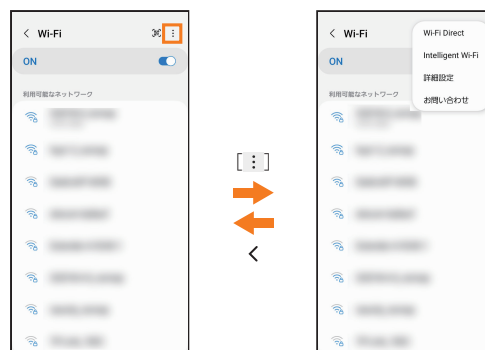
タブが表示されている画面では、表示／確認したいタブをタップすると画面を切り替えられます。



メニューを表示する

画面のメニューを表示するには、「⋮」をタップ／入力欄や項目をロングタッチして表示する方法などがあります。

例:Wi-Fi設定画面で「⋮」をタップする場合



《Wi-Fi設定画面》

例:Wi-Fi設定画面で項目をロングタッチする場合



《Wi-Fi設定画面》

設定を切り替える

設定項目の横にチェックボックスやラジオボタンまたはオン／オフスイッチが表示されているときは、チェックボックスやラジオボタンまたはオン／オフスイッチをタップすることで設定のオン／オフを切り替えることができます。

アイコン	説明
	設定がオンの状態です。
	設定がオフの状態です。

データを複数選択する

データを移動／削除などする際に、複数のデータを選択できます。
選択するデータをタップすると、チェックボックスにチェックが入り、データが選択された状態になります。
チェックボックスにチェックが入った項目をもう一度タップすると、チェックボックスのチェックが外れて選択が解除されます。

最近使用したアプリケーションを表示する

最近使用したアプリケーションを表示してアクセスできます。

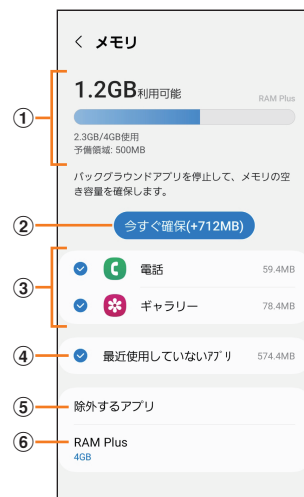
1 III

- 最近使用したアプリケーションが一覧で表示されます。
- 一覧からアプリケーションをタップすると、アプリケーションが起動します。
 - 「全て閉じる」をタップすると一覧からすべてのアプリケーションを削除します。
 - アプリケーションのサムネイル上部のアイコンをタップすると、アプリ情報の確認や分割画面表示などを実行できます。
 - アプリケーションのサムネイル上部のアイコンをタップ→[ポップアップ表示で起動]と操作すると、一部のアプリをポップアップで起動できます。
 - アプリケーションのサムネイル上部のアイコンをタップ→[このアプリをロック]と操作してロックしたアプリは、「全て閉じる」をタップしても一覧から削除されません。

起動中のアプリケーションを確認／終了する

1 アプリ一覧画面で[設定]

2 [バッテリーとデバイスカア]→[メモリ]



① メモリステータス

メモリの使用状況を確認できます。

② 今すぐ確保

「今すぐ確保」をタップすると、チェックが入っているアプリなどを終了します。

③ 起動中のアプリ一覧

④ 最近使用していないアプリ

タップすると最近使用していないアプリを確認できます。

⑤ 除外するアプリ

メモリ使用量の監視対象から除外するアプリを選択します。

⑥ RAM Plus

内部ストレージを仮想メモリとして使用する容量を選択します。

画面の表示内容を画像として保存する

音量キーの下側とII(サイドキー)／指紋センサーを同時に押すと、現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンショット)できます。動作が完了するとステータスバーにが表示されます。



- ◎ 画像は、「ギャラリー」(▶P.66)の「画面キャプチャ」アルバムから見るることができます。
- ◎ 起動中のアプリケーションによっては、スクリーンショットが動作しない場合があります。
- ◎ スクリーンショット後に表示される画面キャプチャツールバーで「」をタップすると、画面をスクロールして表示できる領域を1枚の画像としてキャプチャし続けることができます。

便利な機能

便利な機能の使いかた

便利な機能を利用する前に、アプリ一覧画面で[設定]→[便利な機能]→利用する機能をオンにしてください。
※一部のアプリケーションでは、利用できない機能があります。

■ ラボ

お試し機能を使用することができます。

- 一部の機能は正常に動作しない場合があります。

■ サイドキー

⏏(サイドキー)／指紋センサーを2回押して起動するアプリを設定できます。

■ モーションとジェスチャー

▶P.39「モーションとジェスチャーの使いかた」

■ 片手モード

「片手モード」をONにし、「画面表示サイズの縮小方法」で「ジェスチャー」を選択すると、画面の下端中央で下にスワイプして、画面サイズを縮小することができます。「ボタン」を選択すると、○をダブルタップして、画面サイズを縮小することができます。

■ 画面キャプチャ

スクリーンショット後に画面キャプチャツールバーの表示や画面キャプチャの保存形式などを設定できます。

■ コンテンツを共有時に連絡先を表示

コンテンツを共有するときに連絡先を表示するかどうかを設定します。

■ Game Launcher

「Game Launcher」をONにすると、Game Launcherアプリですべてのゲームをまとめて管理できます。

■ デュアルメッセンジャー

ソーシャルアプリに別のアカウントでサインインできます。デュアルメッセンジャーが利用可能なアプリはデュアルメッセンジャー画面に記載されているアプリのみです。

モーションとジェスチャーの使いかた

■ 持ち上げて画面ON

本製品を持ち上げると画面がONになります。

■ ダブルタップして画面をOFF

ホーム画面およびロック画面の何も無いスペースをダブルタップすると、画面がOFFになります。

■ 閲覧中は画面を常にON

画面を見ている間はディスプレイの点灯を継続します。

■ 端末を持ち上げたときにお知らせ

不在着信がある状態で、本製品を持ち上げると振動して通知します。

■ 伏せて消音

着信音やアラームの鳴動中などに、本製品を伏せると消音します。

■ 端末を持ち上げて発信

連絡先の詳細画面で本製品を耳に近づけると、表示している連絡先に発信します。

■ 指紋センサーのジェスチャー

⏏(サイドキー)／指紋センサーを上下にスワイプすると、通知パネルを開閉できます。

エッジパネルを利用する

よく使うアプリや連絡先にすばやくアクセスできます。

1 エッジパネルハンドルを画面の中央に向かってスワイプ

エッジパネルが表示されます。



memo

- ◎ エッジパネルをスワイプすると、エッジパネルを切り替えます。
- ◎ エッジパネルがオフに設定されている場合、アプリ一覧画面で[設定]→[ディスプレイ]→[エッジパネル]→「」をタップして「」にすると、エッジパネルをオンに設定できます。

エッジパネルを設定する

1 エッジパネルハンドルを画面の中央に向かってスワイプ

エッジパネルが表示されます。

2 []

パネル設定画面が表示されます。

3 追加／削除したいエッジパネルにチェックを入れる／外す

- エッジパネルの「編集」をタップすると、エッジパネルを編集できます。

登録するアプリを設定する

1 パネル設定画面で「アプリ」の「編集」をタップ

2 登録するアプリをタップ

- 登録中のアプリの「」をタップすると、登録しているアプリをエッジパネルから削除できます。
- 「」をタップすると、分割画面の表示方法や最近使用したアプリをエッジパネルに表示するかどうかなどを設定できます。
- 分割画面表示中(▶P.34)に画面中央に表示される「」→「」→「[アプリパネル]」と操作すると、エッジパネルにアプリペアを作成できます。

エッジパネルハンドルを設定する

1 アプリ一覧画面で[設定]→[ディスプレイ]

2 [エッジパネル]→[ハンドル]

3 位置、スタイルなどを設定

顔認証機能を利用する

本製品の所有者の顔を認識してセキュリティの認証ができます。

■ 顔認証利用時の注意事項

- ・双子などの見た目が似ている他の人でもロック解除ができる場合があります。
- ・顔認証の安全性はパターン、PIN、パスワードまたは指紋よりも劣ります。

■ 顔登録時の注意事項

- ・登録の際は、メガネ、帽子、マスクの着用、ひげや化粧の濃さなどの状態をよく確認してください。
- ・薄暗い環境やカメラのレンズが汚れたまま登録しないでください。
- ・認識の成功率を高めるために、画像がぼやけていないことを確認してください。

顔認証を登録する

1 アプリ一覧画面で[設定]

2 [セキュリティおよびプライバシー]→[生体認証]→[顔認証]

- ・すでにいずれかのロック解除方法を設定している場合は、認証操作を行ってください。

3 表示内容を確認→[続行]

4 「パターン」、「PIN」、「パスワード」のいずれかのロック解除方法を設定

5 画面の指示に従って操作

顔認証の操作をする

1 ロック画面で顔認証を行う



- ◎ 顔が正しく認識されない場合は、顔認証登録時に指定したロック解除方法を使用しても、画面ロックを解除できます。

顔認証の設定をする

1 アプリ一覧画面で[設定]

2 [セキュリティおよびプライバシー]→[生体認証]→[顔認証]

3 登録したロック解除方法を入力

4 各項目を設定

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能は、指紋センサーに指を置いて行う認証操作です。指紋認証機能を使用すると、ロック画面の解除やGalaxyアカウントへの認証操作などを簡単に行うことができます。

■ 指紋認証利用時のご注意

- ・本機能は指紋の特徴情報を認証に利用するためのものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客さまの場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- ・指紋の登録には同じ指で繰り返し読み取る必要があります。異なる指で登録を行わないでください。
- ・認証性能(正しく指を置いた際に指紋が認証される性能)は、お客さまの使用状況により異なります。指が濡れている、汗をかいている、または手が乾燥しているなど、指の状態によっては指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下することがあります。その場合、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客さまの指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
- ・指紋の登録の際は、指紋センサーに指を置き、振動したら指を離し、これを繰り返します。指紋の端までスキャンできるように毎回指の位置を変えてください。
- ・指紋の登録や認証の際は、指紋センサーに軽く指を置き、指紋センサーのキーを押さないようにしてください。
- ・指を曲げたり、指先だけで指紋センサーに触れたりすると、正常に認識できないことがあります。
- ・指を置く力が弱かったり指の離し方が速すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。
- ・できるだけ指紋の渦の中心を指紋センサーの中心に置いてください。
- ・指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- ・指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。異なる2つの指紋を指紋センサーが誤認識する可能性は非常に低いですが、特徴が非常に似た異なる指紋を同一の指紋と認識する可能性があります。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害および逸失利益に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- ・指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- ・ぶつかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、指紋センサー表面を引っかいたり、先のとがったものでつついたりしないでください。
- ・本製品の指紋センサーは側面にあります。爪やストラップの金具など硬いものを押し付けると、指紋センサー表面に傷が付くことがあります。
- ・泥などで指紋センサー表面が汚れたり、表面に傷が付いたりすると、故障および破損の原因となることがあります。
- ・ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分が付着したり結露が発生すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下することがあります。指紋センサー表面はときどき清掃してください。
- ・指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が解消されることがあります。

指紋認証機能を設定する

指紋を登録したり、利用する機能を設定したりします。

- ・ロック画面の解除操作の設定については「画面ロックの種類を設定する」(▶P.93)をご参照ください。

指紋を登録する

- 1 アプリ一覧画面で[設定]
- 2 [セキュリティおよびプライバシー]→[生体認証]→[指紋認証]
 - ・すでにいずれかのロック解除方法を設定している場合は、認証操作を行ってください。
- 3 表示内容を確認→[続行]
- 4 「パターン」、「PIN」、「パスワード」のいずれかのロック解除方法を設定し、画面の指示に従って操作

画面ロックの解除方法として利用する場合

以下は、指紋を登録してある場合の操作です。

- 1 アプリ一覧画面で[設定]
- 2 [ロック画面]
- 3 [画面ロックの種類]→登録したロック解除方法を入力
- 4 「指紋認証」の「」をタップして「」にする

指紋を削除する

- 1 アプリ一覧画面で[設定]
- 2 [セキュリティおよびプライバシー]→[生体認証]→[指紋認証]
- 3 登録したロック解除方法を入力
- 4 削除する指紋をロングタッチ→[削除]→[削除]

指紋認証を行う

- 1 画面消灯時またはロック画面表示中に、 (サイドキー)／指紋センサーに指を置く
 - ・正しく認証されない場合は、指を (サイドキー)／指紋センサーから離し、もう一度 (サイドキー)／指紋センサーに指を置いてください。



- ◎ 指紋が正しく認証されない場合は、指紋登録時に指定したロック解除方法を使用しても、画面ロックを解除できます。

モードとルーチンを利用する

本製品を使用する場所や状況に基づいてモードを選択したり、よく行う操作をルーチンとして追加したりして、本製品をより使いやすくします。

モードを設定する

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[モードとルーチン]
- 2 [モード]
 - モード設定画面が表示されます。
- 3 利用するモードを選択
- 4 画面の指示に従って操作し、モードを実行する条件などを設定



- ◎ モード設定画面で「モードを追加」をタップすると、新しいモードを追加できます。
- ◎ 設定したモードは、指定した条件を満足すると、自動的に実行されます。また、手動で実行したいモードをオンにすることもできます。モードを手動でオンにするには、モード設定画面で実行したいモードをタップ→[ON]と操作します。

ルーチンを設定する

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[モードとルーチン]
- 2 [ルーチン]
 - ルーチン設定画面が表示されます。
- 3 [+]
- 4 画面の指示に従って操作し、ルーチンを実行する条件や実行内容を設定



- ◎ 実行中のルーチンは通知パネルで確認できます。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。初期状態ではGalaxyキーボードを利用することができます。

memo

- ◎ 使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリケーションや機能専用のキーボードが表示される場合があります。
- ◎ 本書ではGalaxyキーボード(日本語)を基準に説明しています。Galaxyキーボード(English (US))では、画面上のボタン、操作手順などが異なる場合があります。
- ◎ キーボードを利用すると表示される  をタップしたときに利用する入力方法を選択できます(▶P.32)。

入力方法を切り替える

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[一般管理]→[キーボードリストと初期設定]→[標準キーボード]

- 2 利用したい入力方法を選択

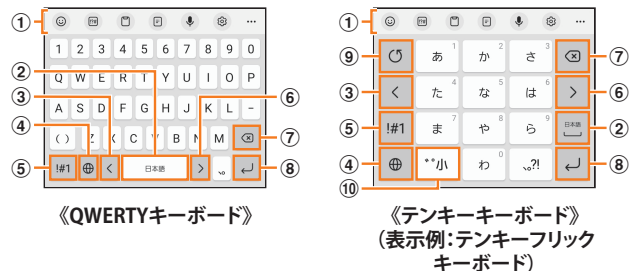
キーボードのタイプを選択する

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[一般管理]→[Galaxyキーボード設定]
- 2 [言語とタイプ]
- 3 [日本語]
 - ・「English (US)」をタップすると、英語のキーボードタイプを設定できます。
- 4 タイプを選択

Galaxyキーボードで入力する

Galaxyキーボード(日本語)は、QWERTYキーボード、テンキーフリックなしキーボード、テンキーフリックキーボード、テンキー8フリックキーボードの4種類のキーボードを利用できます。

- ・ QWERTYキーボード：パソコンなどと同じキー配列のキーボードです。ローマ字入力となります。
- ・ テンキーキーボード：一般の携帯電話のようなキー配列のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを文字が入力されるまで数回タップして入力します。テンキーフリックキーボード、テンキー8フリックキーボードに設定している場合は、キーをロングタッチするとキーポップアップが表示され、入力したい文字が表示された方向にフリックしても入力できます。



- ① キーボード追加機能が表示されます。
音声入力やキーボードの設定などの機能を利用できます。
 - ・ 「…」をタップすると、追加機能の表示領域を広げます。キーボード追加機能の並び順を変更できます。
 - ・ 文字が入力されている場合は、予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- ② スペースを入力します。
 - ・ 文字が入力されている場合は、通常変換候補から文字を選択できます。
- ③ カーソルを左に移動します。
- ④ 日本語／英語入力モードに切り替えます。
- ⑤ 数字／記号一覧を表示します。
- ⑥ カーソルを右に移動します。
 - ・ 同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときにもタップしてください。
 - ・ 「ワイルドカード予測」をオンにしている場合は、タップするとワイルドカード予測を利用できます。
- ⑦ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
- ⑧ 操作状態や選択中の入力欄に対応したキーが表示され、入力した文字の確定や、改行、次の入力欄への移動などができます。
- ⑨ 確定前の文字を、キーをタップしたときと逆順に切り替えます(フリック入力時は切り替わりません)。
- ⑩ 濁点／半濁点を付けます。

■ ワイルドカード予測を利用する

- 「ワイルドカード予測」をオンに設定している場合に利用できます。
- 「ワイルドカード予測」をオンに設定するには、アプリ一覧画面で[設定]→[一般管理]→[Galaxyキーボード設定]→[日本語入力オプション]→「ワイルドカード予測」の「」をタップして「」にしてください。

■ 例:「携帯」を入力する場合

1 キーボード表示中に「け」を入力

2 「」を3回タップ

予測変換候補に「携帯」が表示されます(必要に応じて「」をタップして予測変換候補の表示エリアを拡大してください)。

- 読みの文字数を変更するには、「」/「」をタップします。

3 予測変換候補から[携帯]

文字列を選択／切り取り／コピー／貼り付ける

1 入力した文字列をロングタッチ

アイコン(/など)が表示され、間にある文字列が選択されます。アイコンをドラッグして、選択範囲を変更できます。

2 利用する機能をタップ

切り取り	選択した文字列を切り取り／コピーします。
コピー	切り取り／コピーした文字列はクリップボードに保存されます。
貼り付け ^{※1}	切り取り／コピーした文字列を貼り付けます。

※1 切り取り／コピーの操作後など、クリップボードにテキストデータが保存されている場合に表示されます。



- ◎ アプリケーションによっては、利用できない機能があります。
- ◎ 手順2以外の文言が表示される場合があります。
- ◎ 文字入力欄をタップすると、アイコン(など)が表示されます。アイコンをドラッグすると、カーソルを移動できます。アイコンをタップすると「貼り付け」「クリップボード」などを利用できます。
- ◎ 文字入力欄で文字が入力されていないエリアをロングタッチしても、「貼り付け」「クリップボード」などを利用できます。

文字入力の設定をする

Galaxyキーボードの設定を行う

Galaxyキーボードを利用して文字を入力する際の入力動作や、キーボードのレイアウトなどを設定できます。

1 アプリ一覧画面で[設定]→[一般管理]→[Galaxyキーボード設定]

2	言語とタイプ	入力言語やそのキーボードタイプなどを設定します。
	日本語入力オプション	フリック入力、音声入力、マッシュルームなどの設定をします。
	予測テキスト	予測変換候補を表示するかどうかを設定します。
	絵文字の候補を表示	絵文字の候補を表示するかどうかを設定します。
	入力中にスタンプの候補を表示	入力中にスタンプの候補の表示方法などを設定します。
	自動置換	文字を入力すると入力候補が提示されます。スペースボタンなどをタップすると、提示された候補が入力されます。
	テキストの修正提案	入力したテキストに文法の誤りなどがある場合、修正提案が表示されます。
	よく使うフレーズ	よく使うフレーズを追加します。
	他の入力オプション	自動大文字変換や自動スペース入力などの設定をします。
	キーボードのツールバー	キーボードのツールバーの表示／非表示を設定します。
	高コントラストキーボード	キーボードの色をより鮮明に変更します。
	テーマ	キーボードのテーマを設定します。
	モード	縦横画面でのキーボードの表示モードを設定します。
	サイズと透明度	キーボードのサイズと透明度を調整します。
	レイアウト	キーボードの数字ボタンを表示するかななどのレイアウトを設定します。
	文字サイズ	キーボード上の文字サイズを設定します。
	カスタム記号	カスタム記号を設定します。
	スワイプ、タッチ、フィードバック	キーボードのスワイプコントロールや長押し認識時間などの設定をします。
	画面キャプチャをクリップボードに保存	画面キャプチャをクリップボードに保存するかどうかを設定します。
	使用する他社のコンテンツを選択	キーボードを利用時に関連するコンテンツを取得します。
	初期設定にリセット	キーボード設定のリセットや予測テキストの学習データの消去などができます。
	Galaxyキーボードについて	Galaxyキーボードのバージョンなどを確認できます。
	お問い合わせ	Galaxy Membersに移動します。 ・ Galaxy Membersアプリをインストールすると、「お問い合わせ」は表示されなくなります。

電話・連絡先

電話	46
電話をかける	46
電話を受ける	48
伝言メモを利用する	49
自分の電話番号を確認する	49
通話関連機能の設定をする	49
連絡先	51
連絡先を登録する	51
連絡先を確認／編集する	52
連絡先から電話をかける	52
連絡先のメニューを利用する	52
連絡先をインポート／エクスポートする	52

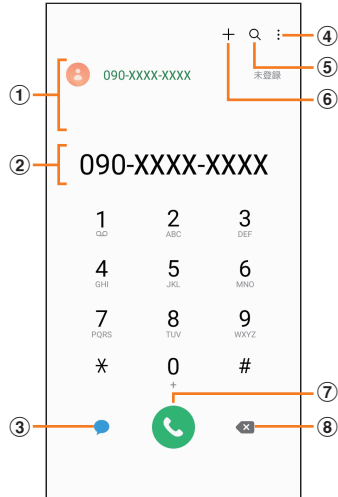
電話

通話中の手順は、通話画面が最大化の場合で記載しています。

電話をかける

1 ホーム画面で[**C**]

- ・キーパッド画面が表示されない場合、「キーパッド」タブをタップしてください。



- ① **検索結果欄**
番号を入力するごとに連絡先や履歴などが検索され、入力候補が表示されます。
- ② **電話番号入力欄**
入力した電話番号が表示されます。
- ③ **メッセージキー**
メッセージを作成・送信します(▶P.54)。
- ④ **メニュー**
メニューを表示します(▶P.46)。
- ⑤ **検索**
タップすると、名前や電話番号で連絡先や通話履歴を検索できます。
- ⑥ **連絡先に登録**
入力した電話番号を連絡先に登録します。
- ⑦ **発信キー**
- ⑧ **削除キー**
カーソルの左側にある番号を削除します。

2 相手の電話番号を入力

- 一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。
- ・「スピードダイヤル番号」(▶P.47)を登録済みの場合は、短縮番号を割り当てたキーをロングタッチすると、スピードダイヤル番号で発信できます。

3 [**C**]

- 通話画面が表示されます。
- ・通話中に音量キーを押すと、通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。

4 通話が終了したら[**⏏**]

memo

- ◎ 本製品に顔を近づけるなどして近接センサーを覆ったとき(イヤホンなどを取り付けている場合は除く)や、一定時間操作しないまましていると、通話画面は消えます。近接センサーから顔などを離して[**⏏**](サイドキー)/指紋センサーを押すと、通話画面を表示できます。
- ◎ 通話画面が最大化のときに[**○**]をタップすると、ホーム画面が表示され、ステータスバーに通話状態が表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルの通知をタップすると、通話画面(最大化)に戻ります。
- ◎ 送話口/マイク(上部、下部)を覆っても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

■ キーパッド画面のメニューを利用する

1 キーパッド画面→[**⋮**]

2 2秒間の停止を追加 ^{※1}	「,」を入力します。電話番号に続けて「,」と番号を入力して発信すると、発信してから約2秒後にプッシュ信号(番号)が自動的に送信されます。
待機を追加 ^{※1}	「;」を入力します。電話番号に続けて「;」と番号を入力して発信すると、電話がつながって「はい」をタップしたときにプッシュ信号(番号)が送信されます。
メッセージを送信 ^{※1}	メッセージを作成・送信します。
スピードダイヤル番号	▶P.47「スピードダイヤル番号を登録する」
キーパッドで起動/前回の表示で起動 ^{※2}	「電話」アプリを起動したときの画面の表示方法を設定します。
設定	▶P.49「通話関連機能の設定をする」

※1 キーパッド画面で番号を入力すると表示されます。

※2 キーパッド画面で番号が入力されていないときに表示されます。

■ 通話中に利用できる操作

通話中は以下の操作が行えます。

操作	説明
録音/録音を停止	通話の録音を開始/停止します。
通話を保留/通話を再開	通話を保留/再開します。
Bluetooth	Bluetooth®対応機器と接続してハンズフリーで通話します。
スピーカー	相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。
消音	自分の声を相手に聞こえないようにします。
キーパッド/非表示	キーパッドを表示/非表示します。

■ 通話画面のメニューを利用する

1 通話画面→[**⋮**]

2 通話を追加	別の相手に電話をかけることができます。
連絡先に追加	通話中の電話番号を連絡先に登録します。 ・電話番号が連絡先に登録されている場合、「連絡先を表示」と表示されます。タップすると、連絡先の詳細を表示します。
メッセージを送信	メッセージを作成・送信します。

■ スピードダイヤル番号を登録する

スピードダイヤル番号を登録すると、キーパッド画面で短縮番号をロングタッチして簡単に電話をかけることができます。

- ・2桁以上の短縮番号を利用する場合は、最後の桁をロングタッチしてください。

1 キーパッド画面→[:]→[スピードダイヤル番号]
スピードダイヤル番号設定画面が表示されます。

2 短縮番号(2～999)を選択

3 [人]→連絡先を選択

memo

- ◎ 短縮番号1には留守番電話が登録されており、変更／削除できません。
- ◎ スピードダイヤル番号設定画面では、登録済みの短縮番号をタップしてメッセージ送信や電話発信ができます。
- ◎ 短縮番号を削除するには、スピードダイヤル番号設定画面で短縮番号の「」をタップします。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客さまの現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

memo

- ◎ 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- ◎ 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE(LTEネットワーク)のみ利用できます。
- ◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- ◎ 緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客さまの現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- ◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- ◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- ◎ 緊急通報受理機関への緊急通報の際には、必ずお客さまの所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えください。また、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- ◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
- ◎ 着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に解除されます。
- ◎ 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

■ 履歴を利用して電話をかける

履歴では、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴、着信拒否履歴を一覧で確認できます。

1 ホーム画面で[履歴]→「履歴」タブ

履歴画面が表示されます。

-  : 着信
-  : 発信
-  : 不在着信
-  : 拒否した着信
-  : 「番号指定ブロック」(▶P.49)を設定することで自動的に拒否した着信

2 かけたい相手を選択

3 [電話]

「」をタップすると履歴詳細画面が表示されます。

memo

- ◎ 「」をタップするとメッセージを作成できます。
- ◎ 「」をタップするとビデオ通話を実行できます。
- ◎ 履歴画面で履歴を左にスライドするとメッセージ送信、右にスライドすると電話発信ができます。

■ 履歴画面のメニューを利用する

1 履歴画面→[:]

2 削除	履歴を選択し削除できます。
ブロックした着信を非表示／ブロックした着信を表示	「番号指定ブロック」(▶P.49)を設定することで自動的に拒否した着信の通話履歴を表示するかどうかを設定できます。
録音済み伝言メモ	録音済み伝言メモ一覧画面を表示します。
合計通話時間	最近の通話、発信、着信およびすべての通話の通話時間を表示します。
設定	▶P.49 「通話関連機能の設定をする」

海外へ電話をかける

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

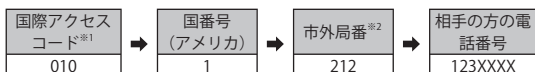
例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 ホーム画面で[]

- ・キーパッド画面が表示されない場合、「キーパッド」タブをタップしてください。

2 国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の電話番号を入力→[]

国際アクセスコードは国によって異なります。



※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。



◎ 国際電話について詳しくは、J:COM Webサイトをご確認ください。

電話を受ける

1 「」を円の外までドラッグ／スライド

- ・「着信中」ポップアップ画面が表示された場合は、「」をタップしてください。

2 通話が終了したら[]

■ 着信を拒否する場合

1 「」を円の外までドラッグ／スライド

- ・着信音が止まって電話が切れ、相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。
- ・「着信中」ポップアップ画面が表示された場合は、「」をタップしてください。

■ 電話がかかってきた場合の表示について

初期状態では、着信すると次の内容が表示されます。

- ・相手の方から電話番号の通知があると、電話番号が表示されます。電話帳(連絡先)に登録されている場合は、名前が表示されます。



- ◎ 「番号指定ブロックの設定をする」(▶P.50) で着信を自動的に拒否するように設定できます。

かかってきた電話に出なかった場合は

- ◎ ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、着信の電話番号、または電話帳(連絡先)に登録されている名前が表示されます。

着信時に着信音、バイブレータを無効にするには

- ◎ 着信中に[] (サイドキー) / 指紋センサー、音量キーを押すと、着信音、バイブレータを無効にすることができます。

他の機能をご利用中の着信に応答した場合は

- ◎ 動画を録画していた場合は、電話を受けると、録画が停止され、録画していたデータは保存されます。
- ◎ ボイスレコーダーなどで録音していた場合は、電話を受けると、録音が一時停止されます。通話終了後、録音が再開されます。

着信に伝言メモで応答する

伝言メモを設定していなくても、手動で起動できます。

1 着信中に「メッセージを送信」を上にもスライド

- ・「着信中」ポップアップ画面が表示された場合は、「メッセージを送信」をタップしてください。

2 [伝言メモ]

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する

1 着信中に「メッセージを送信」を上スライド

- ・「着信中」ポップアップ画面が表示された場合は、「メッセージを送信」をタップしてください。

2 送信するクイック拒否メッセージをタップ

- ・「新しいメッセージを作成」をタップすると、メッセージを作成して送信できます。



- ◎ 既存のクイック拒否メッセージを編集することができます。操作については、「クイック拒否メッセージを編集する」(▶P.50)をご参照ください。

伝言メモを利用する

伝言メモを設定すると、お留守番サービスEXを契約していない場合でも、電話に応答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。1件あたりの最大録音時間は約13時間です。

1 ホーム画面で[]→[:]→[設定]→[伝言メモ設定]

2	メッセージで自動応答	伝言メモでの応答を毎回自動で行うかどうかを設定します。
	応答メッセージを再生するまでの時間	伝言メモで応答するまでの時間を設定します。
	言語	応答メッセージの言語を設定します。
	録音済み伝言メモ	録音済み伝言メモ一覧画面を表示します。



- ◎ 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーを下にスライド→[新しい録音メッセージ]と操作すると、録音済み伝言メモ一覧画面が表示され、録音された伝言メモを確認できます。
- ◎ 録音された伝言メモを削除するには、録音済み伝言メモ一覧画面で[:]→[編集]→削除する伝言メモにチェックを入れる→[:]→[削除]→[OK]と操作します。

自分の電話番号を確認する

1 アプリ一覧画面で[設定]→[端末情報]

- ・「電話番号」に自分の電話番号が表示されます。

通話関連機能の設定をする

1 ホーム画面で[]→[:]→[設定]

通話設定画面が表示されます。

2	番号指定ブロック	▶P.50「番号指定ブロックの設定をする」
通話を録音	録音後に通知を表示	通話の録音が完了した後に、通知を表示するかどうかを設定します。
	通話の自動録音	選択した番号に発信した通話を自動的に録音するかどうかを設定します。
	通話の録音ファイル	通話時に録音したファイルを確認できます。
	保存先	録音ファイルの保存先を設定します。 ・ microSDメモリカードを挿入している場合のみ表示されます。
発着信画面の背景		発信着信時に表示する画像などを設定します。
通話通知と着信音	通話開始時にバイブ	通話開始時に本製品を振動させるかどうかを設定します。
	通話終了時にバイブ	通話が終了したときに本製品を振動させるかどうかを設定します。
	通話開始時に音を再生	通話開始音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話終了時に音を再生	通話終了音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話中にアラーム／通知音を許可	通話中にアラームなどの通知音を許可するかどうかを設定します。
	着信音	電話着信音などを設定します。
	着信時のバイブ	着信のバイブレーションのパターンを設定します。
	着信時にバイブ	電話の着信時に、バイブレーションも動作するかどうかを設定します。 ・ マナーモード設定中は表示されません。
	キーパッドタップ時に音を再生	キーパッドをタップしたときに音を鳴らすかどうかを設定します。
	キーパッドタップ時にバイブ	キーパッドをタップしたときにバイブレーションが動作するかどうかを設定します。
	通話応答／終了	発信者名を読み上げるかどうかを設定します。
	自動応答	ヘッドセットやBluetooth®デバイスが接続された状態で着信した場合、設定した時間が経過すると自動的に応答します。
	音量アップキーを押して着信に応答	音量キーの上側を押して着信に応答するかどうかを設定します。
	サイドキーを押して通話終了	⏏(サイドキー)／指紋センサーを押して通話を終了するかどうかを設定します。
クイック拒否メッセージ		▶P.50「クイック拒否メッセージを編集する」
アプリ使用中の着信画面表示		他のアプリを使用時の着信表示方法を設定します。
伝言メモ設定		▶P.49「伝言メモを利用する」

その他の通話設定	番号が未登録の連絡先を非表示	電話番号が登録されている連絡先のみを「連絡先」タブに表示します。
	発信者情報を表示	前回の通話日時など発信者に関する情報を表示します。
	通話中に連絡先の番号を表示	登録されている連絡先と通話する場合に、電話番号を表示するかどうかを設定します。
	スワイプして発信／メッセージ送信	「電話」または「連絡先」アプリで、連絡先または電話番号をスワイプして発信やメッセージ送信を行うかどうかを設定します。
権限		本アプリに関する権限を確認できます。
電話アプリについて		本アプリについての情報を確認できます。
お問い合わせ		Galaxy Membersに移動します。 ・ Galaxy Membersアプリをアンインストールすると、「お問い合わせ」は表示されなくなります。

番号指定ブロックの設定をする

あらかじめ「番号指定ブロック」(▶P.49)に電話番号を追加しておくと、着信を自動的に拒否します。

■「番号指定ブロック」に電話番号を追加する

着信を拒否する電話番号を登録します。

1 通話設定画面→[番号指定ブロック]

- ・「不明な番号からの着信をブロック」をオンにすると、不明な番号からの着信を拒否します。

2 拒否したい電話番号を入力

- ・「履歴」／「連絡先」をタップすると、通話履歴や連絡先から電話番号を選択できます。

3 [+]

クイック拒否メッセージを編集する

電話に応答できないときに送信するメッセージ(SMS)を編集します。

1 通話設定画面→[クイック拒否メッセージ]

クイック拒否メッセージ一覧画面が表示されます。

2 編集したいクイック拒否メッセージを選択

3 クイック拒否メッセージを編集→[保存]



- ◎ クイック拒否メッセージを新規作成する場合は、「新規メッセージを作成」欄にクイック拒否メッセージを入力→[+]と操作します。
- ◎ クイック拒否メッセージ一覧画面で、削除したいクイック拒否メッセージの「-」をタップすると、クイック拒否メッセージを削除することができます。

連絡先

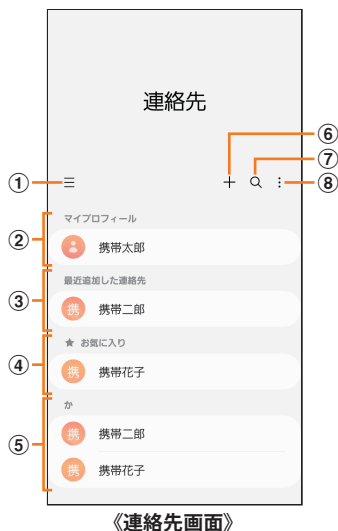
連絡先を登録する

電話帳(連絡先)の連絡先画面では、連絡先の各種情報が表示されます。連絡先に写真を追加することもできます。



- ◎ 連絡先に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で登録内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 「アカウントを登録する」(▶P.96)を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の連絡先を同期できます。

1 アプリ一覧画面で「連絡先」



《連絡先画面》

- ① 三
タップするとアプリの設定、グループの編集、連絡先の管理などの操作ができます。
- ② マイプロフィール(▶P.51「マイプロフィールを編集する」)
- ③ 最近追加した連絡先
- ④ お気に入りの連絡先
- ⑤ 連絡先一覧
連絡先をタップすると連絡先詳細画面が表示され、アイコンをタップして電話発信やメッセージ(SMS)送信などの操作ができます。
- ⑥ 新規登録
連絡先を新規登録します。
- ⑦ 検索
名前や電話番号などで、連絡先を検索できます。
- ⑧ メニュー
メニューを表示します。

2 [+]

連絡先の新規登録画面が表示されます。

- ・ GoogleアカウントやGalaxyアカウントなどを設定した場合、初めて新規登録を行うときに「連絡先の保存先」のポップアップ画面が表示されます。画面の指示に従って、保存先を選択してください。

3 名前を入力

名前入力欄の右側に表示されている「✓」をタップすると敬称などを入力できます。

4 必要に応じて、他の項目を入力・設定

電話番号やメールアドレスを入力したり、着信音などを設定できます。

5 [保存]

連絡先をお気に入りに追加する

1 連絡先画面→追加したい連絡先をタップ

連絡先詳細画面が表示されます。

2 「お気に入り」の「☆」(白色)をタップして「★」(黄色)にする

連絡先画面の「お気に入り」欄に追加されます。

マイプロフィールを編集する

1 連絡先画面→マイプロフィールをタップ

- ・ マイプロフィール未登録の場合、本製品の電話番号が表示されます。
- ・ 初期設定時にGalaxyアカウントなどを登録した場合、アカウントに登録している情報は自動的にマイプロフィールに反映されます。

2 [編集]→必要な項目を入力→[保存]

連絡先を確認／編集する

- 1 連絡先画面→確認／編集したい連絡先をタップ
連絡先詳細画面が表示されます。

■ 連絡先を編集する場合

連絡先詳細画面→[編集]と操作します。



- ◎ 連絡先画面で連絡先を左にスワイプするとメッセージ(SMS)を作成して送信、右にスワイプすると電話発信ができます。

グループ分けした連絡先を確認する

連絡先の登録時に設定したグループ別に、連絡先を管理・利用できます。

- 1 連絡先画面→[≡]→[グループ]
グループ一覧が表示されます。

- 2 確認したいグループをタップ→連絡先をタップ
連絡先詳細画面が表示されます。

■ グループを追加／編集する

- 1 連絡先画面→[≡]→[グループ]

- 2 [グループを作成]

- ・登録済みのグループを編集するには、連絡先画面→[≡]→[グループ]→編集したいグループをタップ→[✕]と操作します。

- 3 グループ名を入力

- 4 [グループ着信音]→画面の指示に従って着信音を選択

- 5 [メンバーを追加]→追加したい連絡先にチェックを入れる→[完了]

- 6 [保存]



- ◎ 連絡先画面→[≡]→[グループ]→削除したいグループをタップ→[:]→[グループを削除]→[グループのみを削除]／[グループを削除してメンバーをごみ箱に移動]と操作すると、グループを削除することができます。「グループのみを削除」を選択した場合、メンバーは連絡先から削除されません。

連絡先から電話をかける

- 1 連絡先画面→電話をかけたい連絡先をタップ
・連絡先を右にスワイプしても、電話をかけられます。

- 2 [☎]

連絡先のメニューを利用する

連絡先画面で「⋮」をタップするとメニュー項目が表示され、連絡先の削除、共有などの操作が行えます。

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先をシステムメモリ(本体)やmicroSDメモリカード、SIMカードへインポート／エクスポートできます。

- ・連絡先によっては、データの一部がインポート／エクスポートされない場合があります。

インポートする

システムメモリ(本体)やmicroSDメモリカード、SIMカードに保存されている連絡先をインポートします。

- 1 連絡先画面→[≡]→[連絡先を管理]

- 2 [連絡先をインポート]

- 3 [端末またはクラウドのストレージ]／[SIM 1]→連絡先を選択→[完了]

- ・「端末またはクラウドのストレージ」を選択した場合は「内部ストレージ」や「外部SDカード」などをタップして、連絡先がエクスポートされているフォルダを選んで、インポートしたい連絡先を選択してください。

- 4 [本体]→[インポート]

Googleアカウントなどを設定している場合は、アカウント名を選択できます。

- 5 [OK]

エクスポートする

連絡先をシステムメモリ(本体)やmicroSDメモリカード、SIMカードへエクスポートします。

- 1 連絡先画面→[≡]→[連絡先を管理]

- 2 [連絡先をエクスポート]

- 3 [内部ストレージ]／[外部SDカード]／[SIM 1]→[エクスポート]

- ・「内部ストレージ」と「外部SDカード」を選択した場合は、すべての連絡先がエクスポートされます。
- ・「SIM 1」を選択した場合は、エクスポートしたい連絡先にチェックを入れる→[完了]→[エクスポート]→[エクスポート]と操作します。

- 4 [OK]

メール

メールについて	54
SMS	54
SMSについて	54
SMSを送信する	54
SMSを受信／返信する	54
SMSを設定する	55
PCメール	55
PCメールのアカウントを設定する	55
PCメールを送信する	56
PCメールを受信する	56
PCメールを返信／転送する	56
PCメールを削除する	56
Gmail	56
Gmailを送信する	56
Gmailを受信する	56
Gmailのメニューを利用する	56

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■ SMS (ショートメッセージサービス)

電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。他社携帯電話との間でもメッセージの送信および受信をご利用いただけます(▶P.54)。

■ PCメール

「Outlook」アプリを利用して、普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます(▶P.55)。

■ Gmail

Googleが提供するメールサービスです。Gmailのアカウントだけでなく、PCメールのアカウントも設定できます(▶P.56)。

SMS

SMSについて

「メッセージ」アプリは電話番号でメッセージのやりとりができるアプリケーションです。

J:COM MOBILEの電話番号宛だけでなく、国内他事業者や海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 ホーム画面で[]

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 []

SMS作成画面が表示されます。

- ・ 同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしてもSMSを作成できます。その場合は、操作4へ進みます。

3 [宛先]→相手先電話番号を入力

4 メッセージを入力

本文は、全角最大670 / 半角最大1,530文字まで入力できます。

5 []



◎ メッセージ作成中に「」をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」と表示され、SMSを送信せずに保存できます。

SMSを受信／返信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、ポップアップ通知され、メール受信音が鳴ります。

2 ホーム画面で[]

未読のSMSがあるスレッドには「」が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

■ 返信する場合

4 メッセージを入力

5 []

■ 転送する場合

4 転送するメッセージをロングタッチ→[]→[転送]

5 転送する相手先電話番号を選択→[]

SMSを設定する

1 ホーム画面で[📱]

2 [📧]→[メッセージの設定]

SMS設定メニューが表示されます。

3	チャット機能	チャット機能を有効にするかどうかなどを設定します。
	通知	本アプリの通知方法について設定します。
	バブル	メッセージなどをすばやく確認できるバブル機能を設定します。
	メッセージの送信音と着信音を鳴らす	メッセージ送信音と着信音を鳴らすかどうかを設定します。
	ピンチ操作で会話のテキストにズームする	スレッド内容表示画面でピンチアウト／ピンチインすると、画面のズームを調節できます。
	現在の国	現在の国を設定します。
	自動プレビュー	スレッド内容表示画面で、メッセージにURLなどがある場合、自動的にプレビュー表示するかどうかを設定します。
	スパム対策	スパム対策機能を有効にするかどうかを設定します。
	スワイプの動作	スレッドを左右にスワイプして、実行する動作を設定します。
	詳細設定	緊急速報メールなどを設定します。
	概要、利用規約、プライバシー	利用規約、プライバシーなどを確認します。

PCメール

「Outlook」アプリを利用して、普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります。

PCメールのアカウントを設定する

初めてPCメールを使用するときには、PCメールのアカウントを設定します。

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスパロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。
- 登録するメールアカウントによって操作が異なる場合があります。

1 ホーム画面で[Microsoft]→[Outlook]

2 [アカウントを追加してください]

- アカウントを新規登録する場合は「新規アカウントを作成」をタップしてください。

3 PCメールのメールアドレスを入力→[続行]

4 画面の指示に従って操作

別のPCメールアカウントを設定する

1 ホーム画面で[Microsoft]→[Outlook]

2 画面の左上の[📧]→[📧]→[アカウントの追加]

- 設定するEメールの種類によって、左上の📧が異なる場合があります。

3 画面の指示に従って操作

PCメールアカウントを削除する

1 ホーム画面で[Microsoft]→[Outlook]

2 画面の左上の[📧]→[⚙️]

- 設定するEメールの種類によって、左上の📧が異なる場合があります。

3 削除したいアカウントをタップ

4 [アカウントの削除]

5 [このデバイスから削除]／

[すべてのモバイルデバイスから削除]→[削除]

PCメールを送信する

- 1 ホーム画面で[Microsoft]→[Outlook]
- 2 []
メール作成画面が表示されます。
- 3 「宛先」欄に送信先のメールアドレスを入力
 - ・ Cc/Bccを追加する場合は、「」をタップして「CC」欄または「BCC」欄にアドレスを入力します。
- 4 「件名」欄に件名を入力
- 5 本文欄に本文を入力
- 6 必要に応じて、添付／挿入操作を行う
- 7 []

PCメールを受信する

- 1 ホーム画面で[Microsoft]→[Outlook]
- 2 メール一覧を下にスライド
- 3 メールをタップ
メール詳細画面が表示されます。

PCメールを返信／転送する

- 1 ホーム画面で[Microsoft]→[Outlook]
- 2 メールをタップ
- 3 []→[返信]／[転送]
「転送」をタップした場合は、「宛先」欄に送信先のメールアドレスを入力します。
- 4 本文を入力
- 5 []／[]

PCメールを削除する

- 1 ホーム画面で[Microsoft]→[Outlook]
- 2 削除したいメールをロングタッチ→削除したいメールにチェックを入れる
- 3 []



◎ ホーム画面で[Microsoft]→[Outlook]→削除したいメールをタップ→[]と操作しても、メールを削除できます。

Gmail

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などができます。

- ・ Gmailの利用にはメールアドレスの設定が必要です。メールアドレスの設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。

Gmailを送信する

- 1 ホーム画面で[Google]→[Gmail]
 - ・ 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 2 []
- 3 [To]→宛先を入力→[受信者を追加]
- 4 [件名]→件名を入力
- 5 [メールを作成]→本文を入力
- 6 []
[:]→[下書きを保存]と操作すると下書き保存されます。

Gmailを受信する

- 1 ホーム画面で[Google]→[Gmail]
 - ・ メール一覧を下にスライドすると、メール一覧を更新できます。
- 2 受信したメールをタップ

Gmailのメニューを利用する

Gmail画面で「」をタップするとメニュー項目が表示され、設定などの操作が行えます。

インターネット

インターネット接続	58
インターネットに接続する	58
ブラウザ(Chrome)	58
Webページを表示する	58
ブックマークを利用する	59
履歴を利用する	59
ブラウザを設定する	59

インターネット接続

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN (Wi-Fi®) 機能を使用してインターネットに接続できます。

- データ通信
- 無線LAN (Wi-Fi®) 機能(▶P.82「無線LAN (Wi-Fi®) 機能」)

データ通信ご利用上のご注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額サービスの加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

ブラウザ(Chrome)

Webページを表示する

1 ホーム画面で[🏠]

ブラウザ画面が表示されます。

- 初めて起動したときは利用規約などに同意する必要があります。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。



◎ ブラウザ画面では、スクロール／フリック操作で画面のスクロール、ロングタッチ操作でテキストのコピーなどができます。

Webページを移動する

1 ブラウザ画面→画面上部のアドレスバーをタップ

検索／URL入力欄が表示されます。

2 検索したいキーワードまたはURLを入力

検索候補の一覧が検索／URL入力欄の下に表示されます。

3 検索候補から目的の項目を選択／キーボードの[移動]

Google検索の検索結果が表示された場合は、目的の項目を選択します。

ブラウザ画面のメニューを利用する

1 ブラウザ画面→[⋮]

- Webページの共有やブラウザの設定などの操作が行えます。

タブを利用する

Webページを表示中に新しいタブを開くことができます。

■ 新しいタブを開く

1 ブラウザ画面→[📄]

2 [+]

■ タブを切り替える

1 ブラウザ画面→[📄]

2 表示するタブをタップ

■ タブを閉じる

1 ブラウザ画面→[📄]

2 閉じるタブの[✕]

Webページ内の画像をダウンロードする

- 1 ブラウザ画面→ダウンロードする画像／画像を含むリンクをロングタッチ
- 2 [画像をダウンロード]



◎ ダウンロードした画像は、ギャラリーアプリなどから確認できます。

リンクを操作する

- 1 リンクを操作するWebページを開く
- 2 リンクをタップ

■ リンクのメニューを利用する

テキストのリンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、リンクのダウンロード、リンクテキストのコピーなどの操作が行えます。

画像を含むリンクをロングタッチすると、画像のダウンロードやコピーなどの操作が行えます。

- ・ リンクのない画像をロングタッチしても、画像のダウンロードやコピーなどの操作ができます。



◎ リンクやWebページによっては、ロングタッチしてもメニューが表示されない場合や、選択した操作を実行できない場合があります。

ブックマークを利用する

ブックマークの確認や追加などができます。

ブックマークを確認する

- 1 ブラウザ画面→[:]→[ブックマーク]
ブックマーク画面が表示されます。
- 2 開くブックマークをタップ

ブックマークを追加する

- 1 ブラウザ画面→ブックマークを追加するページを表示→[:]
2 「☆」(白色)をタップして「★」(青色)にする

履歴を利用する

履歴の確認や消去などができます。

履歴を確認する

- 1 ブラウザ画面→[:]→[履歴]
履歴画面が表示されます。
- 2 確認する履歴をタップ

履歴を消去する

- 1 ブラウザ画面→[:]→[履歴]
履歴画面が表示されます。
- 2 [閲覧履歴データを削除...]
- 3 画面の指示に従って操作

ブラウザを設定する

トップページや検索エンジン、プライバシーの設定などを行うことができます。

- 1 ブラウザ画面→[:]→[設定]
ブラウザ設定画面が表示されます。
- 2 必要な項目を設定

アプリケーション

アプリケーション一覧62

カメラ63

- カメラをご利用になる前に 63
- 静止画／動画を撮影する 63
- ファインで撮影する 65
- ポートレートで撮影する 65
- ARゾーンを使用する 66
- インテリジェント機能を利用する 66

ギャラリー66

- ギャラリーを利用する 66

カレンダー67

- カレンダーを表示する 67
- カレンダーのメニューを利用する 67
- イベントやタスクを作成する 67
- イベントやタスクの通知を解除またはスヌーズを設定する 67
- カレンダーの設定を変更する 67

Galaxy Notes68

- Galaxy Notesを作成する 68
- Galaxy Notesを編集する 68
- 作成したノートを確認する 68
- Galaxy Notesのメニューを利用する 68

Galaxy Store69

ボイスレコーダー69

- 音声を録音する 69
- 音声を再生する 69
- ボイスレコーダーのメニューを利用する 69

NFC／おサイフケータイ®70

- おサイフケータイ®とは 70
- おサイフケータイ®を設定する 71
- NFC機能を設定する 71
- 「画面ロック中はロック」を設定する 71
- FeliCa®に対応したサービスを利用する 71
- 非接触型決済 71

時計72

- アラームを利用する 72
- 世界時計を利用する 72
- ストップウォッチを利用する 72
- タイマーを利用する 72

Androidアプリ73

- Google Playを利用する 73
- アプリケーションを管理する 73

アプリケーション一覧

アプリケーション	概要	ページ
ボイスレコーダー ^{※1}	音声を録音できます。	P.69
マイファイル	静止画や動画、音楽などのデータを表示・管理できます。	P.79
S Health ^{※1}	消費カロリーの記録などを行い、健康管理をサポートします。	—
Galaxy Wearable ^{※1}	本製品に接続されたGalaxyの周辺機器を管理します。	—
ARゾーン	さまざまなARアプリを使用できます。	—
ラジオ	今いるエリアで放送しているラジオ番組を本製品で聴くことのできるサービスです。	—
辞書	辞書を利用して単語を調べることができます。	—
おサイフケータイ	本製品をリーダー／ライターにかざすだけで、電子マネーでのショッピングやクーポン情報の取得などができます。	P.70
Google	本製品やWebページの情報を検索できます。	P.37
Chrome	インターネットに接続します。	P.58
Gmail	Gmailを利用します。	P.56
マップ	現在地の確認／他の場所の検索／経路の検索などが行えます。	—
YouTube	YouTubeで動画を再生します。	—
ドライブ ^{※1}	画像や動画などをGoogleドライブに保存したり、共有したりすることができます。	—
Google TV ^{※1}	Google Playの映画やテレビ番組をレンタルしたり、本製品に保存した動画を再生したりできます。	—
Meet	チームで安全にビデオ会議を行います。	—
フォト ^{※1}	写真や動画を閲覧できます。Googleフォトにログインして、バックアップすることもできます。	—
Office ^{※1※2}	Android向けのMicrosoft Officeアプリです。	—
OneDrive	ファイルや写真をOneDriveに保存すれば、スマートフォン、タブレット、PCからアクセスして共有できます。	—
LinkedIn ^{※1※2}	プロフィールを設定し、世界に向けてお客さまのキャリアをアピールできます。また、各種機能でお客さまのビジネスを支援します。	—
Outlook ^{※1}	Android向けのMicrosoftのメールアプリです。	P.55
Galaxy Members ^{※1}	Galaxy Membersを起動します。	—
Galaxy Store	役に立つアプリケーションのダウンロードや、インストールしたアプリケーションのアップデートができます。	P.69
Playストア	Google Playからアプリケーションをダウンロード／購入します。	P.73
Facebook ^{※2}	友達や家族などの親しい人々や、同じ興味・関心を持つ人々とのコミュニティとつながることができる無料の『実名制』コミュニケーションアプリです。	—
Spotify ^{※1}	最新の音楽、プレイリスト、ポッドキャストを、ジャンルを問わず世界中から集めて、無料でアクセスできるオーディオストリーミングサービスです。	—
Netflix ^{※1}	世界最大級の動画配信サービス。各種受賞作を含む幅広いジャンルの作品や、Netflixでしか観られないオリジナル作品が完全見放題！	—
電話	電話の発信／着信、通話履歴などを表示します。	P.46

アプリケーション	概要	ページ
メッセージ	電話番号でメッセージのやりとりができるアプリケーションです。	P.54
カメラ	静止画や動画を撮影します。	P.63
ギャラリー	静止画や動画を閲覧します。	P.66
時計	アラームの設定や時計などを表示します。	P.72
ブラウザ ^{※1}	インターネットに接続します。	—
連絡先	連絡先を管理します。	P.51
設定	本製品の各種設定を行います。	P.88
YT Music ^{※1}	YouTubeで音楽を探して再生できます。	—
カレンダー	スケジュールを管理できます。	P.67
電卓 ^{※1}	基本的な計算ができます。	—
Galaxy Notes ^{※1}	テキスト入力や手書きのメモを作成できます。	P.68
Game Launcher	すべてのゲームを自動的にまとめて管理することや、ゲームプレイ中に便利な追加機能を使用することができます。	—
Galaxy Global Goals ^{※1}	このアプリを使用することで、国連のグローバルゴールについてさらに理解することや、寄付するお金を稼ぎ、あなたが気にしている特定のゴールを支援するために寄付することができます。	—
Galaxy Free	最新のニュースなどを確認できます。	—
Smart Switch	Smart Switchを利用して、古い端末から画像、連絡先、メッセージなどのデータを転送できます。	—

※1 「本製品を初期化する」(▶P.98)を行うとアンインストールされます。一部のアプリはショートカットアイコンが残り、使用時には再インストールが必要です。

※2 簡単にダウンロード／アップデート(更新)できるショートカットアプリです。利用するにはダウンロード／インストールが必要です。

memo

- ◎ アプリ一覧画面には、いくつかのフォルダ内にまとめられているアプリケーションもありますが、表ではフォルダを示していません。
- ◎ ショートカットアプリを利用してインストール、アプリのアップデートまたはアプリの起動などを行うと、アプリ名称やアイコンが変更されたり、表示位置が移動する場合があります。
- ◎ ご利用のSIMカードによって、表示されるアプリケーションが異なる場合があります。
- ◎ 表に記載のアプリケーション以外にも、機種変更前にご利用・ご契約いただいたアプリケーションがアプリ一覧画面に表示される場合があります。

カメラ

本製品のリアカメラは広角レンズで構成されています。

カメラをご利用になる前に

- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。
撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがつかないようにご注意ください。
- 手振れにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本製品が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
特に室内など光量が十分でない場所では、手振れが起きやすくなりますのでご注意ください。
また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 動画を録画する場合は、送話口／マイク（上部、下部）を指などで覆わないようにご注意ください。
また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、送話口／マイク（上部、下部）の音声の品質が悪くなる場合があります。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はカメラを起動しなおしてください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - 無地の壁などコントラストが低い被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 動きが速い被写体
- 本製品は強い光が出ますので、フラッシュを目に近づけて点灯させないでください。フラッシュ点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障害を起こす原因となります。
- 本製品の温度が高くなると、フラッシュがオフになる場合があります。本製品の温度が下がった後、フラッシュをオンにできます。
- マナーモード設定中でも静止画撮影時のシャッター音、動画録画の開始音や終了音は鳴ります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- 本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、私的使用目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客さまが本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などによって罰せられることがあります。

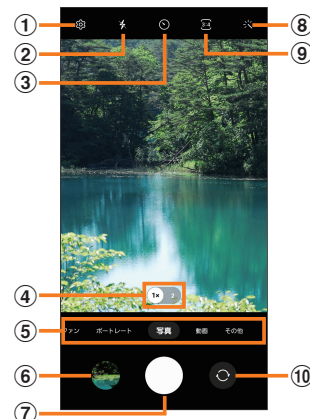
静止画／動画を撮影する

撮影画面の見かた

ここでは、本製品を縦表示にした状態で画面で説明しています。

1 ホーム画面で[>]

操作アイコンは初期状態です。



① カメラ設定 (▶P.64)

② フラッシュ設定

③ タイマー設定

④ カメラズームの切り替え

⑤ カメラモードの切り替え (▶P.64)

⑥ プレビュー縮小表示

直前に撮影した静止画／動画のプレビューが縮小表示され、タップするとプレビュー画面 (▶P.65) を表示できます。

⑦ シャッターボタン

⑧ カメラエフェクト設定

⑨ 縦横比設定

⑩ フロントカメラ／リアカメラの切り替え

撮影画面で上または下にフリックしても切り替えられます。

memo

- ◎ カメラを起動して約2分間何も操作をしないと、カメラは自動的に終了します。
- ◎  (サイドキー)／指紋センサーを2回押してもカメラを起動できません (▶P.39)。

撮影前の設定をする

カメラの設定メニューから、撮影の各種設定ができます。

1 静止画／動画撮影画面を表示

2 [📷] (カメラ設定)

3 各項目を設定

シーン別に最適化	▶P.66「シーン別に最適化を設定する」
QRコードをスキャン	静止画撮影画面で、QRコードをスキャンするかどうかを設定します。
シャッターボタンをスワイプ	シャッターボタンを近い方の画面端側にドラッグしたときの動作について、写真を連続撮影するかGIFを作成するかを選択できます。
透かし	撮影した静止画に透かし(すかし)を追加するかどうかを設定します。また、透かしの表示内容や表示位置なども設定できます。
HEIF画像	HEIF形式で写真を撮影することで容量を節約します。一部のアプリやサイトは、この形式に対応していない場合があります。
プレビュー通りに自分撮りを保存	自分撮りの画像などを左右反転せずプレビューに表示されたとおりに保存します。
ファイルサイズを縮小	動画の品質を損なうことなく容量を節約できます。そのため、HEVC形式で保存されます。
動画手振れ補正	動画撮影時の手振れ補正機能のオン／オフを設定します。
自動HDR	自動HDR機能をオンにするかどうかを設定します。オンにすると明るい部分と暗い部分の差を検出し、より鮮やかな写真が撮影できます。
グリッドライン	グリッドラインを表示するかどうかを設定します。
位置情報タグ	撮影した静止画／動画に位置情報を追加するかどうかを設定します。
撮影方法	音量キーで写真や動画を撮影、フローティングシャッターボタンを追加、手のひらを向けて自分撮り撮影などの機能のオン／オフを設定します。
設定を保持	カメラを前回使用時と同じカメラモードで起動するかどうかなどを設定します。
保存先	撮影した静止画／動画の保存先を設定します。 - microSDメモリカードを挿入している場合のみ表示されます。 - 設定した保存先に関わらず、連写した写真やGIF動画などは内部ストレージに保存されます。
Snapchatレンズをファンモードで表示	Snapchatレンズを「ファン」モード(▶P.65)で表示するかどうかを設定します。
プライバシーに関する注意	プライバシーに関する注意事項を確認できます。
権限	アプリに関する権限を確認できます。
設定をリセット	設定をリセットします。
カメラについて	カメラアプリのバージョン情報などを表示します。
お問い合わせ	Galaxy Membersに移動します。 Galaxy Membersアプリをインストールすると、「お問い合わせ」は表示されなくなります。

4 設定が終了したら[<]



◎ メニュー項目によっては、同時に設定できない場合があります。

カメラモードを変更する

1 ホーム画面で[📷]

2 画面下部のカメラモードを選択

3	ファン	▶P.65「ファンで撮影する」
	ポートレート	▶P.65「ポートレートで撮影する」
	写真	自動的に最適に調整された露出値および色の設定で写真を撮影します。
	動画	自動的に最適に調整された露出値および色の設定で動画を撮影します。
	その他	ARゾーン ▶P.66「ARゾーンを使用する」
	プロ	ISO感度の値などを手動で設定し、写真を撮影します。
	ナイト	夜景を明るく撮影します。
	食事	食べ物の色を鮮明に際立たせます。
	パノラマ	垂直方向または水平方向のパノラマを作成することで、より多くの被写体を1枚の写真におさめることができます。
	ハイパーラプス	動画の時間を実際の時間より速めるタイムラプス動画を撮影します。



◎ 静止画／動画撮影画面を表示→[その他]→[+]と操作すると、カメラモードの表示順番を変更できます。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で[📷]

2 [写真]

3 被写体にカメラを向ける

- 画面をピンチアウト／ピンチインすると、ズーム調節ができます。ただし、カメラモードの設定によっては、ズーム調整ができない場合があります。

4 [📷]

シャッター音が鳴って撮影され、撮影した静止画が自動的に保存されます。



- ◎ 撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。
- ◎ カメラモードが「写真」の場合、カメラの設定メニュー→[撮影方法]→[音量キーでの操作]で「写真や動画を撮影」に設定した場合、音量キーを押しても静止画を撮影できます。

動画を撮影する

1 ホーム画面で[📷]

2 [動画]

3 被写体にカメラを向ける→[📷]

開始音が鳴り、動画撮影が開始されます。

- ・「📷」をタップすると、動画撮影中に静止画も撮影できます。
- ・画面をピンチアウト／ピンチインすると、ズーム調節ができます。

4 撮影を終了するときは[■]

終了音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

memo

- ◎動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。
- ◎設定した動画撮影サイズなどにより、録画時間が制限されることがあります。
- ◎カメラモードが「動画」の場合、カメラの設定メニュー→[撮影方法]→[音量キーでの操作]で「写真や動画を撮影」に設定した場合、音量キーを押しても動画を撮影開始／終了できません。
- ◎静止画撮影画面で「📷」をロングタッチ→「📷」までドラッグして指を離しても動画撮影ができます。

■録画を一時停止する場合

動画を録画中、「⏸」をタップすると、録画を一時停止できます。「▶」をタップすると再開できます。

プレビュー画面を利用する

プレビュー画面を表示して、撮影した静止画／動画を確認できます。また、メールで送信したり、静止画を壁紙に設定したりできます。

1 静止画／動画撮影画面→プレビュー縮小表示をタップ

プレビュー画面が表示され、画面下部にはメニュー項目が表示されます。

- ・左右にスライドすると他の静止画／動画を確認できます。

2 画面下部のメニュー項目を選択

memo

- ◎メニュー項目が表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。
- ◎メニュー項目はデータの種類により異なります。
- ◎アプリ一覧画面で[ギャラリー]→[アルバム]→[カメラ]と操作すると、撮影した静止画／動画の一覧が表示されます。
- ◎静止画の表示画面で「⋮」をタップするとメニューが表示され、静止画の印刷、壁紙に設定などができます。

ファンで撮影する

全体的な色合いを変えるなどのフィルターをかけて撮影できます。顔を認識したフィルターも選択できます。

1 ホーム画面で[📷]

2 [ファン]

3 シャッターボタンの位置で、好みのフィルターを選択し、撮影する

ポートレートで撮影する

ポートレート機能では、人物の背景を調整して撮影できます。

1 ホーム画面で[📷]

2 [ポートレート]

3 調整バーで「エフェクトの強度」を調節

4 「準備完了」が表示されたら、[📷]

memo

- ◎十分な光がある場所で撮影してください。
- ◎撮影した画像はギャラリーアプリで「バックグラウンドエフェクトを変更」をタップすると、撮影後にエフェクトを調整することができます。
- ◎以下の場合は背景の効果が適用されない場合があります。
 - ・本製品や被写体が動いている場合
 - ・被写体の色が薄いまたは透明である場合
 - ・被写体が背景と同じ色である場合
 - ・被写体と背景の色合いにコントラストが低い場合

ARゾーンを使用する

AR絵文字スタジオを利用する

- 1 ホーム画面で[📷]
- 2 [その他]→[ARゾーン]→[AR絵文字スタジオ]
- 3 画面の指示に従って操作

AR絵文字スタンプを利用する

- 1 ホーム画面で[📷]
- 2 [その他]→[ARゾーン]→[AR絵文字スタンプ]
- 3 画面の指示に従って操作

AR手描きを利用する

認識させた人物に追従させながら、手描きで描くことができ、その様子を動画でも撮影できます。

- 1 ホーム画面で[📷]
- 2 [その他]→[ARゾーン]→[AR手描き]
 - ・「👤」をタップすると、描画のペンの種類などを選択できます。
 - ・「📌」をタップすると、スタンプを追加できます。
 - ・「📄」をタップすると、テキストを追加できます。
- 3 [📷]
- 4 手描きで描画
- 5 撮影を終了するときは[■]
 - ・手描きで描画した動画が保存されます。



◎ リアカメラで利用するには、別途AR用のアプリのインストールが必要です。

デコピクを利用する

- 1 ホーム画面で[📷]
- 2 [その他]→[ARゾーン]→[デコピク]
- 3 画面の指示に従って操作

インテリジェント機能を利用する

シーン別に最適化を設定する

カメラが自動的に撮影対象を検出し、写真の色や明るさの設定などを自動的に調整し最適な写真を撮影できます。

- 1 ホーム画面で[📷]
- 2 [📷] (カメラ設定)
- 3 「シーン別に最適化」の「🔘」をタップして「🔘」にする



◎ 本機能はカメラモードが「写真」の場合のみ有効です。

ギャラリー

本体やmicroSDメモリカードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。

ギャラリーを利用する

- 1 アプリ一覧画面で[ギャラリー]
撮影日別に並んだ画像一覧画面、アルバム一覧画面またはストーリー一覧画面が表示されます。アルバム一覧画面が表示された場合はアルバムをタップしてデータ一覧画面を表示します。



◎ ギャラリーアプリ起動時は、前回終了時に表示していた種類の一覧画面が表示されます。

静止画／動画を表示する

- 1 データ一覧画面→表示したい静止画／動画をタップ
静止画／動画が表示されます。静止画／動画を切り替えるには画面を左右にスライド／フリックします。
 - ・画面をタップすると操作アイコンなどが表示され、データの共有、編集や削除などの操作ができます。
 - ・動画の場合は、自動的に再生されます。

動画を編集する

- 1 データ一覧画面→編集する動画をタップ
- 2 [✂]
- 3 画面の指示に従って操作

ギャラリーのメニューを利用する

アルバム一覧画面／ストーリー一覧画面／アルバム内のデータ一覧画面で「⋮」をタップすると、アルバムの共有やストーリー作成などの操作が行えます。

また、静止画の表示画面で「⋮」をタップすると、静止画の詳細確認や印刷などの操作が行えます。

- ・利用できる機能はアルバム／ストーリー／データの種類や画面によって異なります。



◎ 静止画の印刷は、本製品に対応するプリンターでのみ印刷できます。

カレンダー

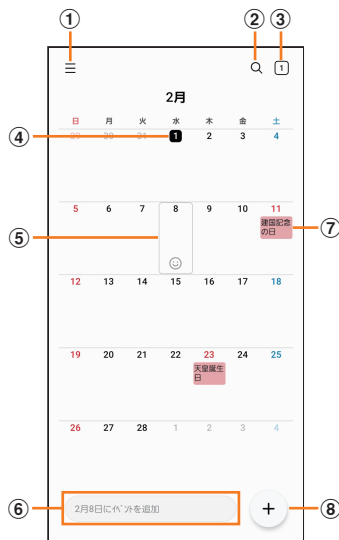
本製品にはイベントやタスクを管理するカレンダーが搭載されています。Googleアカウントを持っている場合は、Googleカレンダーと同期することができます。「Googleアカウントの設定をする」(▶P.29)をご参照ください。

カレンダーを表示する

1 アプリ一覧画面で[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

カレンダーの内容について



《カレンダー画面(月表示の場合)》

- ① **メニュー**
- ② **検索**
イベントやタスクを検索します。
- ③ **今日の日付**
他の月や週などが表示されているときにタップすると、今日の日付が選択されます。
- ④ **今日の表示**
- ⑤ **カーソル(灰色)**
「☺」をタップすると、選択している日にスタンプを設定できます。
- ⑥ **新規作成(入力欄)**
選択した日に新規イベント／タスクのタイトルを直接入力できます。
- ⑦ **イベント／タスク／祝日表示**
イベント／タスクがある日付や祝日の日付をタップするとポップアップが表示され、タップすると詳細を確認できます。
- ⑧ **新規作成(詳細設定)**
イベント／タスクを新規に作成します(▶P.67)。

カレンダーのメニューを利用する

カレンダー画面で「≡」をタップするとメニュー項目が表示され、カレンダーの設定などの操作が行えます。

イベントやタスクを作成する

- 1 カレンダー画面→[+]
- 2 各項目を設定
- 3 [保存]

イベントやタスクの通知を解除またはスヌーズを設定する

イベントやタスク作成時に通知を設定した場合、設定時刻になると通知画面の表示と、通知音の鳴動でお知らせします。

1 アラーム画面の場合は「」を表示される円の外までドラッグ／スライド

- ・ [＋]／[－]でスヌーズの間隔を設定→[スヌーズ:XX分]と操作するとスヌーズを設定できます(スヌーズとは、いったん通知を消しても、一定時間が経過すると、再度通知する機能です)。
- ・ 通知ポップアップが表示された場合は、ステータスバーを下にスライド→イベント／タスクのタイトルの[]→[解除]／[スヌーズ]と操作してください。

カレンダーの設定を変更する

カレンダーの表示設定や通知設定などの詳細を設定できます。

- 1 カレンダー画面→[≡]→[]
- 2 変更したい項目を選択→設定を変更



- ◎ アプリ一覧画面で[設定]→[アプリ]→[カレンダー]→[カレンダー設定]と操作してもカレンダーを設定できます。

Galaxy Notes

キーボードを使ってノートを作成したり、絵を描いたりできます。また、写真などを貼り付けたり、録音したデータをノートに保存したりすることもできます。

Galaxy Notesを作成する

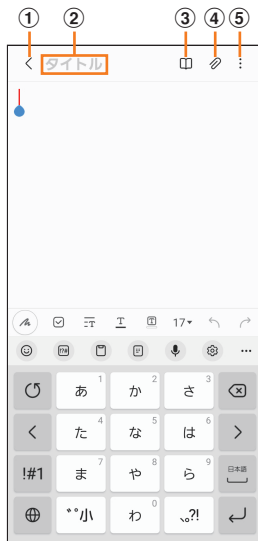
1 アプリ一覧画面で[Galaxy Notes]

Galaxy Notes一覧画面が表示されます。

2 [📝]

ノート編集画面が表示されます。

- 初めてノートを作成する場合、ページスタイルの選択やページ設定を行います。画面の指示に従って操作してください。



《ノート編集画面》

① 保存／戻る

- 現在のノートを保存し、ノート表示画面に切り替えます。
- ノート表示画面をタップすると、再度編集ができます。

② タイトル

ノートのタイトルを入力できます。

③ 閲覧モード

編集中の記載内容を確認する閲覧モードのオン／オフを切り替えます。

④ 挿入

画像データや音声データなどを追加します。

⑤ メニュー

ノートの共有やお気に入りへの追加などができます。

3 ノートを作成

4 [<]

作成したノートが保存され、ノート表示画面に切り替わります。

メモを書きながら音声を録音する

1 Galaxy Notes一覧画面→[📝]

2 [🔊]

3 [音声録音ファイル]

録音が始まります。

4 [■]

録音が終了します。

- [<]→[▶]と操作すると、録音ファイルが再生されます。

Galaxy Notesを編集する

1 Galaxy Notes一覧画面→編集したいノートをタップ→[🔍]

ノート編集画面が表示されます。

- ノート表示画面で画面をタップしても、ノート編集画面を表示できます。

2 ノートを編集

3 [<]

編集したノートが保存され、ノート表示画面に切り替わります。

作成したノートを確認する

1 Galaxy Notes一覧画面→確認するノートをタップ

Galaxy Notesのメニューを利用する

Galaxy Notes一覧画面／ノート編集画面で「⋮」をタップするとメニュー項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

Galaxy Store

Galaxy Storeを利用して、おすすめの豊富なアプリケーションを簡単にダウンロードできます。
一部の機能を利用するにはGalaxyアカウントを設定する必要があります(▶P.30)。

1 ホーム画面で[Galaxy Store]

- ・初めて起動したときは利用規約などに同意する必要があります。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 利用したいアプリケーションを検索してダウンロード



◎ Galaxy Storeは、国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳しくはGalaxy Storeサイト内のサポートページをご参照ください。

ボイスレコーダー

音声を録音する

1 アプリ一覧画面で[Galaxy]→[ボイスレコーダー] ボイスレコーダー画面が表示されます。

- ・「リスト」※をタップすると、録音ファイル一覧画面に切り替えられます。「<」をタップするとボイスレコーダー画面に戻ります。

※ 録音ファイルがある場合のみ表示されます。

2 [●]

録音を開始されます。

録音を一時停止／再開するには「⏏」／「●」をタップ、録音をキャンセルするには[<]→[破棄]と操作します。

また、録音中の音声にブックマークを追加するには「ブックマーク」をタップします。

- ・ボイスレコーダー画面で[⋮]→[設定]→「録音中は着信をブロック」をオンにすると、録音中はすべての着信をブロックします。

3 [■]→ファイル名を入力→[保存]

録音した音声保存され、録音ファイル一覧画面が表示されます。

音声を再生する

1 録音ファイル一覧画面→再生したいファイルを タップ

- ・再生を一時停止するには「⏏」をタップします。
- ・「無音部分をスキップ」をタップすると、録音した音声の無音の部分を飛ばします。
- ・繰り返す開始位置と終了位置でそれぞれ「繰り返し」をタップすると、その間の録音を繰り返します。
- ・「速度」をタップして、表示されたスライドバーをドラッグすると、再生速度を設定できます。
- ・「◀」／「▶」をタップすると、再生位置を変更できます。

ボイスレコーダーのメニューを利用する

録音ファイル一覧画面で「⋮」をタップするとメニュー項目が表示され、録音ファイルの共有などの操作が行えます。

おサイフケータイ®とは

おサイフケータイ®とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCa®機能やリーダー／ライター（R/W）機能などが本製品でご利用いただけます。

おサイフケータイ®を利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービス提供会社のおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。

おサイフケータイ®対応サービスのご利用にあたっては、本製品に搭載されたFeliCaチップへ、サービスのご利用に必要なデータを書き込む場合があります。

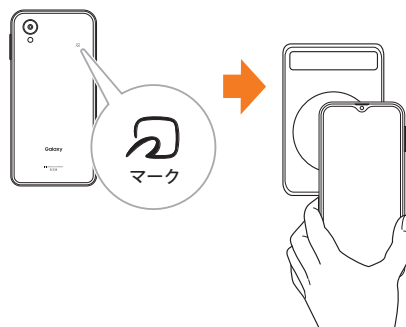
なお、ご利用にあたっては、J:COM Webサイトをあわせてご参照ください。

おサイフケータイ®のご利用にあたって

- ・本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- ・紛失・盗難などに備え、画面ロック連動機能によるおサイフケータイ®のロックをおすすめします。
- ・紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客さまにて十分ご留意の上管理をお願いいたします。
- ・ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。「NFC／おサイフケータイ 設定」をオフに設定している場合は、「NFC／おサイフケータイ 設定」をオンにした上で電源をお切りください。
- ・おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- ・当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- ・おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- ・各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- ・電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけないことがあります。
- ・おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。

リーダー／ライターとデータをやりとりする

☞マークをリーダー／ライターにかざすだけでFeliCaチップ内のデータをやりとりできます。



- ・☞マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- ・☞マークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- ・☞マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- ・☞マークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、☞マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- ・☞マークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

memo

- ◎ おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
- ◎ 本製品の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし電池残量がない場合はご利用できません。その場合は充電後に一度本製品の電源を入れることでご利用になれます。
- ◎ 「画面ロック中はロック」を設定している場合、画面ロック中は本機能をご利用いただけません。

おサイフケータイ®を設定する

画面ロック連動機能のオン/オフなどを設定します。

1 アプリ一覧画面で[設定]

2 [接続]→[NFC／おサイフケータイ 設定]

NFC／おサイフケータイ 設定画面が表示されます。

3	(NFC／おサイフケータイ)	▶P.71 「NFC機能を設定する」
	画面ロック中はロック	▶P.71 「画面ロック中はロック」を設定する」
	非接触型決済	▶P.71 「非接触型決済」

NFC機能を設定する

NFC機能を有効にする

1 アプリ一覧画面で[設定]

2 [接続]→[NFC／おサイフケータイ 設定]

NFC／おサイフケータイ 設定画面が表示されます。

3 「」をタップして「」にする

NFC機能が有効になります。NFC機能を有効にすると、おサイフケータイ®対応サービスの全てが利用できます。



- ◎ 「おサイフケータイ」アプリの「」からもNFC／おサイフケータイ 設定画面を表示することができます。
- ◎ NFC機能無効中に電池が切れると、NFC機能を有効にできなくなります。電池残量にご注意ください。充電が切れた場合は、充電後にNFC機能を有効にしてください。

NFC機能を無効にする

1 アプリ一覧画面で[設定]

2 [接続]→[NFC／おサイフケータイ 設定]

NFC／おサイフケータイ 設定画面が表示されます。

3 「」をタップして「」にする

NFC機能を無効にすると、おサイフケータイ®対応サービスの利用を制限できます。これにより、おサイフケータイ®対応サービスの機能がロックされます。

「画面ロック中はロック」を設定する

「NFC／おサイフケータイ 設定」がオンの場合に「画面ロック中はロック」をオンにすると、画面ロック時および画面消灯時にNFC機能が自動的にオフになります。画面ロック解除時に「NFC／おサイフケータイ 設定」は自動的にオンに戻ります。

1 アプリ一覧画面で[設定]

2 [接続]→[NFC／おサイフケータイ 設定]

NFC／おサイフケータイ 設定画面が表示されます。

3 「画面ロック中はロック」の「」をタップして「」にする

FeliCa®に対応したサービスを利用する

おサイフケータイアプリから対応サービスを利用できます。

1 アプリ一覧画面で[Galaxy]→[おサイフケータイ] サービス一覧画面が表示されます。

- ・ 初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 利用したいサービスを選択

サービスに対応したアプリをダウンロードしてから、またはサービス紹介サイトから、画面の指示に従って操作してください。

非接触型決済

おサイフケータイ®対応サービスでの決済カードの選択ができます。

1 アプリ一覧画面で[設定]

2 [接続]→[NFC／おサイフケータイ 設定]

3 [非接触型決済]

4 利用したいサービスを選択

利用したい決済カードを選択してください。



- ◎ おサイフケータイ®対応サービスアプリを新規にインストールしたり更新した場合は、以前使用していた決済カードが正常に動作しないことがあります。その場合、「非接触型決済」で決済カードの選択状態をご確認ください。

時計

アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。

1 アプリ一覧画面で[時計]

時計画面が表示されます。

2 各機能に切り替える

画面下部のタブをタップすると各機能に切り替えられます。

アラームを利用する

1 時計画面→「アラーム」タブ

アラーム一覧画面が表示されます。

2 [+]

・設定済みのアラームをタップすると編集できます。

3 各項目を設定・入力

・「スヌーズ」をオンにすると、設定した時間の経過後にアラーム画面の表示とアラーム鳴動で再通知されます(スヌーズとは、いったんアラームを停止しても、しばらくするとアラームが鳴るようにする機能です)。

4 [保存]

作成したアラームが表示されます。

・「

memo

- ◎ アラームを削除するには、アラーム一覧画面→削除したいアラームをロングタッチ→[削除]と操作します。
- ◎ マナーモード設定中は、アラームが鳴りません。マナーモード設定中にアラームを鳴らすには、時計画面で[

アラームを止める

設定した時刻になるとアラーム画面や「時計」ウィンドウが表示され、設定した種類・音量でアラームが鳴ります。画面消灯時または画面ロック中にはアラーム画面が表示され、その他の操作中には「時計」ウィンドウが画面上部にポップアップ表示されます。

1 アラーム画面の場合は「

- ・「時計」ウィンドウが表示された場合は、「解除」をタップしてください。
- ・スヌーズをオンにしたアラームの場合は、[+] / [-] でスヌーズの間隔を設定→[スヌーズ:XX分]と操作するとスヌーズを設定できます。

memo

- ◎ アラーム画面の場合、アラーム鳴動中に $\square$ (サイドキー) / 指紋センサー、音量キーを押す、または「時計」ウィンドウが表示された場合、「時計」ウィンドウを左右いずれかにフリックするとアラームを停止できます。スヌーズを設定したアラームの場合は、スヌーズが設定されます。

世界時計を利用する

登録した都市／国の日付と時刻を一覧で確認できます。

1 時計画面→「世界時計」タブ

世界時計画面が表示されます。

2 [+]

3 追加したい都市をタップ→[追加]

- ・ $\square$ →都市をタップ→[追加]と操作すると、現在地を追加できます。
- ・ $\square$ →追加したい都市を入力→都市をタップ→[追加]と操作しても、都市を追加できます。

memo

- ◎ 追加した都市を削除するには、世界時計画面→削除したい都市をロングタッチ→[削除]と操作します。

ストップウォッチを利用する

1 時計画面→「ストップウォッチ」タブ

2 [開始]

測定が開始されます。

・ラップタイムを計測するには「ラップ」をタップします。

3 [停止]

測定を再開するには「再開」、測定をやり直すには「リセット」をタップします。

タイマーを利用する

1 時計画面→「タイマー」タブ

2 時間／分／秒をタップ→時間を設定

3 [開始]

タイマーが開始されます。カウントダウンが終了するとタイムアップ画面や「時計」ウィンドウなどが表示され、アラームが鳴ります。

- ・タイマーを停止するには「一時停止」、タイマーを終了するには「削除」をタップします。
- ・一時停止中に「再開」をタップするとタイマーを再開できます。

4 タイムアップ画面の場合は「

- ・「時計」ウィンドウが表示された場合は、「解除」をタップするか、または「時計」ウィンドウを左右いずれかにフリックしてください。
- ・タイムアップ画面または「時計」ウィンドウの「リスタート」をタップすると、同じ設定でもう一度カウントダウンを開始します。

memo

- ◎ タイムアップ画面でアラーム鳴動中に $\square$ (サイドキー) / 指紋センサー、音量キーを押すとアラームを停止できます。
- ◎ カウントダウン進行中に他のアプリを利用すると、ミニタイマーのポップアップ画面が表示されます。ミニタイマーのポップアップ画面を非表示にするには、時計画面で[$\square$] → [設定] → 「ミニタイマーを表示」の $\square$ をタップして $\square$ にしてください。

Androidアプリ

Google Playを利用する

Google Playを利用すると、便利なアプリケーションやゲームに直接アクセスでき、本製品にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリケーションや本製品と互換性がないアプリケーションを不適切なコンテンツとして報告したりすることができます。

- Google Playの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です(▶P.29)。
- ダウンロードするアプリケーションやゲームには無料のものと同様のものがあり、Google Playのアプリケーション一覧ではその区別が明示されています。

アプリケーションを検索し、インストールする

1 ホーム画面で[Playストア]

Google Play画面が表示されます。

2 アプリケーションを検索→インストールしたいアプリケーションをタップ

3 説明やレビューなどの情報を確認→画面の指示に従って購入／インストール

ダウンロード・インストールが開始されます。

- 有料アプリケーションを購入する場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。支払い方法の設定と支払いに使用するクレジットカード情報を登録してください。

■ 有料のアプリケーションを購入するときは

アプリケーションが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

■ Google Playヘルプ

Google Playについてヘルプが必要なときや質問がある場合は、検索欄の右端に表示されるアイコンをタップし、「ヘルプとフィードバック」をタップします。

アプリケーションを管理する

インストールされたアプリケーションを表示したり、設定を調整したりできます。多くのアプリケーションにインストールを補助するウィザードが付属しています。

提供元不明のアプリケーションのインストール

提供元不明のアプリケーションをインストールする前に、本製品の設定でインストールを許可する必要があります。インストールするアプリケーションは発行元が不明な場合もあります。お使いの端末と個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみインストールしてください。

1 アプリ一覧画面で[設定]→[セキュリティおよびプライバシー]

2 [不明なアプリをインストール]

3 インストールで利用するアプリの「」をタップして「」にする

インストールされたアプリケーションを削除する

インストールされたアプリケーションを削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。

- アプリケーションによっては削除できないものもあります。

1 アプリ一覧画面で[設定]→[アプリ]

2 削除するアプリケーションをタップ

3 [削除]→[OK]

memo

- ◎ Google Playからダウンロード、インストールしたアプリケーションはすべてアンインストールすることができます。
- ◎ アプリケーション内に保存されているデータを消去する場合は、アプリ一覧画面で[設定]→[アプリ]→データを消去するアプリケーションをタップ→[ストレージ]→[データを消去]→[削除]と操作します。
- ◎ アプリケーションのキャッシュを消去する場合は、アプリ一覧画面で[設定]→[アプリ]→キャッシュを消去するアプリケーションをタップ→[ストレージ]→[キャッシュを消去]と操作します。

ファイル管理

ファイル管理	76
本製品の保存領域について	76
microSDメモリカードを利用する	76
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す	76
USBケーブルでパソコンと接続する	78
メモリの使用量を確認する	78
MIDI対応機器と接続する	78
マイファイルを利用する	79
Smart Switchを利用する	79
Windowsと連携する	80
Galaxyアカウントを利用してサーバー上にバックアップする	80

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリとmicroSDメモリカードにデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリケーションや各アプリケーションが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。



◎ アプリケーションによってはmicroSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード (microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む) を本製品にセットすることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。また、連絡先などをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

- ・ microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ・ 本製品はmicroSDメモリカード／microSDHCメモリカード／microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSDメモリカード／microSDHCメモリカード／microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、J:COM Webサイトを参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

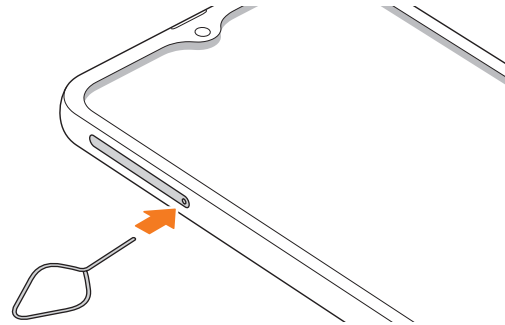
microSDメモリカードの取り付け／取り外しは、なるべく本製品の電源を切ってから行ってください。

- ・ 取り付け／取り外しの際に無理な力を加えないでください。

microSDメモリカードを取り付ける

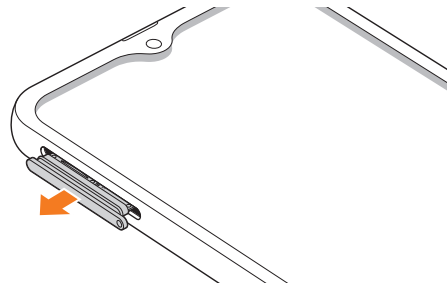
1 SIM取り出し用ピン(試供品)の先端をSIMカード／microSDメモリカードトレイのトレイエジェクトホールにまっすぐ差し込む

SIMカード／microSDメモリカードトレイが少し出ます。
・ まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。



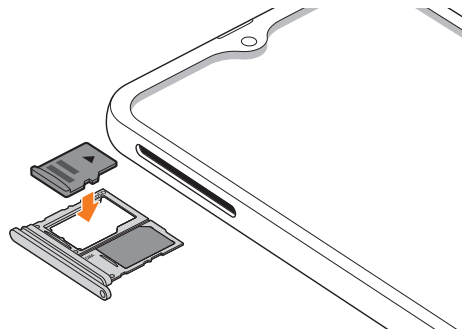
2 SIMカード／microSDメモリカードトレイをまっすぐ引き出す

- ・ SIMカード／microSDメモリカードトレイの表裏を逆にする、SIMカードが落下するおそれがあります。



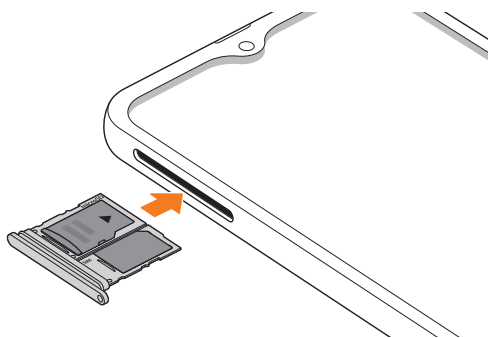
3 microSDメモリカードの端子(金属)部分を下にしてSIMカード／microSDメモリカードトレイにはめこむ

- ・ SIMカード／microSDメモリカードトレイにmicroSDメモリカードが正しくはめこまれていることを確認してください。正しくはめこまれていないと、トレイを差し込んだときにmicroSDメモリカードが本体との間に挟まれるおそれがあります。



4 図の向きでSIMカード／microSDメモリカード スロットの奥までSIMカード／microSDメモリ カードトレイをまっすぐ差し込む

- ・ SIMカード／microSDメモリカードトレイの表裏を逆にすると、SIMカードやmicroSDメモリカードが落下するおそれがあります。



memo

- ◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損したりするおそれがあります。

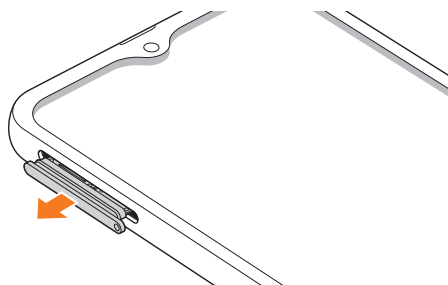
microSDメモリカードを取り外す

1 SIM取り出し用ピン(試供品)の先端をSIMカード ／microSDメモリカードトレイのトレイジェ クトホールにまっすぐ差し込む

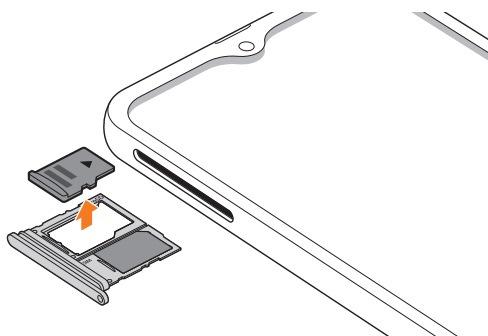
- SIMカード／microSDメモリカードトレイが少し出ます。
- ・ まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

2 SIMカード／microSDメモリカードトレイを まっすぐ引き出す

- ・ SIMカード／microSDメモリカードトレイの表裏を逆にすると、SIMカードやmicroSDメモリカードが落下するおそれがあります。

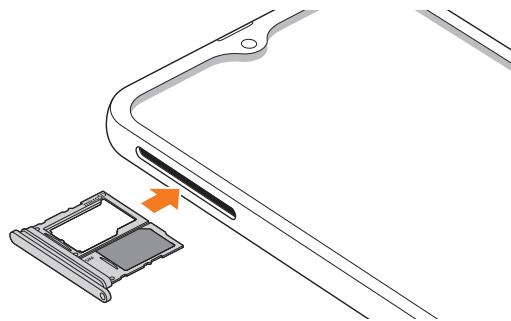


3 SIMカード／microSDメモリカードトレイから microSDメモリカードを取り外す



4 図の向きでSIMカード／microSDメモリカード スロットの奥までSIMカード／microSDメモリ カードトレイをまっすぐ差し込む

- ・ SIMカード／microSDメモリカードトレイの表裏を逆にすると、SIMカードが落下するおそれがあります。



memo

- ◎ マウント解除完了前に取り外すと、故障・内部データの消失の原因となります。
- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ◎ マウントを解除した後に再度microSDメモリカードを認識させる場合は、microSDメモリカードを挿入したまま、アプリ一覧画面で[設定]→[バッテリーとデバイスケア]→[ストレージ]→「内部ストレージ」欄を左にスワイプして「外部SDカード」欄を表示→「外部SDカード」欄の[マウント]と操作してください。
- ◎ microSDメモリカードにデータを保存中は、マウント解除操作できません。
- ◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
- ◎ microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

USBケーブルでパソコンと接続する

USB Type-Cケーブル(市販品)で本製品とパソコンを接続すると、メディアデバイス(MTP)モードまたはカメラ(PTP)モードでパソコンとデータのやりとりができます。

memo

- ◎ データ転送中にUSB Type-Cケーブル(市販品)を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。
- ◎ 著作権で保護されたデータはやりとりできない場合や、利用できない場合があります。

メディアデバイス(MTP)モードでパソコンと接続する

■ 本体メモリやmicroSDメモ리카ードのデータをパソコンで操作する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続してメディアデバイス(MTP)モードにすると、本製品で保存しているファイルをパソコンに転送できます。

- 1 パソコンから「Galaxy A23 5G」を開く
 - ・ 本体メモリを操作する場合は、「内部ストレージ」を開いてください。
- 2 パソコンを操作してデータを転送
- 3 転送終了後、USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品から取り外す
 - USB Type-Cケーブル(市販品)のType-Cプラグをまっすぐに引き抜いてください。

カメラデバイスとして使用する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続してカメラ(PTP)モードにすると、本製品で撮影した静止画や動画をパソコンに転送できます。

- ・ MTP非対応のパソコンなどにデータを転送する場合に使用します。
- 1 USB Type-Cケーブル(市販品)で本製品とパソコンを接続
 - 2 通知パネルを開く→[USBを画像転送に使用]→[USBを画像転送に使用]
 - 3 「画像を転送」が選択されていることを確認
 - 4 パソコンでデータのやりとりや、同期の操作を行う
 - 5 同期終了後、USB Type-Cケーブル(市販品)を取り外す
 - USB Type-Cケーブル(市販品)のType-Cプラグをまっすぐに引き抜いてください。

メモリの使用量を確認する

本体のメモリやmicroSDメモ리카ードの合計容量と空き容量などを確認できます。

- 1 アプリ一覧画面で[設定]
- 2 [バッテリーとデバイスカア]→[ストレージ]

microSDメモ리카ードをフォーマットする

microSDメモ리카ードをフォーマットすると、microSDメモ리카ードに保存されているデータがすべて消去されます。

- 1 アプリ一覧画面で[設定]
- 2 [バッテリーとデバイスカア]→[ストレージ]
- 3 「内部ストレージ」欄を左にスワイプして「外部SDカード」欄を表示
- 4 「外部SDカード」欄の[⋮]→[初期化]
- 5 [初期化]

MIDI対応機器と接続する

本製品とMIDI (Musical Instrument Digital Interface) 対応機器を接続ケーブルで接続すると、本製品をMIDIプレーヤーまたは、MIDI対応機器の入力ソースとして使用できます。

- 1 本製品とMIDI対応機器を接続ケーブルで接続
 - ・ 接続方法や対応する接続ケーブルについては、MIDI対応機器の取扱説明書をご確認ください。
- 2 通知パネルを開く→[USBをファイル転送に使用]→[USBをファイル転送に使用]
- 3 「MIDI」を選択する
- 4 接続した機器に応じて本製品または接続した機器を操作
- 5 終了後、接続ケーブルを取り外す
 - 接続ケーブルのプラグをまっすぐに引き抜いてください。

マイファイルを利用する

本体に保存されている静止画や動画、音楽や文書などのデータを表示・管理できます。

1 アプリ一覧画面で[Galaxy]→[マイファイル]

カテゴリ／ストレージ一覧画面が表示されます。

2 利用したい項目をタップ

フォルダ／ファイル一覧画面が表示されます。

- ・「」をタップするとカテゴリ／ストレージ一覧画面に戻ります。「」をタップすると1つ上の階層に移動します。

3 表示／再生したいファイルをタップ

選択したファイルが表示／再生されます。

■ 本体内の主なデータ保存場所

データの種類	データ保存場所
カメラで撮影したデータ	内部ストレージ > DCIM > Camera
ブラウザから保存した画像などのデータ	内部ストレージ > Download

マイファイルのメニューを利用する

カテゴリ／ストレージ一覧画面、フォルダ／ファイル一覧画面で「」をタップすると、以下の項目が表示されます。

編集 ^{※1}	選択したフォルダ／ファイルの移動、コピーや削除などを行います。
表示 ^{※1}	フォルダ／ファイル一覧の表示方法を設定します。
フォルダ作成 ^{※1}	フォルダを作成します。
ごみ箱 ^{※1}	削除したアイテムを確認できます。 ・「ごみ箱」で削除したアイテムは復元したり、完全に削除したりすることができます。
最近使用したファイルのリストを消去 ^{※2}	「最近使用したファイル」の履歴を消去します。
メニューレイアウトを編集 ^{※2}	カテゴリ／ストレージ一覧画面に表示する項目を設定します。
設定	隠しシステムファイルを表示／非表示などを設定します。

※1 フォルダ／ファイル一覧画面にのみ表示されます。

※2 カテゴリ／ストレージ一覧画面にのみ表示されます。

Smart Switchを利用する

Smart Switchを利用して、連絡先や通話履歴などのデータを本製品と同期できます。

- ・ Smart SwitchはSmart Switchのホームページからダウンロードします。ダウンロードや使いかたの詳細については、Smart Switchのホームページをご参照ください。

＜パソコンから＞

<https://www.galaxymobile.jp/apps/smart-switch/>

パソコンと接続してSmart Switchを起動する

1 USB Type-Cケーブル(市販品)で本製品とパソコンを接続

2 通知パネルを開く→[USBをファイル転送に使用]→[USBをファイル転送に使用]

3 「ファイルを転送／Android Auto」が選択されていることを確認

4 パソコンでSmart Switchを起動する



- ◎ データを転送中にUSB Type-Cケーブル(市販品)を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。
- ◎ データを転送する前に十分にバッテリー残量があることを確認してください。

ワイヤレスで接続してSmart Switchを起動する

ワイヤレスで接続することで、データを移行することができます。

例：以前の端末からデータを移行する

1 以前の端末のSmart Switchを起動する

- ・ アプリがインストールされていない場合は、Google PlayやGalaxy Storeからダウンロードしてください。

2 本製品のアプリ一覧画面で[設定]

3 [アカウントとバックアップ]

4 [古いデバイスからデータを移行]

- ・ 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

5 データ移行する2つの端末を近づける

6 以前の端末で[データを送信]→[ワイヤレス]

- ・ 端末により表示や手順が異なる場合があります。

7 本製品で[データを受信]→以前の端末の種類を選択→[ワイヤレス]

8 画面の指示に従って操作する

Windowsと連携する

Microsoftアカウントを利用して、本製品に保存された写真などをパソコンから確認できます。

1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続デバイス]

2 [Windowsにリンク]

- ・通知パネルのクイック設定ボタン(▶P.36)で「Windowsにリンク」をタップしても、Windowsと連携できます。

3 画面の指示に従って操作

- ・Microsoftアカウントの設定画面が表示された場合は、画面の指示に従ってMicrosoftアカウントを設定してください。

Galaxyアカウントを利用してサーバー上にバックアップする

1 アプリ一覧画面で[設定]

2 [アカウントとバックアップ]

3 [データをバックアップ(Galaxyクラウド)]

- ・Galaxyアカウントの設定画面が表示された場合は、画面の指示に従ってGalaxyアカウントを設定してください(▶P.30)。

4 バックアップ対象の「」をタップして「」にする

5 [今すぐバックアップ]

6 画面の指示に従って操作



- ◎ バックアップしたデータを復元するには、アプリ一覧画面で[設定]→[アカウントとバックアップ]→[データを復元]と操作し、画面の指示に従って操作してください。

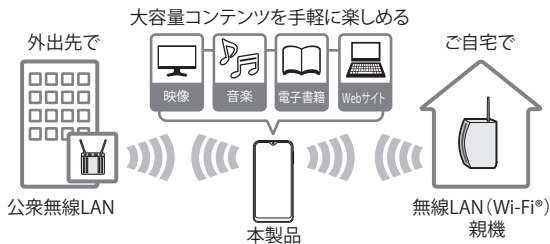
データ通信

無線LAN (Wi-Fi®) 機能	82
Wi-Fi®機能を利用する	82
Wi-Fi®機能をオンにする	82
Wi-Fi®ネットワークに接続する	82
Wi-Fi®接続を切断する	82
「Intelligent Wi-Fi」を設定する	83
Bluetooth®機能	83
Bluetooth®機能をオンにする	83
他のBluetooth®機器を登録する	84
Bluetooth®機能でデータを送受信する	84
テザリング機能	85
テザリングについて	85
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	85
Bluetooth®テザリング機能を利用する	85
イーサネットテザリング機能を利用する	85
USBテザリング機能を利用する	85

無線LAN (Wi-Fi®) 機能

Wi-Fi®機能を利用する

家庭内で構築した無線LAN (Wi-Fi®) 環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。



memo

- ◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN親機 (Wi-Fi®ネットワーク) をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN (Wi-Fi®) 機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi®機能をオンにする

Wi-Fi®機能を使用するには、Wi-Fi®機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[Wi-Fi]

2 「」をタップして「」にする

Wi-Fi®機能が起動し、利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。

Wi-Fi®機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo

- ◎ Wi-Fi®機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、お使いの本製品の位置によって異なります。Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[Wi-Fi]

Wi-Fi設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワーク一覧が表示されます。

2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択

- ・セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード (セキュリティキー)*を入力し、「接続」をタップします。

※パスワード (セキュリティキー) は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ・接続が完了すると、ステータスバーに  が表示されます。

memo

- ◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークの「」をタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
- ◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用にならない場合があります。
- ◎ 「」をタップして接続したいネットワークのQRコードをスキャンすると、パスワードの入力なしで接続できます。

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

1 Wi-Fi設定画面で[ネットワークを追加]

2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワーク名を入力

3 セキュリティを選択

必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 [保存]

memo

- ◎ 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

静的IPを使用して接続する

静的IPアドレスを使用してWi-Fi®ネットワークに接続するように設定できます。

1 Wi-Fi設定画面で接続するWi-Fi®ネットワークをタップ→[さらに表示]→「IP設定」欄をタップ→[静的]

設定項目が下に表示されます。

2 項目を選択→必要な情報を入力

静的IPアドレスを使用するには、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットワークプレフィックス長」「DNS 1」「DNS 2」の入力が必要です。

3 [接続]

Wi-Fi®接続を切断する

1 Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークの

2 [切断]

memo

- ◎ 切断すると、再接続のときにパスワード (セキュリティキー) の入力が必要になる場合があります。

「Intelligent Wi-Fi」を設定する

1 Wi-Fi設定画面で[:]→[Intelligent Wi-Fi]

2 モバイルデータに切り替え	Wi-Fi®ネットワーク速度が低速または不安定な場合、モバイルデータを自動的に使用するように設定します。
より最適なWi-Fiネットワークに切り替え	現在のネットワークより高速で安定したWi-Fi®ネットワークに自動的に切り替えます。
自動的にWi-FiのON/OFFを切り替え	Wi-Fi®を頻繁に使用する場所ではWi-Fi®が自動的にONになり、それ以外の場所では自動的にOFFになるようにします。
ネットワークの品質情報を表示	利用可能なWi-Fi®ネットワークのリストにネットワークの品質情報を表示します。
不審なネットワークを検出	Wi-Fi®ネットワークで不審な動作が検出されたときに通知するかどうかを設定できます。
自動Wi-Fiデザリング接続	本製品がインターネットに接続されていないときに、自動でデザリングデバイスに接続するタイミングを選択します。
Intelligent Wi-Fi	「Intelligent Wi-Fi」のバージョン情報を確認します。

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth®デバイスと通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。また、必要に応じて本製品とBluetooth®デバイスのペアリング(登録)を行ってください。

memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- ◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ Bluetooth®機能使用時の注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本製品とほかのBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■ 無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器との電波干渉について

本製品のBluetooth®機能と無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがあります。

この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetooth®デバイスと無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器は、20m以上離してください。
2. 20m以内で使用する場合は、Bluetooth®デバイスまたは無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。

他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[Bluetooth]

2 「」をタップして「」にする

memo

- ◎ Bluetooth®機能のオン/オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- ◎ Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
- ◎ 初期状態では、Bluetooth®機能がオンに設定されています。Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。また、航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。

他のBluetooth®機器を登録する

本製品と他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング(登録)を行います。

機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[Bluetooth]
Bluetooth設定画面が表示されます。

2 「」をタップして「」にする

接続可能なBluetooth®機器の検索が自動的に開始され、検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。

3 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択

4 画面の指示に従って操作



- ◎ ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。
- ◎ 接続するBluetooth®デバイス名が表示されていないときは、「スキャン」をタップして、機器を再検索します。

他のBluetooth®機器から検出可能にする

1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[Bluetooth]

2 「」をタップして「」にする

■ 他のBluetooth®機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「ペアリング」をタップしてください。

ペアリングを解除する

1 Bluetooth設定画面→ペアリング済みのBluetooth®デバイス名の

2 [ペアリングを解除]→[ペアリングを解除]

Bluetooth®機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth®機能をオンにし、相手のBluetooth®機器とペアリングを行ってください。

Bluetooth®機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth®機器に送信できます。

- ・送信は各アプリケーションの「共有」などのメニューから行ってください。

Bluetooth®機能でデータを受信する

1 ファイル転送画面が表示されたら→[承認]

ステータスバーにが表示され、データの受信が開始されます。

通知パネルで受信状態を確認できます。

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、データ通信を通じて無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器、USB対応機器などをインターネットに接続させることを言います。



◎ テザリング機能のご利用には別途で契約が必要です。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

本製品をインターネットアクセスポイントとして利用できるようになります。

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[テザリング]
- 2 「Wi-Fiテザリング」の「」をタップして「」にする
 - ・ 確認画面が表示されたら画面の指示に従って操作してください。



◎ Wi-Fi®テザリング機能は電池を多く消費するため、充電しながらご利用になることをおすすめします。

Wi-Fi®テザリングを設定する

無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[テザリング]
- 2 [Wi-Fiテザリング]→[設定]
- 3 ネットワーク名を入力
パソコンなど無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器に表示されるアクセスポイント名 (SSID) を入力します。
- 4 セキュリティを選択
必要に応じて、Wi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。
- 5 [保存]



◎ 「セキュリティ」を「オープン」にすると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

◎ 次の操作で、デバイスに接続していない場合にWi-Fi®テザリングを自動的に無効にする時間を設定できます。Wi-Fi®テザリング画面で[設定]→[詳細設定]→[デバイス未接続のときにOFFにするまでの時間]と操作します。

Bluetooth®テザリング機能を利用する

- 1 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[テザリング]
- 2 「Bluetoothテザリング」の「」をタップして「」にする
 - ・ 他のBluetooth®機器から検出可能(▶P.84)になっていない場合、自動的に検出可能になります。

イーサネットテザリング機能を利用する

- 1 本製品とUSBイーサネットアダプタを接続
- 2 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[テザリング]
- 3 「イーサネットテザリング」の「」をタップして「」にする

USBテザリング機能を利用する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続することで、パソコンをインターネットに接続することができます。

- 1 USB Type-Cケーブル(市販品)で本製品とパソコンを接続
- 2 アプリ一覧画面で[設定]→[接続]→[テザリング]
- 3 「USBテザリング」の「」をタップして「」にする

機能設定

機能設定	88
設定メニューを表示する	88
接続の設定をする	88
接続デバイスの設定をする	90
サウンドとバイブの設定をする	90
通知の設定をする	91
ディスプレイの設定をする	91
壁紙とスタイルの設定をする	92
テーマの設定をする	92
ホーム画面の設定をする	92
ロック画面の設定をする	93
セキュリティおよびプライバシーの設定をする	94
位置情報の設定をする	95
安全および緊急の設定をする	95
アカウントとバックアップの設定をする	96
デジタルウェルビーイングと ペアレンタルコントロールの設定をする	96
バッテリーとデバイスケアの設定をする	97
一般管理の設定をする	97
ユーザー補助の設定をする	98
ソフトウェア更新の設定をする	100
端末情報を表示する	100

機能設定

設定メニューを表示する

設定メニューから本製品の各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズ、セキュリティの設定、データの初期化などを行うことができます。

1 アプリ一覧画面で[設定]

設定メニュー画面が表示されます。

- ステータスバーを下にスライドし、通知パネルにある「」をタップしても、設定メニュー画面を表示することができます。

2	(使用者名)	登録中のGalaxyアカウントのアカウント情報などを確認できます。 ・Galaxyアカウントが未登録の場合、「Galaxyアカウント」と表示されます。
	接続	▶P.88「接続の設定をする」
	接続デバイス	▶P.90「接続デバイスの設定をする」
	モードとルーチン	▶P.41「モードとルーチンを利用する」
	サウンドとパイプ	▶P.90「サウンドとパイプの設定をする」
	通知	▶P.91「通知の設定をする」
	ディスプレイ	▶P.91「ディスプレイの設定をする」
	壁紙とスタイル	▶P.92「壁紙とスタイルの設定をする」
	テーマ	▶P.92「テーマの設定をする」
	ホーム画面	▶P.92「ホーム画面の設定をする」
	ロック画面	▶P.93「ロック画面の設定をする」
	セキュリティおよびプライバシー	▶P.94「セキュリティおよびプライバシーの設定をする」
	位置情報	▶P.95「位置情報の設定をする」
	安全および緊急	▶P.95「安全および緊急の設定をする」
	アカウントとバックアップ	▶P.96「アカウントとバックアップの設定をする」
	Google	Googleのアカウントやサービスを設定します。
	便利な機能	▶P.39「便利な機能の使いかた」
	デジタルウェルビーイングとペアレンタルコントロール	▶P.96「デジタルウェルビーイングとペアレンタルコントロールの設定をする」
	バッテリーとデバイスカ	▶P.97「バッテリーとデバイスカの設定をする」
	アプリ	本製品にインストールしたアプリケーションの確認や設定などを行います。
	一般管理	▶P.97「一般管理の設定をする」
	ユーザー補助	▶P.98「ユーザー補助の設定をする」
	ソフトウェア更新	▶P.100「ソフトウェア更新の設定をする」
	端末情報	▶P.100「端末情報を表示する」

接続の設定をする

1 設定メニュー画面→[接続]

2	Wi-Fi	Wi-Fi®機能のオン/オフを切り替えます。 ・「Wi-Fi®機能をオンにする」(▶P.82)
	Bluetooth	Bluetooth®機能のオン/オフを切り替えます。 ・「Bluetooth®機能をオンにする」(▶P.83)
	NFC/おサイフケータイ設定	モバイル決済やNFCタグの読み取り/書き込みを行うことができます。 ・「NFC/おサイフケータイ®」(▶P.70)
	機内モード	▶P.88「機内モード」
	モバイルネットワーク	▶P.88「モバイルネットワーク」
	データ使用量	▶P.89「データ使用量」
	SIMマネージャー	▶P.89「SIMマネージャー」
	テザリング	▶P.85「テザリング機能」
	その他の接続設定	▶P.89「その他の接続設定」

機内モード

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、データ通信、無線LAN (Wi-Fi®) 機能、Bluetooth®機能)がすべてオフになります。

1 設定メニュー画面→[接続]→[機内モード]

2 「」をタップして「」にする

「」をタップして「」にすると、機内モードはオフになります。

機内モードがオンの場合でも、無線LAN (Wi-Fi®) 機能やBluetooth®機能を、設定メニューからの操作、またはクイック設定ボタンの操作(▶P.36)で再度オンにすることができます。航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。

モバイルネットワーク

データ通信や海外利用などのネットワークを利用できるように設定します。

1 設定メニュー画面→[接続]

2 [モバイルネットワーク]

3	データローミング	海外での利用に関する設定を行います。
	ネットワークモード	ネットワークモードを選択します。
	APN	APNを設定します。
	通信事業者	通信事業者の選択などがあります。

データ使用量

期間ごとやアプリケーションごとのモバイルデータ通信使用量(目安)を確認できます。また、アプリケーションがバックグラウンドで行うデータ通信などを制限できます。

■ データ通信を設定する

1 設定メニュー画面→[接続]→[データ使用量]

2 「モバイルデータ」の「」をタップして「」にする

■ データセーバーを設定する

1 設定メニュー画面→[接続]→[データ使用量]→[データセーバー]

2 「今すぐON」の「」をタップして「」にする

- ・バックグラウンドでのデータ通信が制限されます。
- ・「データセーバーON時にデータの使用を許可」をタップすると、データ通信の制限の対象外とするアプリを設定できます。

■ バックグラウンドでのモバイルデータの使用を禁止する

1 設定メニュー画面→[接続]→[データ使用量]

2 [モバイルデータ使用量]→目的のアプリをタップ

3 「バックグラウンドデータの使用を許可」の「」をタップして「」にする

■ 指定したモバイルデータ使用量を超えたときに警告・制限させる

1 設定メニュー画面→[接続]→[データ使用量]

2 [モバイルデータ使用量]→

3 「データ制限を設定」の「」をタップして「」にする

- ・使用量を変更するには、「データ制限」をタップし、数値を入力→[設定]と操作します。



◎「データ制限を設定」をオンにしていなくても、指定したデータ使用量を超えたときに警告が表示されます。

SIMマネージャー

1 設定メニュー画面→[接続]→[SIMマネージャー]

2 SIMカード	SIMカードを有効にして、SIMカードに関する設定を行います。
eSIM	▶P.89 「eSIMを有効にする」
優先SIM	通話などの一部の機能に優先して使用するSIMを選択します。
データの切り替え	設定した「優先SIM」でネットワークに接続できない場合に別のSIMのネットワークを使用するように設定します。
その他のSIM設定	eSIMに関する設定を行います。

■ eSIMを有効にする

1 設定メニュー画面→[接続]→[SIMマネージャー]

2 「eSIM」欄の[eSIMを追加]

3 検索されたeSIMが表示されたら、画面の指示に従ってeSIMを有効にする



◎ 通信事業者から提供されたQRコードがある場合は、設定メニュー画面→[接続]→[SIMマネージャー]→「eSIM」欄の[eSIMを追加]→[サービスプロバイダから提供されたQRコードをスキャン]→QRコードをスキャンと操作しても、eSIMを追加できます。

その他の接続設定

1 設定メニュー画面→[接続]→[その他の接続設定]

2 近くのデバイスをスキャン	接続可能なデバイスが近くにあるかをスキャンするように設定します。
印刷	対応する印刷サービスを設定します。
VPN	▶P.89 「VPNを設定する」
プライベートDNS	プライベートDNSを設定します。
イーサネット	イーサネットネットワークへの接続やイーサネットデバイスを設定します。

■ VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク (VPN: Virtual Private Network) は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

1 設定メニュー画面→[接続]→[その他の接続設定]→[VPN]

2 [:]→[VPNプロファイルを追加]

3 以降、画面の指示に従って設定

接続デバイスの設定をする

1 設定メニュー画面→[接続デバイス]

2 クイック共有	クイック共有に関する各種設定を行います。共有を許可するユーザーの設定やリンク共有履歴の確認などができます。
イヤホンを自動切り替え	電話の発着信時やメディアの再生時などの場合、Galaxy Buds (市販品)を他のデバイスとの接続から本製品に切り替えるように設定します。
他のデバイスでアプリを続行	Galaxyアカウントにサインインしている他のデバイスで、アプリを中断したところから引き続き使用することができます。
Windowsにリンク	▶P.80「Windowsと連携する」
Smart View	テレビやモニターと接続して本製品の画面を共有できます。
Galaxy Wearable	Galaxy Wearableアプリ(▶P.62)を起動し、本製品に接続されたGalaxyの周辺機器を管理します。
Android Auto	本製品を自動車と接続し、自動車側のディスプレイ上で本製品の一部の機能を利用できます。

サウンドとバイブの設定をする

1 設定メニュー画面→[サウンドとバイブ]

2 (サウンドモード)	サウンドモードを「サウンド」/「バイブ」/「サイレント」から切り替えます。 ・「サウンド」に設定すると、「着信時にバイブ」が表示されます。着信音に加えてバイブレーション動作もするかどうかを設定します。 ・「サイレント」に設定すると、「一時的に消音」が表示されます。設定した「消音時間」になったら本製品のサウンドモードを「サウンド」または「バイブ」に戻すかどうかを設定します。
着信音	電話の着信音や音量などを設定します。
通知音	標準通知音や音量などを設定します。
システムサウンド	システムサウンドのテーマや音量などを設定します。
音量	▶P.90「各種音量を調節する」
着信時のバイブ	着信のバイブレーションのパターンを設定します。
通知時のバイブ	通知のバイブレーションのパターンを設定します。
システムバイブ	タッチ操作、充電、キーボードなどを使用時にバイブレーションが動作するかどうかを設定します。また、バイブレーションの強度も設定できます。
バイブの強度設定	▶P.91「バイブレーションの強度を設定する」
音質とエフェクト	本製品の音質とエフェクトを設定します。
アプリサウンドの出力デバイスを設定	選択したアプリのメディアサウンドを、別のオーディオデバイスで再生します。

マナーモードを設定する

マナーモード(バイブ/サイレント)を設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないようになります。

1 通知パネルを開く

2 「」をタップし、「」/「」に設定する



◎ マナーモード(バイブ/サイレント)に設定中でも、カメラ撮影時のシャッター音や、動画再生、音楽再生などは消音されません。

各種音量を調節する

1 設定メニュー画面→[サウンドとバイブ]→[音量]

次の項目の音量を調節します。

- ・ 着信音
- ・ メディア
- ・ 通知
- ・ システム

2 スライダを左右にドラッグして音量を調節

音量を下げるにはスライダを左にドラッグ、上げるにはスライダを右にドラッグします。



◎ マナーモード設定中に着信音の音量を調節すると、マナーモードは解除されます。

バイブレーションの強度を設定する

1 設定メニュー画面→[サウンドとバイブ]→[バイブの強度設定]

次の項目のバイブレーションの強度を調節します。
・システム

2 スライダを左右にドラッグして強度を調節

バイブレーションを弱くするにはスライダを左にドラッグ、強くするにはスライダを右にドラッグします。

通知の設定をする

1 設定メニュー画面→[通知]

2 アプリの通知	通知の送信を許可するアプリを選択します。
ロック画面の通知	ロック画面での通知の表示方法などを設定します。
通知ポップアップのスタイル	通知ポップアップの表示方法を設定します。 ・「概要」を選択すると、対応するアプリやポップアップ画面の表示設定などを設定できます。
通知をミュート	▶P.91「通知を消音する」
詳細設定	ステータスバーでの通知アイコンの表示方法、通知のリマインダー方法や緊急速報メールなどを設定します。

通知を消音する

許可した例外を除いて、すべての着信や通知などを消音するように設定します。

1 設定メニュー画面→[通知]→[通知をミュート]

2 通知をミュート	「通知をミュート」をオン/オフします。 ・「通知をミュート」がオフの場合に、「期間を選択」が表示され、「通知をミュート」がオフになるまでの期間を設定します。
スケジュール	「通知をミュート」をオンにするスケジュールの編集・追加ができます。
[通知をミュート]中に許可	「通知をミュート」がオンのときに、例外になる通話・メッセージ、アラーム・サウンドやアプリなどを設定します。
通知を非表示	通知の非表示について、画面のオン/オフそれぞれの状況で設定ができます。

ディスプレイの設定をする

1 設定メニュー画面→[ディスプレイ]

2 ダークモード設定	表示画面を「ライト」/「ダーク」モードに設定します。また、ダークモードをオンにする時刻などを設定します。 ・一部のアプリでは使用できない場合があります。 ・ダークモードへの切り替えは通知パネルからもできます。
明るさ	画面の明るさを設定します。
明るさ自動調整	周囲の明るさに合わせて画面の明るさを自動的に調整します。
目の保護モード	画面のブルーライトを制限し、暖色を使用することで目を休めます。
文字サイズとフォントスタイル	文字サイズやフォントスタイルなどを設定します。
画面のズーム	画面のズームを設定します。
全画面アプリ	全画面で表示するアプリを設定します。
カメラ領域	アプリ別にカメラ領域を黒色のバーで覆って目立たなくするよう設定します。
画面のタイムアウト	画面が自動消灯するまでの時間を設定します。
かんたんモード	▶P.34「かんたんモードに切り替える」
エッジパネル	▶P.39「エッジパネルを利用する」
ナビゲーションバー	▶P.32「ナビゲーションバーの使いかた」
タッチ感度	画面のタッチ感度を向上させます。
充電情報を表示	画面がオフのときに、バッテリー残量と充電完了までの推定時間を表示します。
スクリーンセーバー	充電中に表示するスクリーンセーバーのオン/オフ、種類を設定します。

壁紙とスタイルの設定をする

1 設定メニュー画面→[壁紙とスタイル]

2 [マイ壁紙を閲覧]

- ・「カラーパレット」をタップすると、壁紙の色に基づいたパレットを選択できます。
- ・「壁紙にダークモードを適用」をオンにすると、ホーム画面などの壁紙の色がダークモードに合わせて変更されます。

3 設定したい壁紙を選択

4 画面の指示に従って設定

テーマの設定をする

1 設定メニュー画面→[テーマ]

2 [テーマ]／[壁紙]／[アイコン]

3 設定したいテーマなどを選択

4 画面の指示に従って設定

ホーム画面の設定をする

1 設定メニュー画面→[ホーム画面]

2	ホーム画面のレイアウト	ホーム画面のレイアウトを設定し、アプリ一覧画面の代わりにすべてのアプリをホーム画面に表示するかどうかを設定します。
	ホーム画面グリッド	ホーム画面グリッドを設定します。
	アプリ画面グリッド	アプリ一覧画面グリッドを設定します。
	フォルダグリッド	フォルダ内のグリッドを設定します。
	メディアページをホーム画面に追加	一番左のホーム画面で画面を右にフリックして表示されるメディアページを設定します。
	アプリ画面ボタンをホーム画面に表示	「  」をホーム画面に表示するかどうかを設定します。 ・「  」をタップすると、アプリ一覧画面が表示されます。
	ホーム画面のレイアウトをロック	ホーム画面にあるアイテムの削除や位置の変更を実行できないようにロックします。
	新しいアプリをホーム画面に追加	Google Playなどから初めてダウンロードしたアプリが、自動的にホーム画面に追加されるように設定します。 ・「ホーム画面のレイアウトをロック」をオンにしている場合は、設定できません。
	ホーム画面／アプリ画面でアプリを非表示	ホーム画面やアプリ一覧画面で非表示にするアプリを設定します。
	アプリアイコンのバッジ	アプリに通知があるとき、アプリアイコンにバッジを表示するかどうかなどを設定します。
	下にスワイプして通知パネルを表示	ホーム画面の任意の場所を下にフリックすると、通知パネルが表示されます。
	横画面モードを使用	ホーム画面を横表示に回転できるように設定します。
	ホーム画面について	ホーム画面についての情報を確認できます。
	お問い合わせ	Galaxy Membersに移動します。 ・Galaxy Membersアプリをアンインストールすると、「お問い合わせ」は表示されなくなります。

ロック画面の設定をする

1 設定メニュー画面→[ロック画面]

2 画面ロックの種類		▶P.93「画面ロックの種類を設定する」
Smart Lock		信頼できる条件のときに本製品の自動ロック解除を可能にするかどうかを設定します。 ・Smart Lockは画面ロックの種類を「スワイプ」、「なし」以外にすると選択できます。
安全ロック設定※1	パターンを表示※1	画面ロック解除などの時にパターンの軌跡を表示するかどうかを設定します。
	画面がOFFになったときに自動ロック	画面が消灯してからロックがかかるまでの時間を設定します。
	サイドキーですぐにロック	⌲(サイドキー)/指紋センサーを押して画面を消灯にしたときに、すぐロックするかどうかを設定します。
	自動初期化	画面ロック解除に20回失敗したときに本製品を工場出荷時の状態にリセットするかどうかを設定します。
	ネットワークとセキュリティをロック	本製品がロックされている間、ネットワークがオフにならないようにします。
	ロックダウンオプションを表示	「ロックダウンモード」のボタンを端末オプション画面に表示するかどうかを設定します。 ・「ロックダウンモード」にすると、Smart Lock、生体認証ロック解除などが使えなくなります。
長押しして編集		ロック画面の何も無いスペースをロングタッチすると、ロック画面に表示するアイテムなどを編集できます。
ローミング時計		海外利用時に現在地の都市とホーム都市の時刻を両方表示するかどうかを設定します。
ロック画面について		ロック画面についての情報を確認できます。

※1「画面ロックの種類」の設定によって、表示されない場合があります。

画面ロックの種類を設定する

1 設定メニュー画面→[ロック画面]

2 [画面ロックの種類]

3 スワイプ	画面を上下左右にスワイプして、画面ロックを解除します。
パターン	ロック解除パターンを入力します。
PIN	4桁以上の数字を入力します。
パスワード	アルファベットを含む4文字以上の文字を入力します。
なし	ロック画面を表示しないように設定します。
顔認証	▶P.40「顔認証機能を利用する」
指紋認証	▶P.40「指紋認証機能を利用する」

4 画面の指示に従って操作

■ 画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を「なし」以外に設定している場合、⌲(サイドキー)/指紋センサーを押す、または自動的に画面が消灯すると、画面ロックがかかります。

■ 画面ロックを解除する

1 ⌲(サイドキー)/指紋センサーを押して、ロック画面を表示

2 ロック画面で現在のロック解除方法を実行する

ロック解除を5回続けて失敗した場合は、画面に従って再試行してください。



- ◎ ロック画面をスワイプして「緊急通報」が表示されたときに「緊急通報」をタップすると、緊急通報ができます。
- ◎ 解除パターンやPIN、パスワードの入力、顔の認証、指紋の認証に5回失敗※1すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。
※1 解除パターンを3箇所以下、PIN/パスワードを3桁以下で入力した失敗、顔や指紋が正常に認識されない旨のエラーメッセージが出る場合はカウントされません。
解除パターンやPIN、パスワードを忘れた場合は、パソコンなどからFind My Mobileのホームページにアクセスし、「ロック解除」を実行すると画面ロックを解除できます。詳細については、Find My Mobileのホームページをご参照ください(▶P.30)。

セキュリティおよびプライバシーの設定をする

1 設定メニュー画面→[セキュリティおよびプライバシー]

2	ロック画面	画面ロックの種類の設定や指紋認証の設定を行います。
	アカウント	Googleアカウントのセキュリティ設定などを行います。
	端末リモート追跡	端末リモート追跡機能を有効にするかどうかを設定します。有効にすると、本製品が紛失した場合やロック解除方法を忘れた場合でも、本製品の位置の確認やロック解除を行うことができます。
	アプリのセキュリティ	アプリをスキャンして、本製品をセキュリティに関する脅威から保護します。
	更新	本製品のアップデート状態を確認したり、アップデートの有無をチェックしたりできます。
	プライバシー	プライバシーの設定を変更します。
	生体認証	顔認証 ▶P.40「顔認証機能を利用する」 指紋認証 ▶P.40「指紋認証機能を利用する」 ロック解除の切り替え効果を表示 生体認証利用時の画面ロック解除における切り替え効果の表示／非表示を設定できます。 生体認証でのロック解除について 生体認証でのロック解除方法について確認します。
	Galaxy Pass	▶P.94「Galaxy Passを利用する」
	セキュリティフォルダ ^{※1}	個人ファイルやアプリなどを安全に保護するためのセキュリティフォルダを設定します。
	Private Share	プライベートで共有したファイルを受信者が再共有できないようにしたり、有効期限を設定したりすることができます。
	不明なアプリをインストール	▶P.73「提供元不明のアプリケーションのインストール」
	その他のセキュリティ設定	SIMカードロック設定 ▶P.95「SIMカードロックを設定する」 外部SDカードを暗号化 microSDメモリカードを暗号化して、データを保護します。 ・暗号化する前に、microSDメモリカードを初期化する必要があります。暗号化する前に、重要なデータをバックアップしてください。 ・暗号化を実行後に、本製品を初期化する場合、microSDメモリカードのデータにアクセスできなくなります。初期化する前に、重要なデータをバックアップしてください。 パスワードを表示 パスワードの入力画面で、入力した文字を一時的に表示するかどうかを設定します。 デバイス管理アプリ デバイス管理アプリを有効または無効にします。 セキュリティ証明書を表示 セキュリティ証明書を表示します。 ユーザー証明書 ユーザー証明書を表示します。 ストレージからインストール 証明書をシステムメモリ(本体)またはmicroSDメモリカードからインストールします。 証明書を消去 すべての証明書データを消去します。 証明書の管理アプリ 証明書の管理アプリを確認できます。 信頼エージェント ^{※2} 信頼できる端末が接続されると、選択した操作を実行します。 アプリ固定モード 端末の画面に特定のアプリを固定できるようにするかどうかを設定します。

その他のセキュリティ設定	Galaxyシステムアプリの更新	Galaxyシステムアプリの更新や更新方法の設定などを行います。
	セキュリティポリシーを更新	セキュリティポリシーを更新して端末のセキュリティを向上します。

※1 利用するにはGalaxyアカウントの登録が必要です。セキュリティフォルダのロック解除方法を忘れた場合は、Galaxyアカウントを使用してロックをリセットできます。

※2 「画面ロックの種類」の設定によって、設定できない場合があります。

Galaxy Passを利用する

Galaxy Passを使うと指紋認証などの生体認証を使ってアプリなどで簡単にサインインできます。

- Galaxy Passを利用するにはGalaxyアカウントへのサインインが必要です(▶P.30)。
- Galaxy Passを使ったサインインは一部のアプリのみ対応しています。

Galaxy Passを登録する

1 設定メニュー画面→[セキュリティおよびプライバシー]→[Galaxy Pass]

2 表示内容を確認→[続行]

3 以降、画面の指示に従って設定

Galaxy Passを設定する

1 設定メニュー画面→[セキュリティおよびプライバシー]→[Galaxy Pass]

2 登録した生体認証で保護するセキュリティを解除

Galaxy Pass画面が表示されます。

3 [⋮]→[設定]

4 各項目を設定

アプリのサインインにGalaxy Passを使用する

1 サインインしたいアプリを起動

2 アカウント名とパスワードを入力し、サインインする

3 ポップアップ画面で[はい]

- Galaxy Passにサインイン情報が保存され、次回からGalaxy Passに登録した生体情報を認識してサインインできます。



◎ Galaxy Pass画面で保存されたサインイン情報をタップすると確認、編集、削除できます。

SIMカードロックを設定する

SIMカードにPIN (暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.20)をご参照ください。

- 1 設定メニュー画面→[セキュリティおよびプライバシー]→[その他のセキュリティ設定]
 - 2 [SIMカードロック設定]→[SIMカードをロック]
 - 3 PINコードを入力→[OK]
- 電源を入れたときにPINコードを入力する
- 1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→[OK]
- PINコードを変更する
- SIMカードのPINが有効に設定されているときのみ変更できます。
- 1 設定メニュー画面→[セキュリティおよびプライバシー]→[その他のセキュリティ設定]
 - 2 [SIMカードロック設定]→[SIMカードのPINを変更]
 - 3 PINコードを入力→[OK]
 - 4 新しいPINコードを入力→[OK]
 - 5 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

位置情報の設定をする

- 1 設定メニュー画面→[位置情報]
- 2 「」をタップして「」にする

3	アプリの権限	位置情報のアクセスを許可する／許可しないアプリを設定します。
	位置情報サービス	位置情報サービスの利用や位置情報の精度を設定します。
	最近のアクセス	位置情報にアクセスしたアプリを表示します。

安全および緊急の設定をする

- 1 設定メニュー画面→[安全および緊急]

2	医療情報	ユーザーの医療情報を編集・確認できます。また、登録した医療情報は「ロック画面で表示」をオンにするとロック画面からも確認できます。 ^{※1}
	緊急連絡先	緊急連絡先を設定・確認できます。また、登録した緊急連絡先は「ロック画面で表示」をオンにするとロック画面からも電話をかけることができます。 ^{※1}
	緊急SOS	□ (サイドキー)／指紋センサーを5回押すことで緊急通報や緊急時共有を実行するかどうかを設定します。また、緊急通報の送信先なども設定できます。
	緊急時共有	一定期間、位置情報などを緊急連絡先に共有するように設定します。
	地震アラート	周辺で地震が検知されたとき、警報が鳴るように設定します。
	運転中の通知をサイレントにする	運転中は自動的にマナーモードが有効になるように設定します。
	緊急位置情報サービス	お住いの地域が緊急位置情報サービスに対応している場合、緊急通報番号に電話をかけるかテキストメッセージを送信すると、本製品の位置情報が緊急サービスパートナーに自動的に送信されます。
	緊急速報メール	緊急速報メールの受信を許可するかどうかなどを設定します。

※1 画面ロックの種類を「スワイプ」、「なし」以外に設定した場合に利用できます。ロック画面で画面をスワイプ→[緊急通報]→画面の指示に従って操作してください。

アカウントとバックアップの設定をする

1 設定メニュー画面→[アカウントとバックアップ]

2	アカウントを管理	▶P.96「アカウントを管理」
	データをバックアップ(Galaxyクラウド)	連絡先や端末設定などをGalaxyアカウントを利用してバックアップします。
	データを復元	Galaxyアカウントを利用してバックアップしたデータを復元します。
	データをバックアップ(Googleドライブ)	バックアップ用Googleアカウントの設定やバックアップの実行などを行います。
	古いデバイスからデータを移行	古い端末から画像、連絡先、メッセージなどのデータを転送します。
	外部ストレージ転送	Smart Switchを使用してデータをmicroSDメモリカードまたはUSBストレージデバイスにバックアップしたり、バックアップデータを復元したりすることができます。

アカウントを管理

本製品に登録されているアカウントを表示します。また、アカウントを追加したり、同期の設定を行います。

■アカウントを登録する

1 設定メニュー画面→[アカウントとバックアップ]→[アカウントを管理]→[アカウントを追加]

2 追加したいアカウントの種類をタップ→画面の指示に従って操作

■アカウントを削除する

1 設定メニュー画面→[アカウントとバックアップ]→[アカウントを管理]

2 削除するアカウント名をタップ

3 [アカウントを削除]→[アカウントを削除]

4 画面の指示に従って操作



- ◎ アカウントがオンラインサービスなどとの同期を設定できる場合は、設定メニュー画面→[アカウントとバックアップ]→[アカウントを管理]→アカウントをタップ→[アカウントを同期]→同期する項目をオンにして、同期させない項目をオフにして設定します。
- ◎ アカウントの種類によって、操作が異なる場合があります。
- ◎ 他のアプリケーションで使用されているアカウントは、削除できない場合があります。削除するには初期化(▶P.98)が必要になります。

デジタルウェルビーイングとペアレンタルコントロールの設定をする

1 設定メニュー画面→[デジタルウェルビーイングとペアレンタルコントロール]

2	(スクリーンタイム)	画面点灯時間をアプリごとに確認できます。タップすると、受信通知件数やロック解除の回数も確認できます。
	スクリーンタイムの目標	本製品の1日に使用する目標時間を設定します。
	アプリタイマー	各アプリの「  」をタップすると、アプリの使用時間を制限できます。
	運転モニター	運転中に本製品を使用した時間を確認できます。
	音量モニター	耳を安全に保護するため、大音量で聞いている時間を確認したり、音量レベルをモニタリングすることができます。
	ペアレンタルコントロール	コンテンツの制限を追加したり、その他の制限を設定したりして、お子さまがスクリーンタイムのバランスを取りやすくすることができます。

バッテリーとデバイスケアの設定をする

1 設定メニュー画面→[バッテリーとデバイスケア]

2	今すぐ最適化 ^{※1}	▶P.97「最適化機能を使用する」
	バッテリー	▶P.97「バッテリーの確認や設定をする」
	ストレージ	本体メモリの空き容量などを確認できます。
	メモリ	▶P.38「起動中のアプリケーションを確認／終了する」
	デバイスを保護	本製品をセキュリティの脅威から保護します。
	自動最適化	本製品が使用されていないときに自動最適化を実行するように設定します。
	ソフトウェア更新	▶P.100「ソフトウェア更新の設定をする」
	診断 ^{※2}	テストするアイテムを選択し、本製品の機能を診断します。
	メンテナンスモード ^{※3}	本製品の修理中などに、メンテナンスモードを有効にするとプライバシーを保護できます。

※1 表示される内容は、端末の状態によって異なります(表示されない場合もあります)。

※2 Galaxyアカウントを登録した場合のみ利用できます。

※3 画面ロックの種類を「スワイプ」、「なし」以外に設定した場合に利用できます。

最適化機能を使用する

1 設定メニュー画面→[バッテリーとデバイスケア]

2 [今すぐ最適化]

処理の内容が一覧で表示されます。

3 [完了]

バッテリーの確認や設定をする

1 設定メニュー画面→[バッテリーとデバイスケア]→[バッテリー]

2	(バッテリーの推定残り使用時間／充電完了までの時間)	バッテリーの推定残り使用時間または充電完了までの時間が表示されます。
	省電力モード	省電力モードを設定します。 ・「アプリとホーム画面を制限」をオンにして「省電力モード」を設定すると、バッテリーを最大限に節約できます。
	バックグラウンドでの使用を制限	頻繁に使用しないアプリのバッテリー使用量を制限するかどうかを設定します。
	(バッテリーの使用状況)	前回の充電完了時以降や過去7日間のバッテリー使用状況などを確認できます。
	その他のバッテリー設定	バッテリーの最適化やバッテリー残量の表示方法などを設定します。また、ケーブル接続による急速充電などを行うかどうかを設定します。

ストレージの確認や設定をする

本体や外部SDカード^{*}などのストレージのデータ容量や空き容量を表示したり、ストレージの設定をします。

※ microSDメモリカードが取り付けられているときに表示されます。

■ microSDメモリカードのマウントを解除する

1 設定メニュー画面→[バッテリーとデバイスケア]→[ストレージ]

2 「内部ストレージ」欄を左にスワイプして「外部SDカード」欄を表示

3 「外部SDカード」欄の[:]→[マウント解除]

・ microSDメモリカードをマウントするには、「外部SDカード」欄で「マウント」をタップしてください。

一般管理の設定をする

1 設定メニュー画面→[一般管理]

2	言語	表示言語を切り替えます。
	アプリの言語	各アプリで使用する言語を選択します。
	テキスト読み上げ	テキストを読み上げるための優先エンジンや読み上げ速度などを設定します。
	日付と時刻	▶P.97「日付と時刻を設定する」
	Galaxyキーボード設定	▶P.43「Galaxyキーボードの設定を行う」
	キーボードリストと初期設定	標準キーボードの選択、Galaxyキーボードの設定などができます。
	ハードウェアキーボード	外付けキーボードを使用する際の設定をします。
	マウスとトラックパッド	マウス／トラックパッド使用時のポインターの速度やホイールのスクロール速度などを設定します。
	パスワードと自動入力	Googleアカウントに保存したパスワードを管理したり、自動入力サービスを設定したりすることができます。
	リセット	▶P.98「リセットを設定する」
	お問い合わせ	Galaxy Membersに移動します。 ・ Galaxy Membersアプリをアンインストールすると、「お問い合わせ」は表示されなくなります。

日付と時刻を設定する

1 設定メニュー画面→[一般管理]→[日付と時刻]

2	自動日時設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正します(初期状態)。
	日付設定 ^{※1}	▶P.97「日付／時刻を手動で設定する」
	時刻設定 ^{※1}	
	自動タイムゾーン	ネットワークから提供されるタイムゾーンを使用します。
	位置情報に基づいてタイムゾーンを設定 ^{※2}	本製品の位置情報を使用して、タイムゾーンを特定します。
	24時間形式を使用	オンにすると24時間表示、オフにすると12時間表示となります。

※1 「自動日時設定」がオフのときに表示されます。

※2 「位置情報」(▶P.95)がオンのときに設定できます。

■ 日付／時刻を手動で設定する

1 設定メニュー画面→[一般管理]→[日付と時刻]

2 「自動日時設定」の「」をタップして「」にする

3 [日付設定]／[時刻設定]→日付／時刻を設定→[完了]

リセットを設定する

1 設定メニュー画面→[一般管理]→[リセット]

2 全ての設定をリセット	セキュリティ、言語、アカウント設定、個人データおよびダウンロードしたアプリの設定を除き、本製品の設定をリセットします。
ネットワーク設定をリセット	Wi-Fi®、Bluetooth®やモバイルデータを含むすべてのネットワーク設定をリセットします。
ユーザー補助設定をリセット	ユーザー補助設定を初期設定にリセットします。
工場出荷状態に初期化	▶P.98「本製品を初期化する」

■ 本製品を初期化する

本製品を初期状態に戻します(リセット)。この操作を行うと、ご購入後に本製品にお客さまがインストールしたアプリケーションとプリセットされているアプリケーションの一部が削除されます。また、登録したデータもすべて削除されます。必ず本製品の重要なデータをバックアップしてから、リセットしてください。

なお、本製品の初期化を実行すると、Android 13へのメジャーアップデート(OS更新)後の初期状態になります。

1 設定メニュー画面→[一般管理]→[リセット]→[工場出荷状態に初期化]→[リセット]

- 画面ロックの設定によっては、ロック解除が必要な場合があります。

2 [全て削除]

本製品が自動的に再起動します。

本製品の再起動またはリセット中は、そのままお待ちください。



- ◎ 初期化は、充電しながら行うか、内蔵電池が十分に充電された状態で行ってください。

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]

2 あなたへのおすすめ	おすすめ機能を確認・設定します。	
TalkBack	▶P.99「TalkBackを利用する」	
音声アシスタンス	キーボードの入力内容を読み上げ	キーボードで入力したテキストを文字または単語で読み上げるかどうかなどを設定します。
	音声の解説	音声解説を提供している動画を視聴するとき、音声解説が自動的に再生するように設定します。
	ボイスラベル	音声録音が登録された状態で、近くにNFCタグがあるときに、NFCタグの情報を音声で聞くことができます。
	表示モード	表示モードを選択します。
視認性向上	高コントラストのテーマ	高コントラストのテーマを設定します。
	高コントラストフォント	フォントの色や輪郭を調整して、表示を見やすくします。
	高コントラストキーボード	キーボードの色をより鮮明に変更します。
	ハイライトボタン	ボタンをフレーム付きで表示します。
	色を反転	画面の色を反転します。
	アニメーションを削除	アニメーションや画面の動きが気になる場合、特定の画面エフェクトを抑制します。
	透明度とぼかしを抑制	ダイアログやメニューのビジュアルエフェクトを抑制して見やすくします。
	色を補正	色を補正するかどうかを設定します。
	明るさをさらに下げる	最小限の明るさの設定よりさらに画面の明るさを下げます。
	拡大	画面の拡大操作を設定します。
	ルーペ	カメラを拡大鏡として使用して、周囲の映像を拡大します。
	ポインターのサイズと色	マウスやタッチパッドのポインターのサイズと色を設定します。
	文字サイズとフォントスタイル	文字サイズやフォントスタイルなどを設定します。
	画面のズーム	画面のズームを設定します。
聴覚補助	音声文字変換	話を聞きながら、その内容をテキストで表示させます。
	自動字幕起こし	動画などを再生するときに、音声を検出して字幕を自動的に生成するように設定します。
	字幕の優先設定	字幕の表示方法などを設定・確認できます。
	音検知通知	赤ちゃんの泣き声や煙警報のピープ音などを検出すると通知するように設定します。
	Adapt Sound	使用者の好みにあわせて音質を設定できます。
	全ての音を消音	着信、通知、メディアを含む、すべての音をオフに設定します。
	モノラル再生	両方のスピーカーから同じサウンドを再生するかどうかを設定します。
	左右のサウンドバランス	本製品に接続されたオーディオ機器で音楽を聴くときの音量バランスを設定します。

制御と操作	ユニバーサルスイッチ	外部アクセサリを使用して、本製品を操作したり、画面のアイテムを選択したりすることができます。
	アシスタントメニュー	アシスタントメニューを表示させるかどうかを設定します。また、アシスタントメニューのサイズや透明度などを設定できます。
	Voice Access	ボタンのタップやホーム画面の表示などの操作を音声コマンドで行います。
	通話応答／終了	かかってきた電話に出る操作方法を追加したり、  (サイドキー)／指紋センサーを押して電話を切ることができるように設定したりすることなどできます。 ・「サイドキーを押して通話終了」がオンの状態で、通話中にスリープモードになった場合は、  (サイドキー)／指紋センサーを押してスリープモードを解除してから  (サイドキー)／指紋センサーを押すと通話を終了できます。
	入力操作制御	入力操作制御により、  、  などボタンや着信と通知をブロックすることで、1つのアプリに集中しやすくなります。
	長押し時の認識時間	ロングタッチの認識時間を設定します。
	タップの認識時間	何秒タップしたらタップとして認識されるかの時間を設定します。
	繰り返しのタッチを無効化	タップの繰り返しを無効にする時間を設定します。
	ポインター停止後に自動操作	項目の上にマウスポインターを置いたときに項目が自動的に選択されるように設定します。また、マウスポインターを画面のコーナーに移動したときに実行する操作も設定できます。
	固定キー	ハードウェアキーボードの使用時に、修飾キーを押すと、そのキーを押されたままになるかどうかを設定します。
詳細設定	スローキー	ハードウェアキーボードの使用時に、キーを誤って押さないように、キーを押し続けたとき、長押ししたと認識されるまでの時間を設定します。
	バウンスキー	ハードウェアキーボードの使用時に、同じキーを誤って複数回押さないように、同じキーを2回押したと認識されるまでの時間を設定します。
	ユーザー補助ボタン	ユーザー補助ボタンの表示位置などを設定します。
	サイドキーと音量アップキー	 (サイドキー)／指紋センサーと音量キーの上側を同時に押して起動する機能を設定します。
	音量アップキーと音量ダウンキー	音量キーの上側と音量キーの下側を同時に約3秒間長押しして起動する機能を設定します。
インストール済みアプリ	フラッシュ通知	通知を受信したときや、アラームが鳴ったときにフラッシュ／ライトまたは画面が点滅します。
	画面に表示される時間	画面上に一時的に表示される通知や音量コントローラーのような、ユーザーの操作を必要とするポップアップの表示時間を設定します。
	インストール済みアプリ	インストール済みのアプリを設定します。
ユーザー補助について		ユーザー補助のバージョン、オープンソースライセンスなどが確認できます。

お問い合わせ	Galaxy Membersに移動します。 ・ Galaxy Membersアプリをアンインストールすると、「お問い合わせ」は表示されなくなります。
--------	---

TalkBackを利用する

ユーザーの操作に音で反応したり、テキストを読み上げたりするTalkBack機能を有効にします。

1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]

2 [TalkBack]

3 「」をタップ→[許可]

4 画面の指示に従って操作する



TalkBackのタッチガイド機能について

- ◎ タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げる機能です。
- ◎ タッチガイド機能をオンにした場合、本製品の操作の一部が通常の操作と異なります。
 - ・ 項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップします。
 - ・ スライドする場合は、2本の指で操作します。

ソフトウェア更新の設定をする

1 設定メニュー画面→[ソフトウェア更新]

- ・ 設定メニュー画面→[バッテリーとデバイスカラ]→
[ソフトウェア更新]と操作しても、「ソフトウェア更新」
画面が表示されます。

2	ダウンロードおよびインストール	▶P.102「ソフトウェアをダウンロードして更新する」
	Wi-Fi接続時に自動ダウンロード	Wi-Fi®ネットワーク接続時に、自動的に更新ソフトウェアをダウンロードします。ダウンロード中も本製品を使用することができます。
	最終更新	最終更新情報を確認できます。

端末情報を表示する

1 設定メニュー画面→[端末情報]

2	(端末名称)	本製品の電話番号、モデル名などを確認できます。 「編集」をタップすると、端末名称を設定できます。
	ステータス情報	SIMカードの状態、IMEI情報などを確認できます。
	法定情報	オープンソースライセンスやGoogle利用規約などに関する情報を確認できます。
	認証情報	本製品の認証情報を表示します。
	ソフトウェア情報	バージョンや各種情報を確認できます。
	バッテリー情報	本製品のバッテリーの状態、残量などの情報を確認できます。

付録・索引

付録	102
ソフトウェアを更新する	102
故障とお考えになる前に	102
アフターサービス	103
主な仕様	103
携帯電話機の比吸収率 (SAR) について	104
FCC RF Exposure Information	104
European RF Exposure Information	104
Declaration of Conformity	104
輸出管理規制	104
知的財産権について	105
索引	106

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスやセキュリティ向上を実現し、最新の拡張機能を入手できます。

■ ご利用上のご注意

- モバイルデータ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、ご利用の回線のご契約内容に応じたデータ通信料が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生しますので、ご自宅等のWi-Fi®環境がご利用可能な場合はWi-Fi®回線へ接続した上で、ソフトウェア更新することをお勧めします。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を再度実行してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。
- 海外で利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

Wi-Fi®回線やモバイルデータ通信を利用したインターネット経由で、本製品の設定メニューから直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

- 1 アプリ一覧画面で[設定]
- 2 [ソフトウェア更新]
- 3 [ダウンロードおよびインストール]
- 4 画面の指示に従って操作する

memo

◎ ご利用のWi-Fi®回線の状態によっては、利用可能なネットワークの自動検索を行い、Wi-Fi®からモバイルデータ通信に切り替わることがあります。この場合、当初意図したものとは異なるデータ通信料が発生することがありますのでご注意ください。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？	P.26
	⌂(サイドキー)/指紋センサーを2秒以上長押ししていますか？	P.28
充電ができない	指定のACアダプタ(別売)の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	P.27
電池を利用できる時間が短い	Ⓢ(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.36
	内蔵電池が寿命となっていませんか？	P.15
タッチパネルで意図したとおりには操作できない	爪の先で操作したり、異物を載せたまま操作したりしていませんか？	P.32
キー/タッチパネルの操作ができない	画面ロックが設定されていませんか？	P.28
	電源は入っていますか？ ・電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.28
画面をタップしたとき/キーを押したときの画面の反応が遅い	本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモリーカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	—
「SIMなし 通信サービスはありません」と表示される	SIMカードが挿入されていますか？	P.25
電話がかかけられない	SIMカードが挿入されていますか？	P.25
	電話番号が間違っていないですか？(市外局番から入力していますか？)	P.46
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.88
	モバイルネットワークの設定が間違っていないですか？	—
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.36
	サービスエリア外にいませんか？	—
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.88
	モバイルネットワークの設定が間違っていないですか？	—
	着信転送サービスが設定されていませんか？	—
着信音の鳴り始めの音量が小さい	耳に悪い影響を与えないよう、着信直後は小さな音量で鳴り、次第に設定した音量になる仕様です。	—
画面照明が暗い	「省電力モード」が設定されていませんか？	P.97
相手の方の声が聞こえない	通話音量が最小に設定されていませんか？	—
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.24
おサイフケータイ®が使えない	内蔵電池は充電されていますか？	P.26
	「画面ロック中はロック」を設定中ではありませんか？	P.71
	本製品の  マークがある位置をリーダー/ライターにかざしていますか？	P.70
microSDメモリーカードを認識しない	microSDメモリーカードは正しくセットされていますか？	P.76
	microSDメモリーカードのマウントが解除されていませんか？	P.97
メディアデバイスモード(MTP)で接続しても動作しない	Smart SwitchまたはWindows Media Player 12をパソコンにインストールしてください。	P.79

アフターサービス

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客さまのご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、お客様宅への商品到着から1年間です。

memo

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益に関して、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 本体内蔵の電池は消耗品のため、保証対象外となります。
- ◎ 本製品の本体以外の付属品や試供品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

主な仕様

ディスプレイ		約5.8インチ 約1,677万色(TFT)
		HD+ (1,560×720ドット)
質量		約168g
サイズ(幅×高さ×厚さ)		約71mm × 150mm × 9.0mm (最厚部約9.6mm)
CPU		MediaTek Dimensity 700
ストレージ(ROM/RAM)		ROM : 64GB RAM : 4GB
連続待受時間※1	国内	約450時間
	海外 (GSM)	約500時間
連続通話時間※1	国内	約1,840分
	海外 (GSM)	約750分
Wi-Fi®テザリング最大接続数		10台
充電時間		TypeC共通ACアダプタ02 (別売) 使用時 : 約110分
カメラの有効画素数		リアカメラ : 約5,000万画素 フロントカメラ : 約500万画素
無線LAN (Wi-Fi®) 機能		IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠※2
Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.5.2
	出力	Bluetooth®標準規格Power Class 1
	通信距離※3	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル※4	GATT (Generic Attribute Profile) OPP (Object Push Profile) HSP (Headset Profile) HFP (Hands-Free Profile) A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) SPP (Serial Port Profile) aptX LDAC PBAP (Phone Book Access Profile) HID (Human Interface Device Profile) PAN (Personal Area Networking Profile) PAN NAP PAN U SAP (SIM Access Profile) DI (Device Identification Profile) MAP (Message Access Profile) HOGP (HID over GATT Profile)
	使用周波数帯	2.4GHz帯 (2.402GHz ~ 2.480GHz)

※1 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

※2 IEEE802.11nは2.4GHz、5GHzに対応しています。

※3 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※4 Bluetooth[®]機器同士の使用目的に応じた仕様のこと、Bluetooth[®]標準規格で定められています。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種Galaxy A23 5Gの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は1.209W/kg^(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は1.075W/kg^(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用を原因とするいかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ:

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

○一般社団法人電波産業会のホームページ:

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

○Galaxyのホームページ:

<https://www.samsung.com/jp/support/sar/sarMain.do>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

FCC RF Exposure Information

詳細は、下記をご参照ください。

<https://www.samsung.com/sar>

本製品は、Federal Communications Consortium (FCC)の認証を受けています。

本製品のFCC IDは、A3LSMA233JPNです。

また、以下の方法でも確認できます。

確認方法:

アプリ一覧画面で[設定]→[端末情報]→[ステータス情報]→FCC認証

European RF Exposure Information

詳細は、下記をご参照ください。

<https://www.samsung.com/sar>

Declaration of Conformity

詳細は、下記をご参照ください。

https://www.samsung.com/mobile_doc/

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客さまの責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。
- Wi-Fi®, Wi-Fi CERTIFIED®とWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Excel®, PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
- ㊦は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはMeta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Googleカレンダー」、「Google Chrome」、「Googleマップ」、「Google音声検索」、「YouTube」および「YT Music」は、Google LLCの商標または登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2023 All Rights Reserved.
- Microsoft®, Windows Media®, ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Atmos及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- USB Type-C®はUSB Implementers Forumの商標です。
- Netflixは、Netflix, Inc.の登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

License

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客さまが個人的に、且つ非商業的な使用のために(i) AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii) AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客さまにより符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。<https://www.mpegla.com/> をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客さまが個人的に、且つ非商業的な使用のために(i) VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii) VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客さまにより符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限り)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。<https://www.mpegla.com/> をご参照ください。

HEVC Advance

 **HEVCAdvance**™
Covered by Patents at patentlist.hevcadvance.com

索引

アルファベット

A

Androidアプリ 73

B

Bluetooth®機能 83
 起動 83
 周波数帯 19
 注意事項 19
 データの送受信 84
 ペ어링 84

F

FeliCa®マーク 70

G

Galaxy Store 69
 Galaxyアカウント 30
 Galaxyキーボード 42
 設定 43
 Gmail 56
 作成 56
 受信 56
 送信 56
 メニュー 56
 Google Play 73
 Googleアカウント 29

M

microSDメモリカード 76
 取り付ける 76
 取り外す 77
 フォーマット 78

P

PCメール 55
 アカウント削除 55
 アカウント設定 55
 削除 56
 作成 56
 送信 56
 転送 56
 返信 56
 PINコード 20
 PINロック解除コード 20
 Playストア 73

S

SAR 104
 SIMカード 25
 取り付ける 25
 取り外す 26
 SIMカードをロック 95
 Smart Switch 79

U

USB Type-Cケーブル
 接続 78

V

VPN設定 89

W

Wi-Fi® 82
 起動 82
 周波数帯 19
 静的IP 82
 接続 82
 切断 82
 注意事項 19
 ネットワーク追加 82
 Windowsにリンク 80

かな

あ

アイコン 35
 ステータスアイコン 36
 通知アイコン 35
 アフターサービス 103
 アプリケーション 35
 アンインストール 73
 管理 73
 ショートカットの移動／削除 33
 ショートカットの追加 33
 アプリケーション一覧 62
 アンインストール 73
 カスタマイズ 35
 終了 38
 アラーム 72
 暗証番号 20
 安全上のご注意 9
 インターネット 58
 データ通信 58
 ウィジェット 33
 移動／削除 33
 追加 33
 エッジパネル 39
 おサイフケータイ® 70
 画面ロック中はロック 71
 ご利用にあたって 70
 サービスの利用 71
 設定 71
 音量調節 90

か

顔認証	40
各部の名称	24
カメラ	63
ARゾーン	66
AR手描き	66
インテリジェント機能	66
カメラモード	64
撮影画面	63
静止画撮影	64
設定	64
注意事項	63
動画録画	65
ファン	65
プレビュー画面	65
ポートレート	65
画面ロック	28
解除	28, 93
カレンダー	67
画面の見かた	67
作成	67
スヌーズ	67
設定	67
通知	67
表示	67
メニュー	67
起動中のアプリケーション	38
機内モード	88
ギャラリー	66
静止画／動画表示	66
メニュー	66
緊急通報位置通知	47
クイック検索ボックス	37
故障とお考えになる前に	102

さ

再起動	28
最近使用したアプリケーション	38
指紋認証	40
充電	26
仕様	103
省電力モード	97
ショートカット	33
初期化	98
スクリーンショット	38
ステータスバー	35
ストップウォッチ	72
セーフモード	28
世界時計	72
セキュリティ	
SIM PINを変更	95
SIMカードをロック	95
設定の切り替え	38
設定メニュー	88
ソフトウェア更新	102
ダウンロード	102
注意事項	102

た

タイマー	72
タッチパネルの使いかた	32
縦横表示切替	37
タブを切り替え	37
着信履歴	47
通知パネル	36
通話設定	49
データ使用量	89
データ通信料についてのご注意	20
データの複数選択	38
テザリング	85
Bluetooth®テザリング	85
USBテザリング	85
Wi-Fi®テザリング	85
イーサネットテザリング	85
電源を入れる／切る	28
電話	46
応答	48
消音	46
スピーカー	46
スピードダイヤル番号	47
着信	48
発信	46
電話番号確認	49
同梱品	1
時計	72
アラーム	72
ストップウォッチ	72
世界時計	72
タイマー	72
取り扱い上のご注意	14

な

ナビゲーションバーの使いかた	32
----------------	----

は

発信履歴	47
番号指定ブロック	50
表記方法	2
ブックマーク	59
追加	59
ブラウザ(Chrome)	58
画像ダウンロード	59
設定	59
タブ	58
表示	58
ブックマーク	59
メニュー	58
履歴	59
履歴消去	59
リンク	59
分割画面表示	34
ボイスレコーダー	69
ホーム画面	33
ウィジェット	33
カスタマイズ	33
かんたんモード	34
ショートカット	33
ホーム画面位置	33

ま

マイファイル	79
メニュー	79
マナーモード	90
無線LAN (Wi-Fi®) 機能	82
メール	54
Gmail	56
PCメール	55
SMS	54
メニュー表示	37
メモリの使用量	78
文字入力	42
Galaxyキーボード	42
キーボードのタイプ	42
切り取り	43
コピー	43
設定	43
選択	43
入力方法の切り替え	42
貼り付け	43

ら

連絡先	51
インポート	52
エクスポート	52
お気に入りへの追加	51
確認	52
グループ	52
登録	51
発信	52
編集	52
マイプロフィール編集	51
メニュー	52

J:COM サポートサイト

ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、
J:COM サポートサイト（https://cs.myjcom.jp/top?sc_pid=my_support_gnavi）にてご確認ください。